

浪江町 住民意向調査 報告書

平成31年3月

復興庁
福島県
浪江町

浪江町 住民意向調査

報 告 書

目 次

I	調査の概要	1
1-1	調査目的	3
1-2	調査内容	3
1-3	調査設計	3
1-4	回収結果	3
1-5	報告書の見方	3
II	調査結果のまとめ	5
2-1	現在の状況	7
2-1-1	現在の就業形態（問2（1））	7
2-1-2	世帯人数（問4・問7）	7
2-1-3	現在の居住自治体（問6）	8
2-1-4	現在の住居形態（問8）	8
2-2	将来の意向	9
2-2-1	浪江町への帰還意向（問9）	9
2-2-2	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（問10）	10
2-2-3	浪江町へ帰還する場合の家族（問15）	11
2-2-4	浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問16）	11
2-2-5	浪江町への帰還時期（問17）	12
2-2-6	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること（問17-1）	12
2-2-7	浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件（問17-3）	13
2-2-8	浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）	14
2-2-9	浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・ 帰還しない理由（問18・問23）	15
2-2-10	帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体 （問17-4・問20・問24）	16
2-2-11	帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する 住居形態（問17-5・問21・問25）	17
2-2-12	帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係 （問17-6（1）・問22（1）・問26（1））	18
2-2-13	帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援 （問17-6（2）・問22（2）・問26（2））	19

2-3	不動産の取り扱い	20
2-3-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向（問29）	20
2-3-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向（問30）	20
Ⅲ	調査結果	21
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-1-3	現在の就業形態	24
3-1-4	現在の業種	25
3-1-5	今後の就業意向	26
3-1-6	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する就業形態	26
3-1-7	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種	27
3-2	東日本大震災発生時の状況	28
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	28
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	28
3-2-3	震災発生当時の住居形態	29
3-3	現在の状況	30
3-3-1	現在の居住自治体	30
3-3-2	現在の世帯構成・人数	30
3-3-3	現在の住居形態	31
3-3-4	現在の持ち家の取得形態	31
3-3-5	現在の持ち家取得前の住居形態	32
3-3-6	現在の持ち家に入居後の問題点	32
3-4	将来の意向	33
3-4-1	浪江町への帰還意向	33
3-4-2	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること	36
3-4-3	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの 具体的な内容	37
3-4-4	浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕	38
3-4-5	浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕	38
3-4-6	回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由	39
3-4-7	浪江町へ帰還する場合の家族	40
3-4-8	浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数	41
3-4-9	浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態	42
3-4-10	浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由	42
3-4-11	浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区	43
3-4-12	浪江町への帰還時期	44
3-4-13	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること	45

3-4-14	浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと	46
3-4-15	浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件	47
3-4-16	浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体	48
3-4-17	浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態	48
3-4-18	浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係	49
3-4-19	浪江町に帰還するまでの間に必要な支援	49
3-4-20	浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由	50
3-4-21	浪江町への帰還を判断するために必要なこと	51
3-4-22	浪江町への帰還を判断するまでの間に居住を希望する自治体	52
3-4-23	浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する 住居形態	52
3-4-24	浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係	53
3-4-25	浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援	53
3-4-26	浪江町に帰還しない理由	54
3-4-27	浪江町へ帰還したいと思える就業形態	55
3-4-28	浪江町へ帰還したいと思える業種	55
3-4-29	浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体	56
3-4-30	浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	56
3-4-31	浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係	57
3-4-32	浪江町に帰還しない場合に必要な支援	57
3-4-33	震災発生当時の居住地域に望む将来の姿	58
3-5	復興公営住宅	60
3-5-1	福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向	60
3-5-2	入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村	60
3-6	不動産の取り扱い意向	61
3-6-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向	61
3-6-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向	61
3-7	情報入手	62
3-7-1	浪江町からの情報の入手経路	62
3-7-2	浪江町役場からの情報提供に対する満足度	62
3-7-3	浪江町役場から欲しい情報	63
3-8	意見・要望	64
3-8-1	意見に係る記入内容の分類結果	65
3-8-2	生活について	66
3-8-3	震災発生前の居住地について	68
3-8-4	賠償について	70
3-8-5	帰還について	72
3-8-6	避難期間中及び将来の住宅について	74

3-8-7	除染について	76
3-8-8	復旧・復興について	78
3-8-9	原発の安全性について	80
3-8-10	原発事故に対する対応について	81
3-8-11	その他	83
IV	参考資料	85
4-1	使用調査票	87

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた浪江町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	浪江町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 7505世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成30年10月8日（月）～平成30年10月22日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、浪江町
(6) 調査機関	トッパン・フォームズ株式会社

1-4 回収結果

有効回収数 3042世帯（有効回収率40.5%）

1-5 報告書の見方

- ・ 調査数（n = Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・ 「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・ 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・ 調査数（n値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

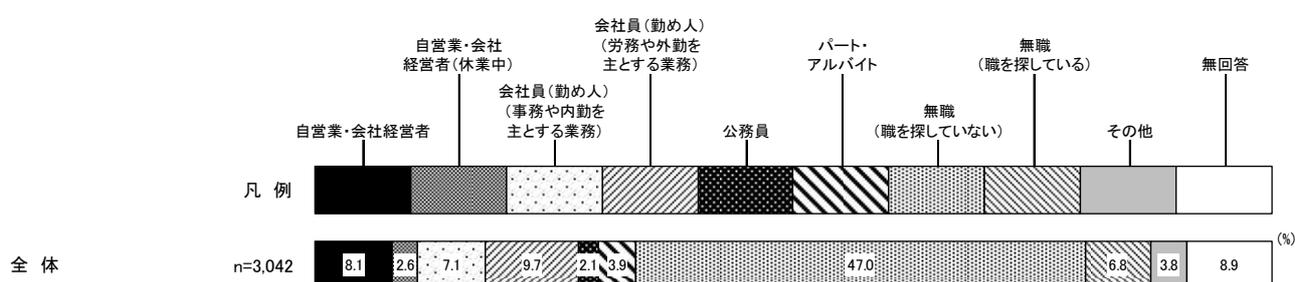
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の就業形態（問2（1））

現在の就業形態については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が9.7%、「自営業・会社経営者」が8.1%、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が7.1%と高くなっている。

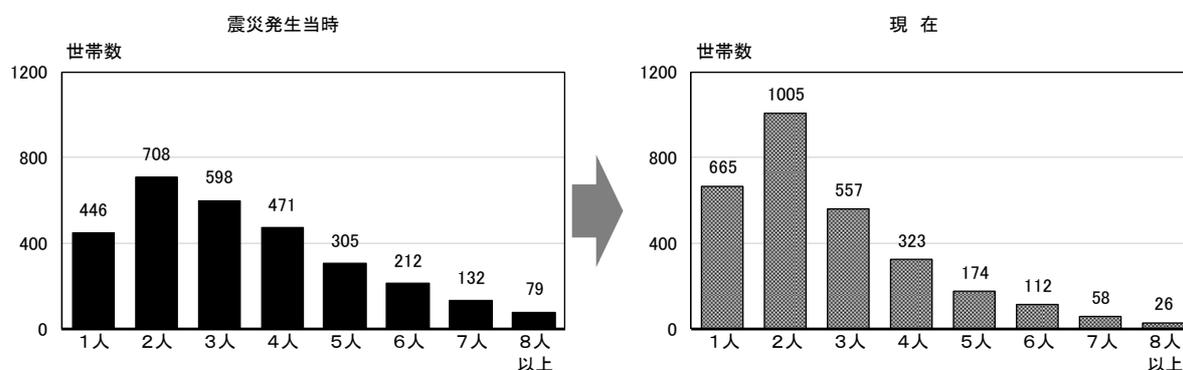
<図表 2-1-1 現在の就業形態>



2-1-2 世帯人数（問4・問7）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が708世帯と最も多く、次いで「3人」が598世帯、「4人」が471世帯となっている。現在の世帯人数は、「2人」が1005世帯と最も多く、次いで「1人」が665世帯、「3人」が557世帯となっている。

<図表 2-1-2 世帯人数>

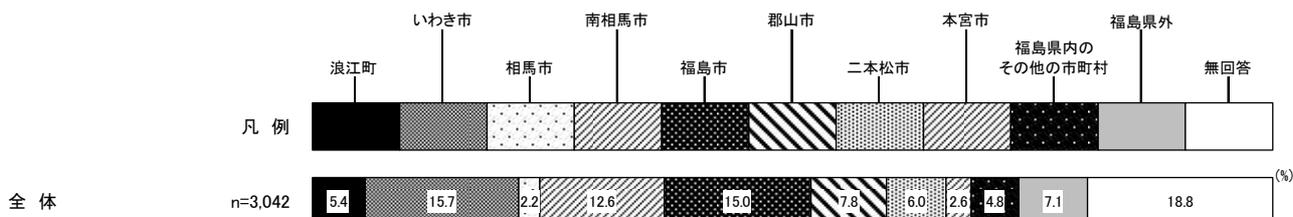


II 調査結果のまとめ

2-1-3 現在の居住自治体（問6）

現在の居住自治体については、「いわき市」が15.7%と最も多く、次いで「福島市」が15.0%、「南相馬市」が12.6%、「郡山市」が7.8%となっている。

<図表2-1-3 現在の居住自治体>

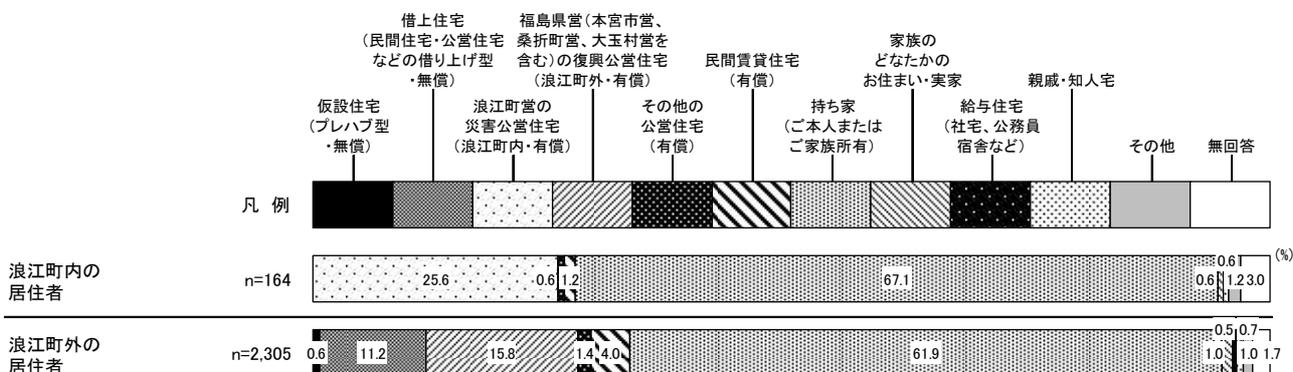


2-1-4 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、浪江町内に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が67.1%と最も高く、次いで「浪江町営の災害公営住宅（浪江町内・有償）」が25.6%となっている。

浪江町外に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が61.9%と最も高く、次いで「福島県営（本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む）の復興公営住宅（浪江町外・有償）」が15.8%、「借上住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型・無償）」が11.2%となっている。

<図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住自治体別）>



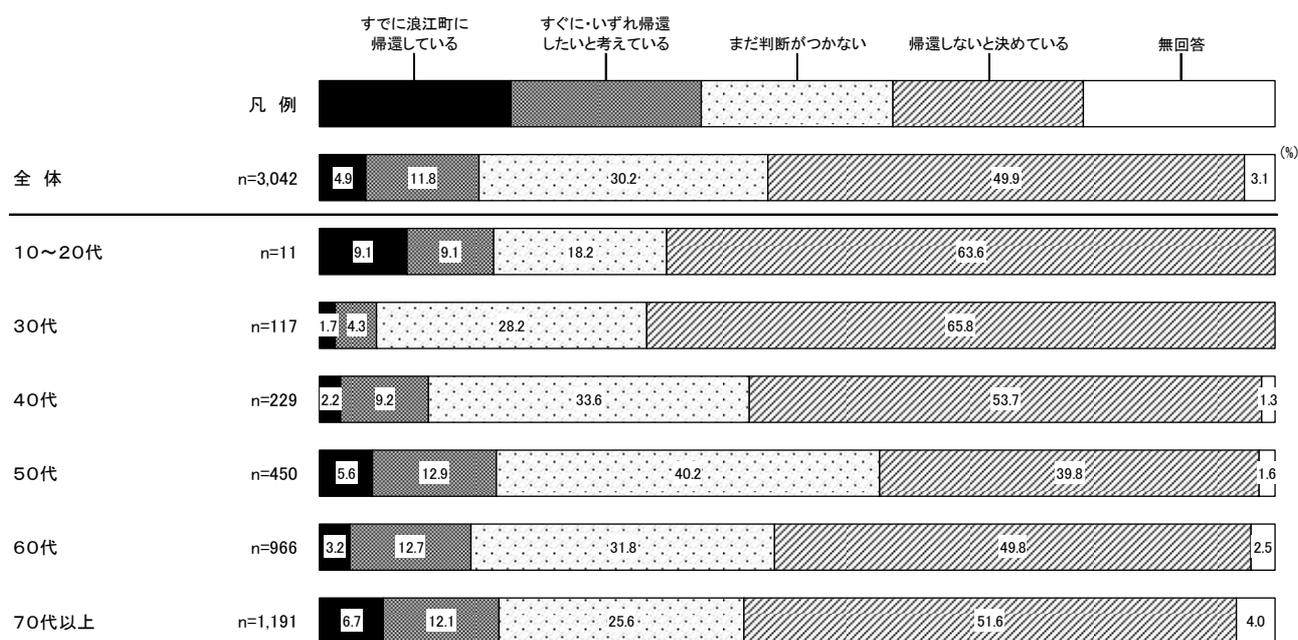
2-2 将来の意向

2-2-1 浪江町への帰還意向（問9）

浪江町への帰還意向については、「帰還しないと決めている」が49.9%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が30.2%、「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」が11.8%、「すでに浪江町に帰還している」が4.9%となっている。

回答者の年齢別にみると、「すでに浪江町に帰還している」は10～20代で9.1%と最も高く（ただし回答者数は11名と少数）、他に70代以上で6.7%、50代で5.6%と高くなっている。「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」は50代、60代、70代以上の高い年齢で12%台と高くなっている。一方、「帰還しないと決めている」は若い年齢で高く、30代で65.8%と最も高く、10～20代で63.6%、40代で53.7%となっている。

<図表2-2-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>

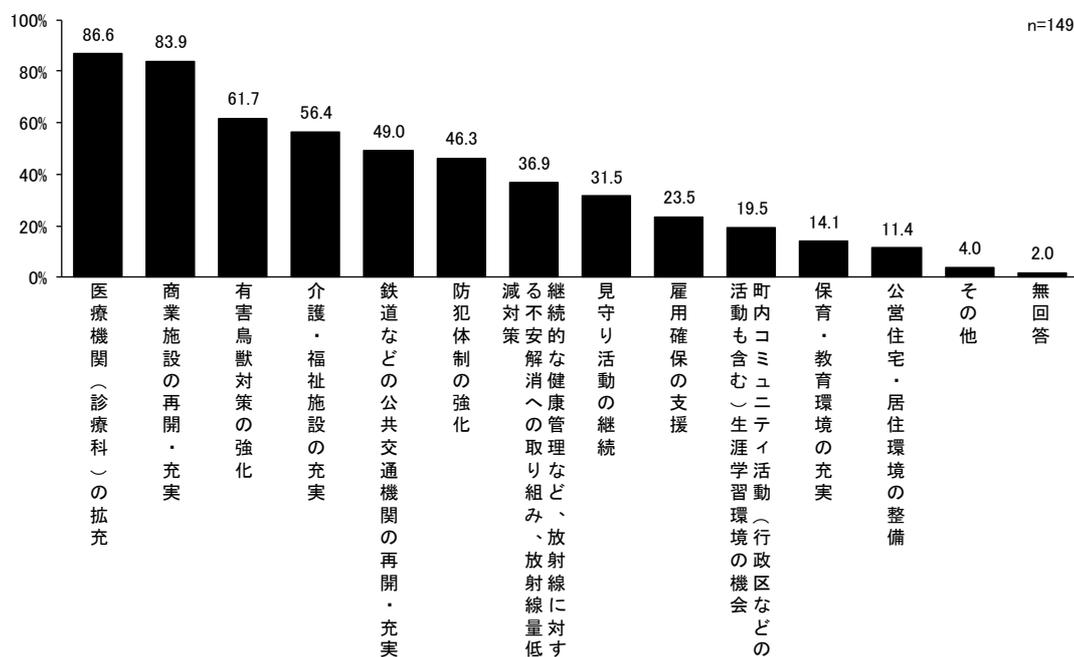


Ⅱ 調査結果のまとめ

2-2-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること
(問10)

浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」（86.6%）と「商業施設の再開・充実」（83.9%）がともに8割以上と高く、次いで「有害鳥獣対策の強化」が61.7%、「介護・福祉施設の充実」が56.4%となっている。

<図表2-2-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること>



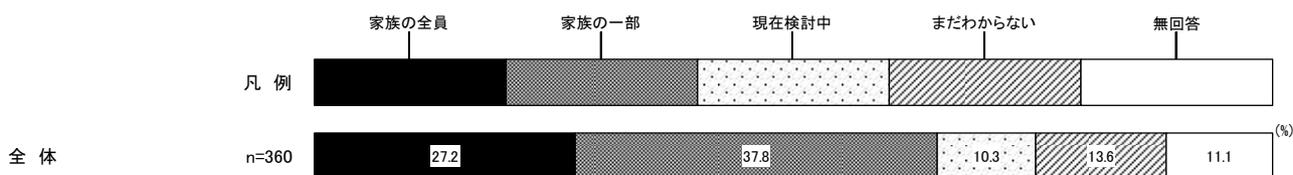
※問9で「すでに浪江町に帰還している」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-3 浪江町へ帰還する場合の家族（問15）

浪江町へ帰還する場合の家族については、「家族の一部」が37.8%と最も高く、次いで「家族の全員」が27.2%、「まだわからない」が13.6%、「現在検討中」が10.3%となっている。

<図表2-2-3 浪江町へ帰還する場合の家族>

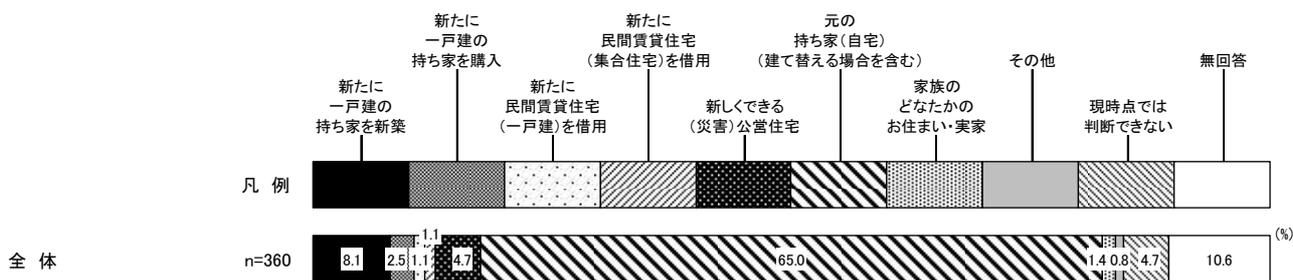


※問9で「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方のみ

2-2-4 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問16）

浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が65.0%と最も高く、次いで「新たに一戸建の持ち家を新築」が8.1%、「新しくできる（災害）公営住宅」が4.7%となっている。また、「現時点では判断できない」も4.7%となっている。

<図表2-2-4 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態>

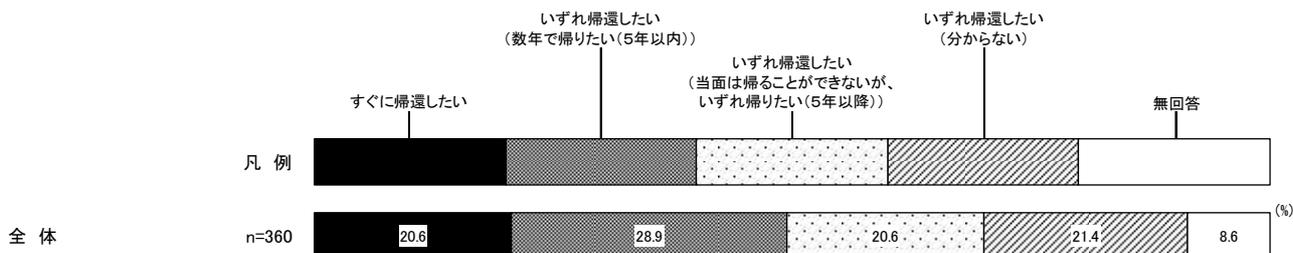


※問9で「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方のみ

2-2-5 浪江町への帰還時期（問17）

浪江町への帰還時期については、「いずれ帰還したい（数年で帰りたい（5年以内）」が28.9%と最も高く、次いで「いずれ帰還したい（分からない）」が21.4%、「すぐに帰還したい」と「いずれ帰還したい（当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（5年以降）」がともに20.6%となっている。

<図表2-2-5 浪江町への帰還時期>

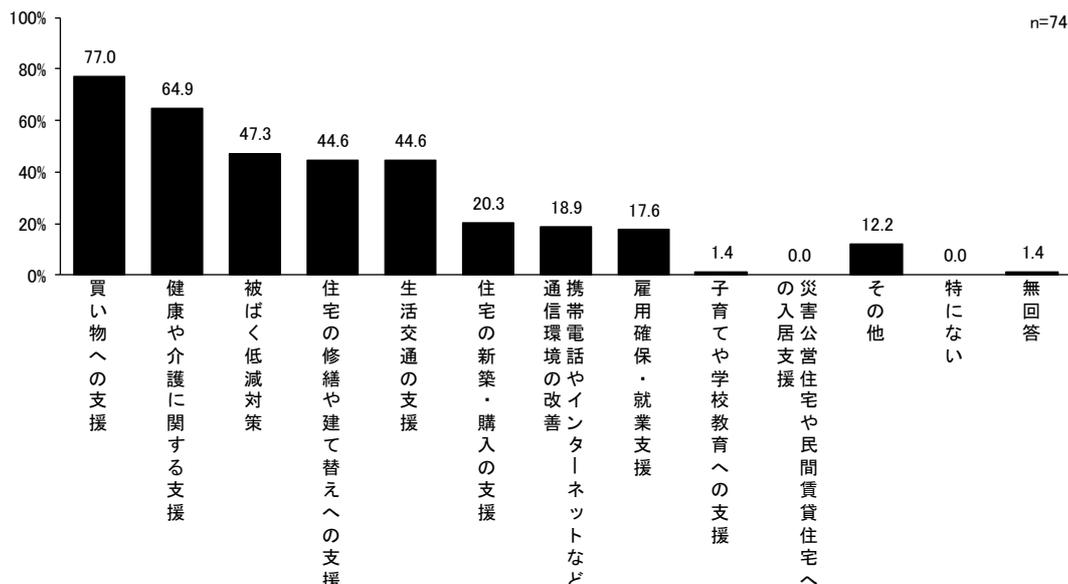


※問9で「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方のみ

2-2-6 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること（問17-1）

浪江町へ帰還する場合に不足していると感じることについては、「買い物への支援」が77.0%と最も高く、次いで「健康や介護に関する支援」が64.9%、「被ばく低減対策」（47.3%）、「住宅の修繕や建て替えへの支援」（44.6%）、「生活交通の支援」（44.6%）がいずれも4割台となっている。

<図表2-2-6 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>



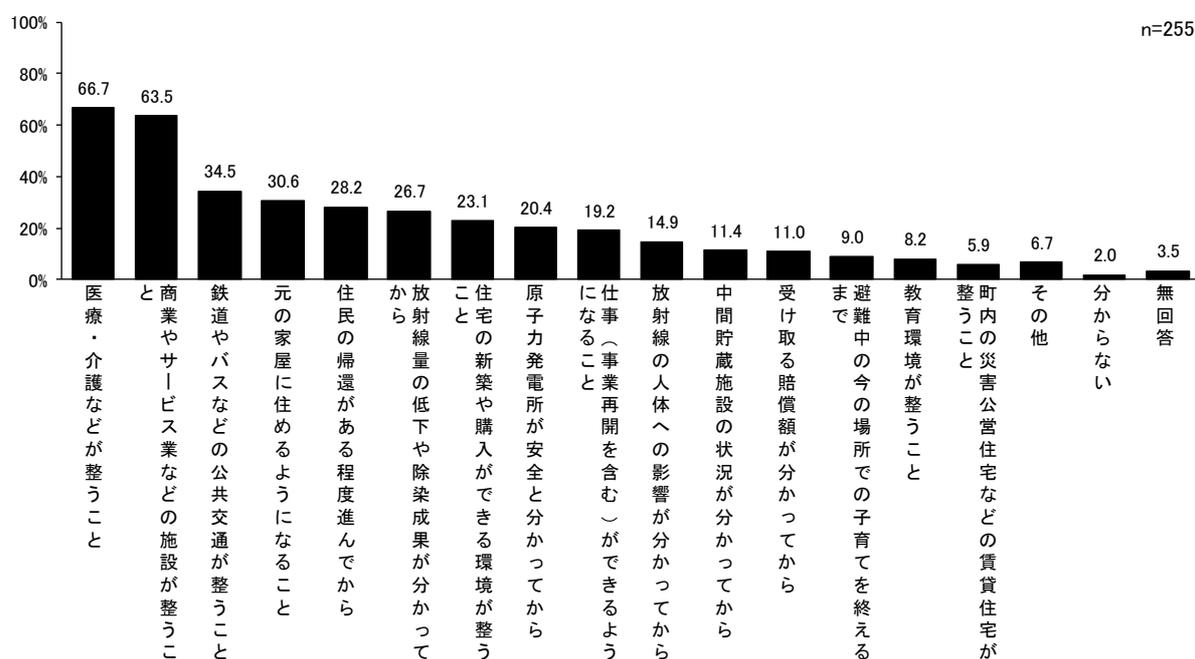
※問17で「すぐに帰還したい」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-7 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件 (問17-3)

浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件については、「医療・介護などが整うこと」(66.7%)、「商業やサービス業などの施設が整うこと」(63.5%)がともに6割以上と高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通が整うこと」(34.5%)、「元の家屋に住めるようになること」(30.6%)がともに3割台となっている。

<図表2-2-7 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件>



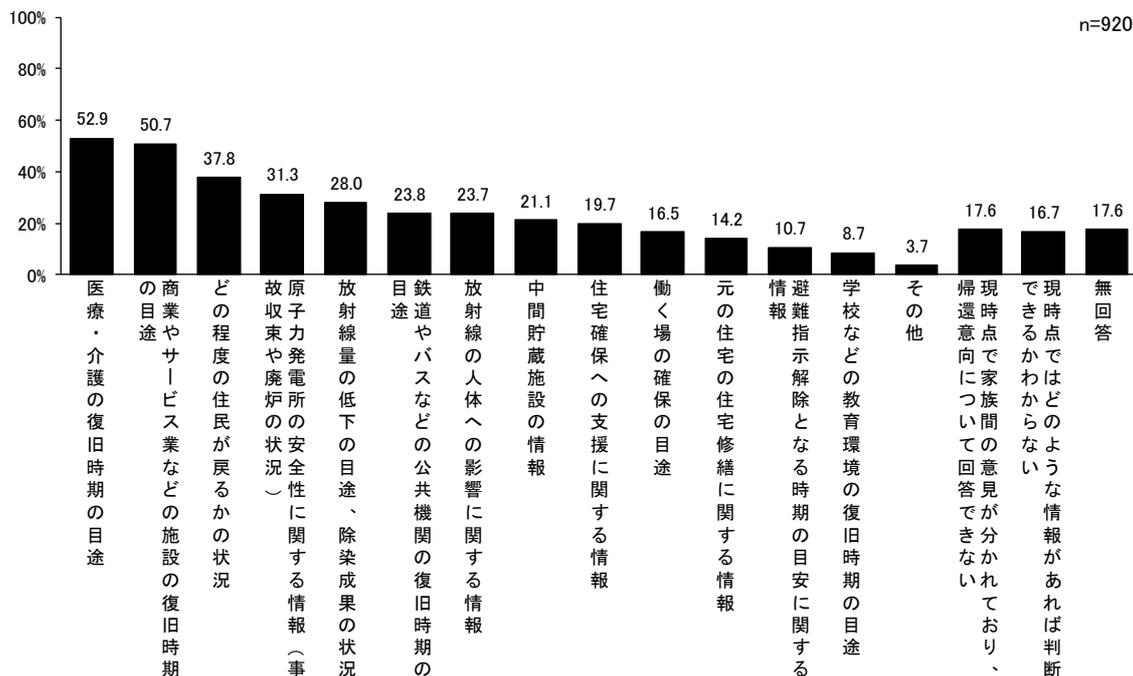
※問17で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-8 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）

浪江町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療・介護の復旧時期の目途」（52.9%）、「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」（50.7%）がともに5割以上と高く、次いで「どの程度の住民が戻るかの状況」が37.8%、「原子力発電所の安全性に関する情報（事故収束や廃炉の状況）」が31.3%となっている。

<図表2-2-8 浪江町への帰還を判断するために必要なこと>



※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

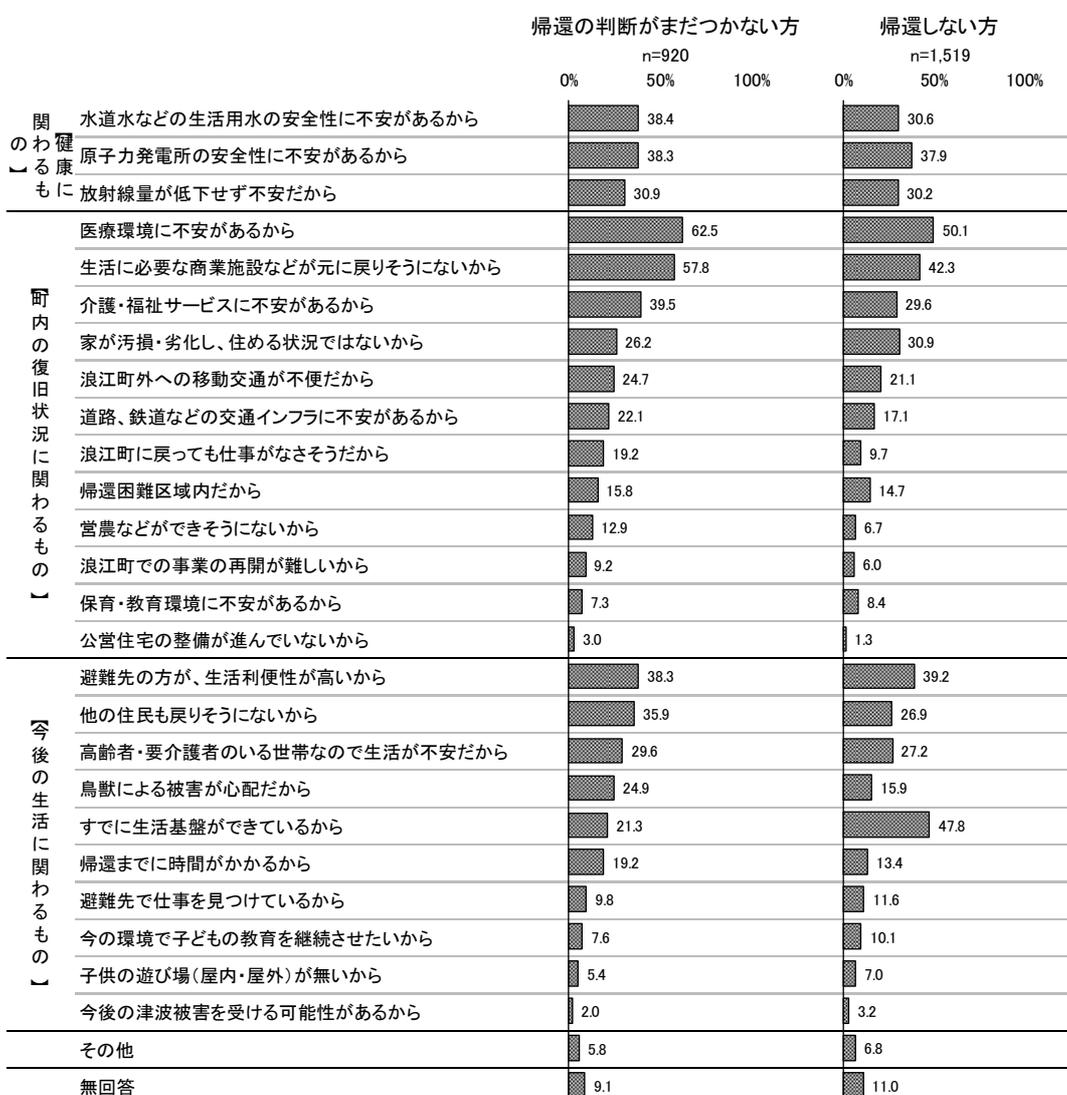
※複数回答可

2-2-9 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・ 帰還しない理由（問18・問23）

浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由については、「医療環境に不安があるから」が62.5%と最も高く、次いで「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が57.8%、「介護・福祉サービスに不安があるから」が39.5%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が38.3%となっている。

帰還しない理由については、「医療環境に不安があるから」が50.1%と最も高く、次いで「すでに生活基盤ができているから」が47.8%、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が42.3%、「避難先の方が生活利便性が高いから」が39.2%となっている。

<図表2-2-9 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由>



※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」と回答した方のみ

※複数回答可

II 調査結果のまとめ

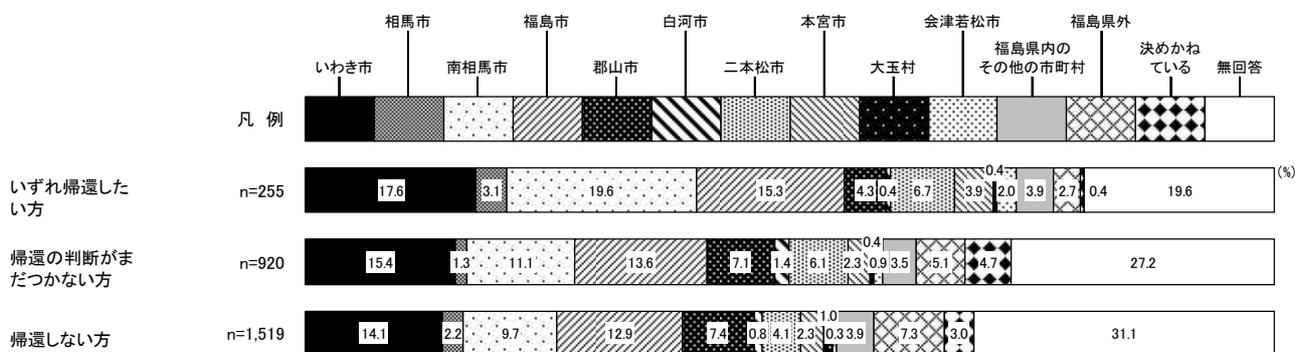
2-2-10 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体（問17-4・問20・問24）

帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体について、いずれ帰還したい方では、「南相馬市」が19.6%と最も高く、次いで「いわき市」が17.6%、「福島市」が15.3%となっている。

帰還の判断がまだつかない方では、「いわき市」が15.4%と最も高く、次いで「福島市」が13.6%、「南相馬市」が11.1%となっている。

帰還しない方では、「いわき市」が14.1%と最も高く、次いで「福島市」が12.9%、「南相馬市」が9.7%となっている。

<図表2-2-10 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体（帰還意向別）>



※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問17で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

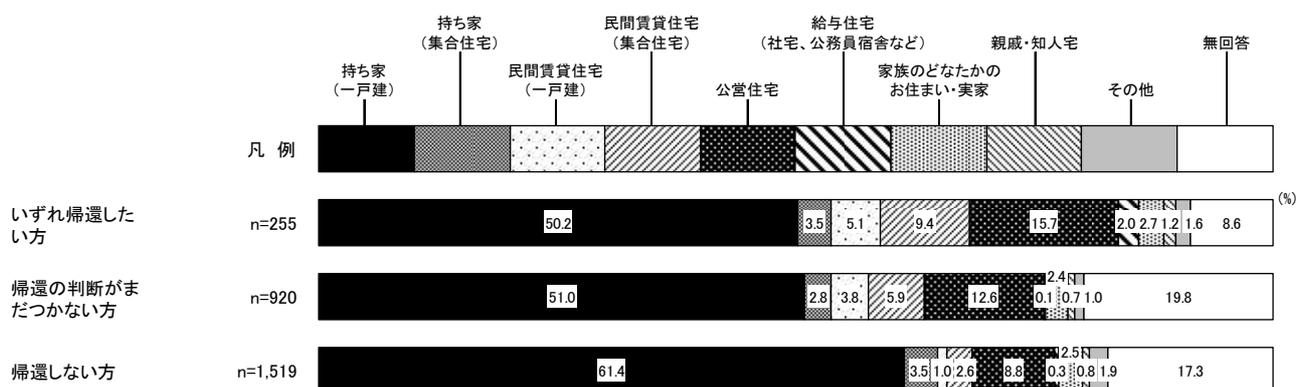
2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問17-5・問21・問25）

帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態についていずれ帰還したい方では、「持ち家（一戸建）」が50.2%と最も高く、次いで「公営住宅」が15.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が9.4%となっている。

帰還の判断がまだつかない方では、「持ち家（一戸建）」が51.0%と最も高く、次いで「公営住宅」が12.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が5.9%となっている。

帰還しない方では、「持ち家（一戸建）」が61.4%と最も高く、次いで「公営住宅」が8.8%、「持ち家（集合住宅）」が3.5%となっている。

＜図表2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に
今後の住まいとして希望する住居形態（帰還意向別）＞



※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問17で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

Ⅱ 調査結果のまとめ

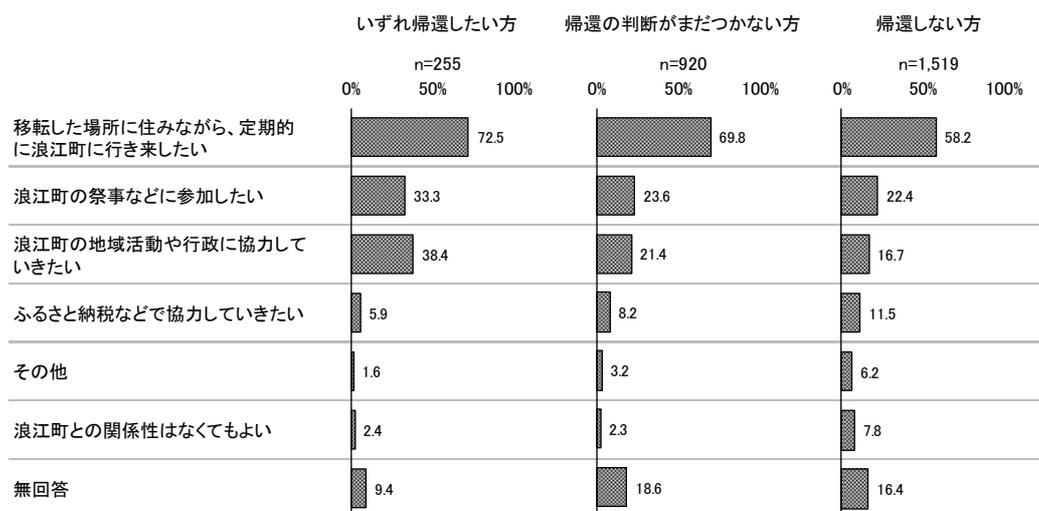
2-2-12 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係
(問17-6(1)・問22(1)・問26(1))

帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係について、いずれ帰還したい方では、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が72.5%と最も高く、次いで「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が38.4%、「浪江町の祭事などに参加したい」が33.3%となっている。

帰還の判断がまだつかない方では、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が69.8%と最も高く、次いで「浪江町の祭事などに参加したい」が23.6%、「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が21.4%となっている。

帰還しない方では、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が58.2%と最も高く、次いで「浪江町の祭事などに参加したい」が22.4%、「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が16.7%となっている。

<図表2-2-12 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係(帰還意向別)>



※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問17で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

※複数回答可

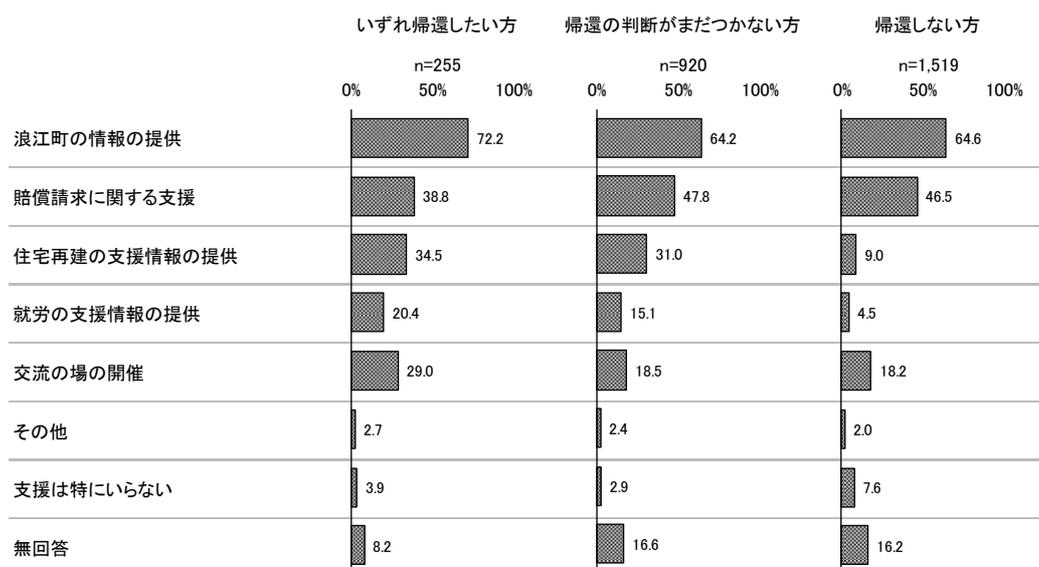
2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援 (問17-6(2)・問22(2)・問26(2))

帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援について、いずれ帰還したい方では、「浪江町の情報の提供」が72.2%と最も高く、次いで「賠償請求に関する支援」が38.8%、「住宅再建の支援情報の提供」が34.5%となっている。

帰還の判断がまだつかない方でも、「浪江町の情報の提供」が64.2%と最も高く、次いで「賠償請求に関する支援」が47.8%、「住宅再建の支援情報の提供」が31.0%となっている。

帰還しない方では、「浪江町の情報の提供」が64.6%と最も高く、次いで「賠償請求に関する支援」が46.5%、「交流の場の開催」が18.2%となっている。

<図表2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援（帰還意向別）>



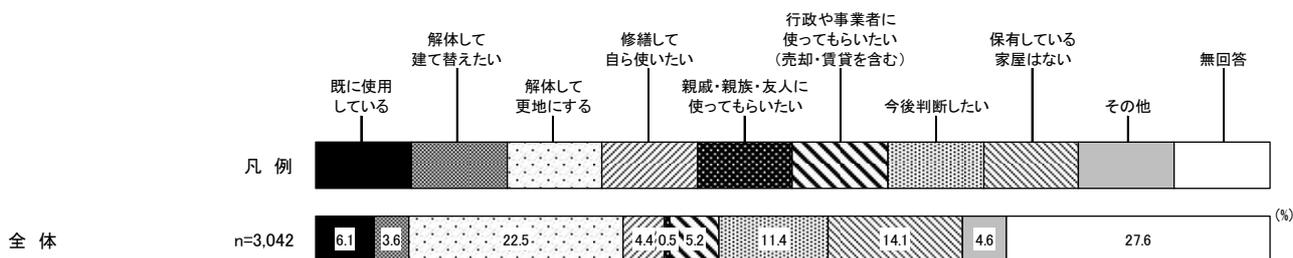
※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問17で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ
※複数回答可

2-3 不動産の取り扱い

2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向（問29）

浪江町内に保有する家屋の利用意向について、「解体して更地にする」が22.5%と最も高く、次いで「保有している家屋はない」が14.1%、「今後判断したい」が11.4%となっている。

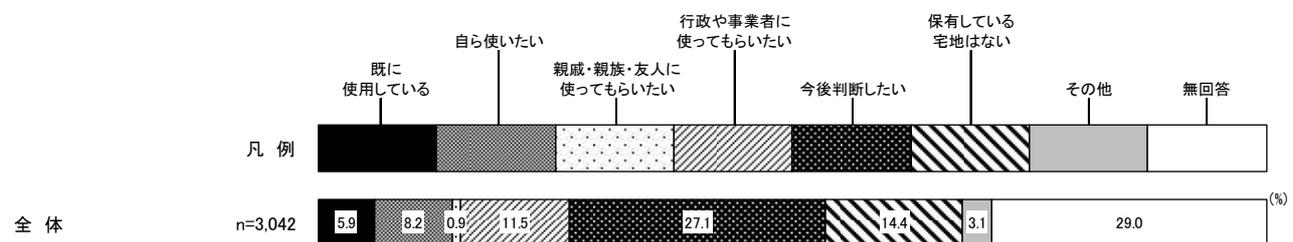
<図表2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向（問30）

浪江町内に保有する宅地の利用意向については、「今後判断したい」が27.1%と最も高く、次いで「保有している宅地はない」が14.4%、「行政や事業者に使ってほしい」が11.5%となっている。

<図表2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>



III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

<図表3-1-1 性別>

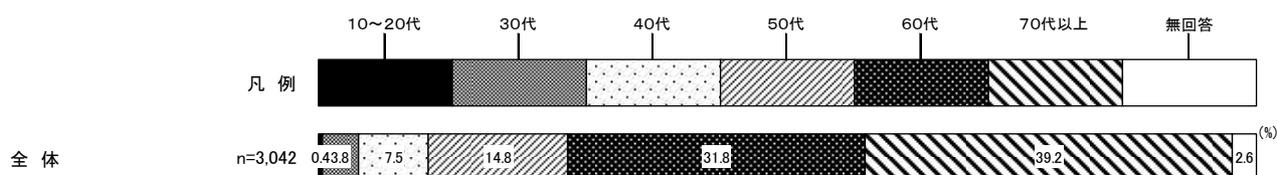


3-1-2 年齢

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(2) 年齢 (○は1つ)

<図表3-1-2 年齢>



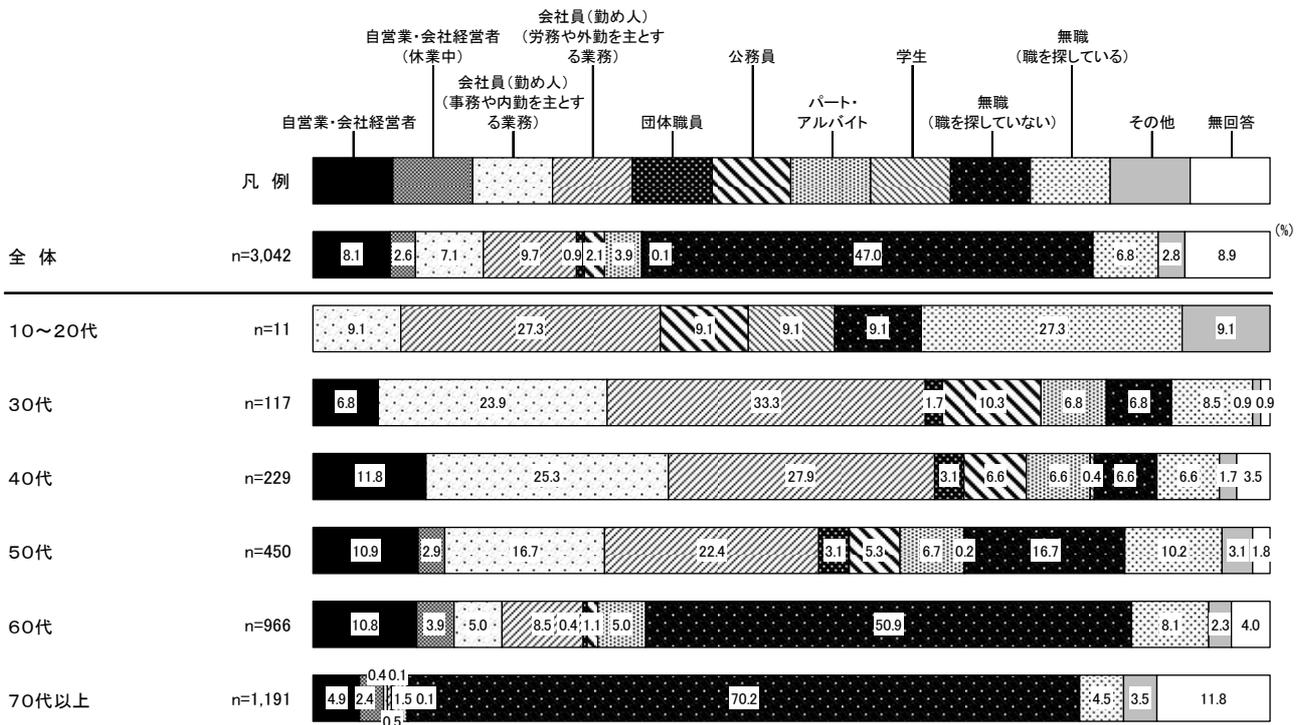
3-1-3 現在の就業形態

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。

仕事に就いている方は、業種と今後の就業意向も教えてください。なお、2つ以上の就業形態を持っている場合は、主な収入源になっている就業形態を教えてください。

(1) 就業形態 (○は1つ)

<図表 3-1-3 現在の就業形態 (年齢別) >



3-1-4 現在の業種

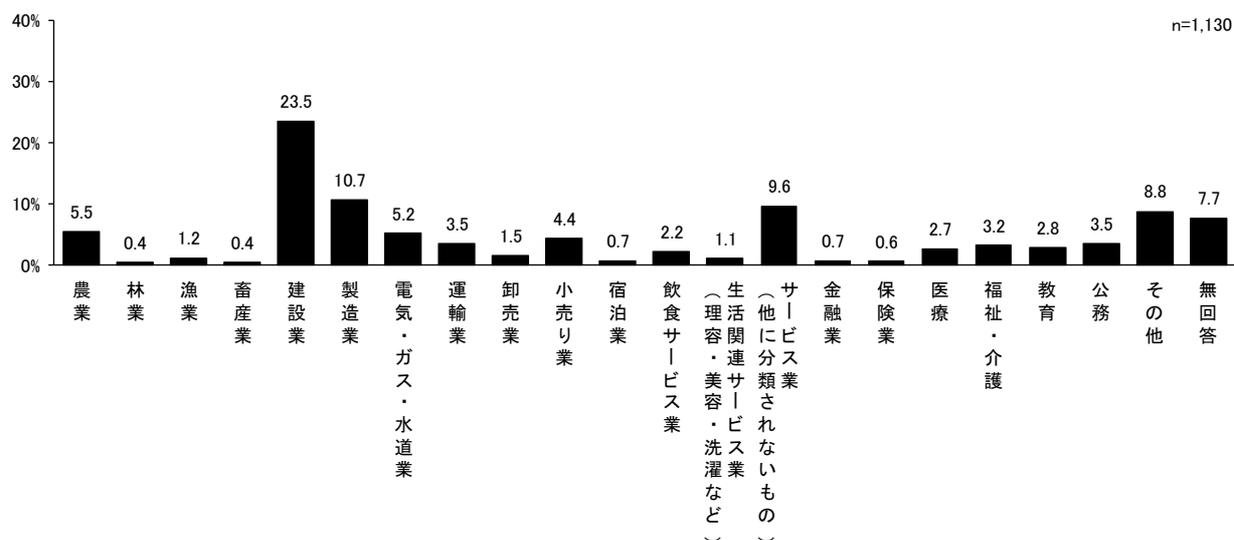
【問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。

仕事に就いている方は、業種と今後の就業意向も教えてください。なお、2つ以上の就業形態を持っている場合は、主な収入源になっている就業形態を教えてください。

(2) 業種 (〇は1つ)

<図表3-1-4-1 現在の業種>



<図表3-1-4-2 現在の業種 (年齢別)>

	n	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業 (理容・美容・洗濯など)	サービス業 (他に分類されないもの)	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
全体	n=1,130	5.5	0.4	1.2	0.4	23.5	10.7	5.2	3.5	1.5	4.4	0.7	2.2	1.1	9.6	0.7	0.6	2.7	3.2	2.8	3.5	8.8	7.7
10~20代	n=6	-	-	-	-	33.3	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-
30代	n=98	2.0	1.0	-	-	22.4	15.3	7.1	3.1	-	5.1	1.0	4.1	2.0	5.1	-	-	3.1	7.1	7.1	6.1	6.1	2.0
40代	n=190	2.1	-	0.5	-	25.8	17.9	6.3	1.1	1.6	4.2	1.1	2.6	0.5	7.4	0.5	0.5	6.3	3.7	2.6	5.3	7.9	2.1
50代	n=320	4.7	0.6	1.3	0.9	18.8	10.6	7.8	5.9	1.6	3.1	1.3	0.9	1.6	11.3	1.3	0.9	2.8	2.8	4.7	3.1	7.2	6.9
60代	n=357	7.6	0.3	2.0	0.6	28.9	6.2	3.6	3.6	1.7	4.8	-	2.5	0.6	11.2	0.8	0.8	0.3	2.8	1.4	3.4	8.1	9.0
70代以上	n=159	8.8	-	1.3	-	18.2	9.4	1.3	1.9	1.9	6.3	0.6	1.9	1.3	8.2	-	-	3.1	1.9	-	0.6	16.4	17.0

Ⅲ 調査結果

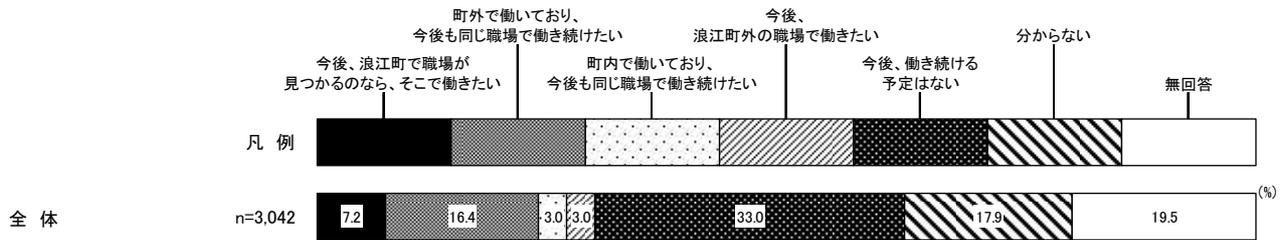
3-1-5 今後の就業意向

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。

仕事に就いている方は、業種と今後の就業意向も教えてください。なお、2つ以上の就業形態を持っている場合は、主な収入源になっている就業形態を教えてください。

問2-1 今後の就業意向（○は1つ）

<図表3-1-5 今後の就業意向>



3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する就業形態

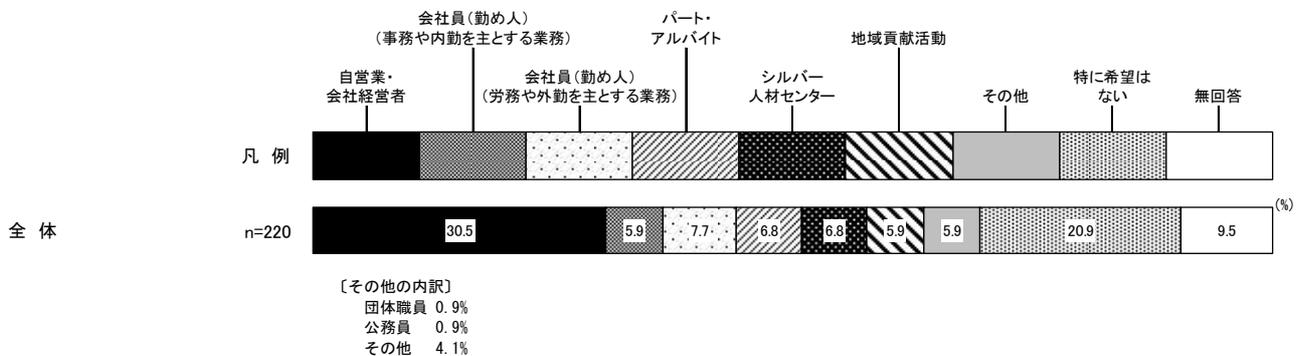
【問2-1で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。

なお、2つ以上の就業形態・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態（○は1つ）

<図表3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する就業形態>



3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種

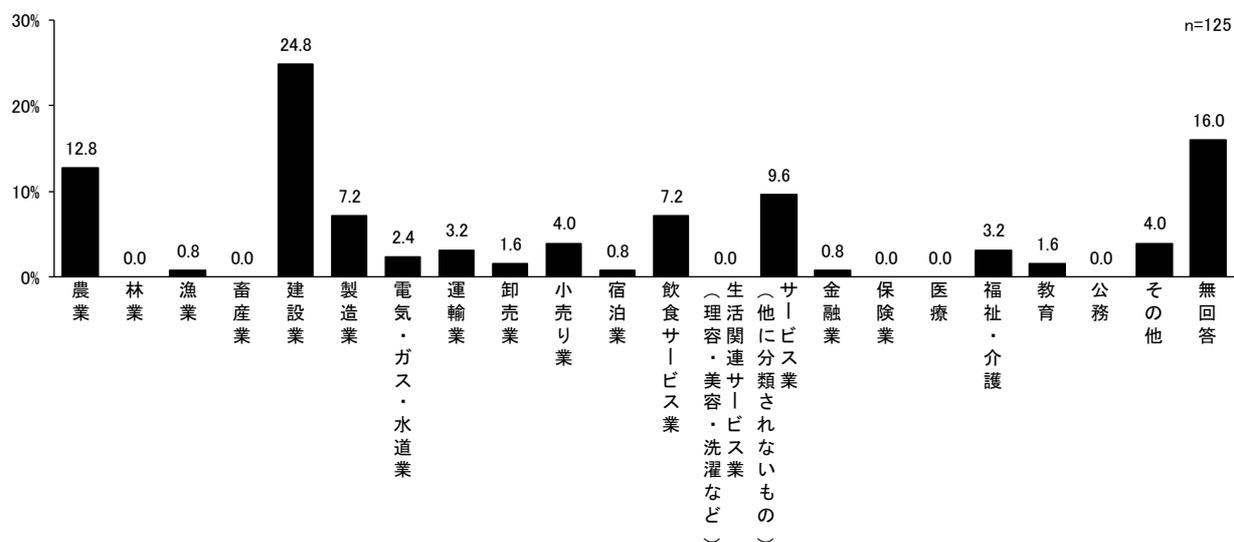
【問2-2(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。

なお、2つ以上の就業形態・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(2) 業種 (〇は1つ)

<図表3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種>

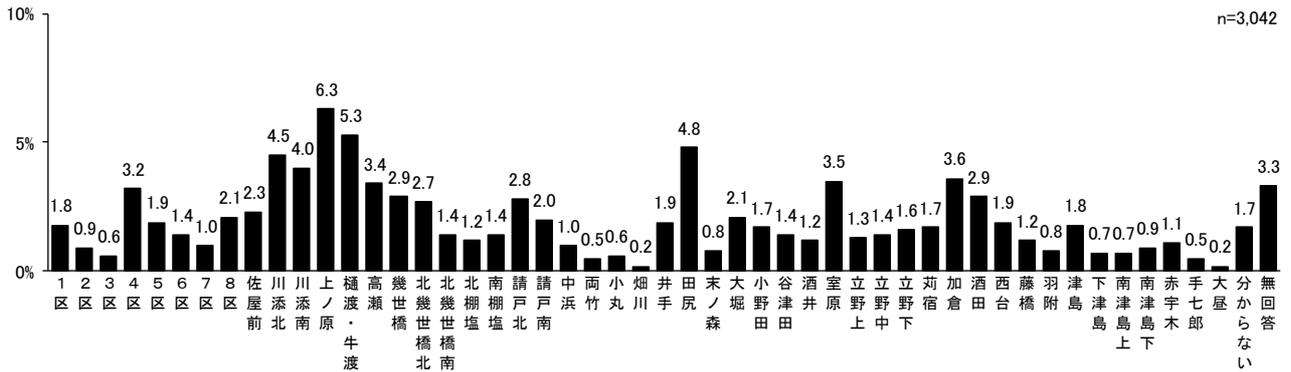


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>

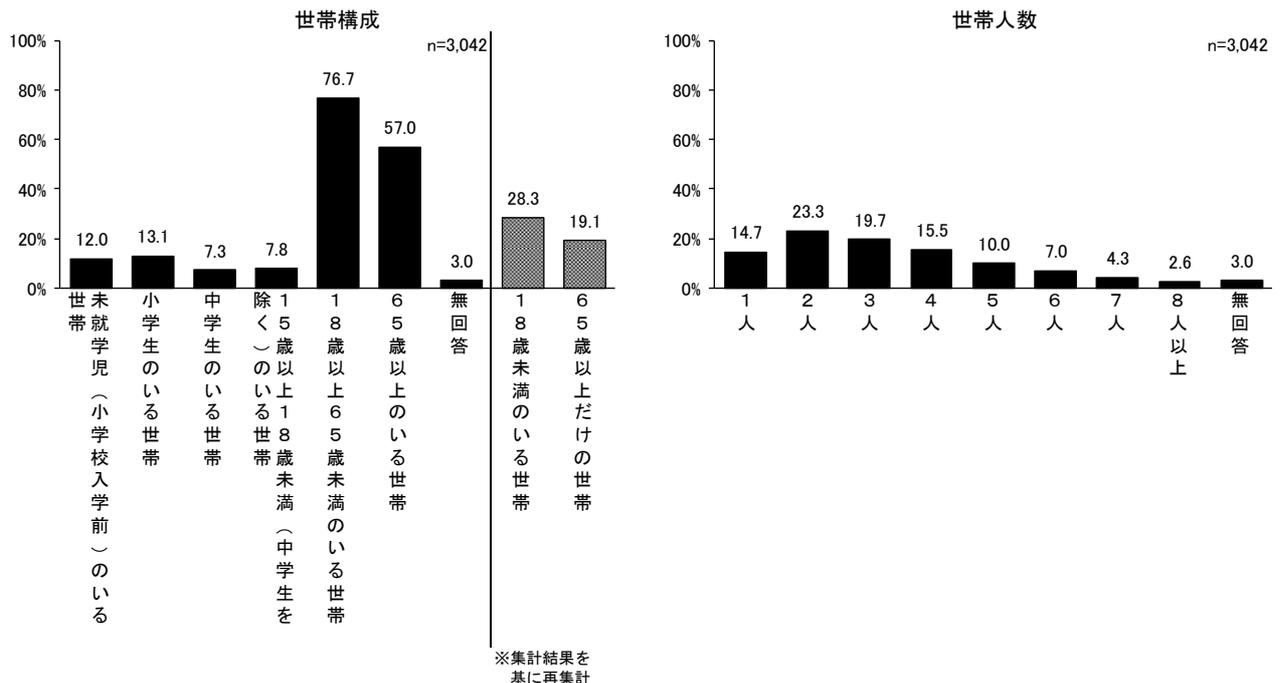


3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生ときに、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

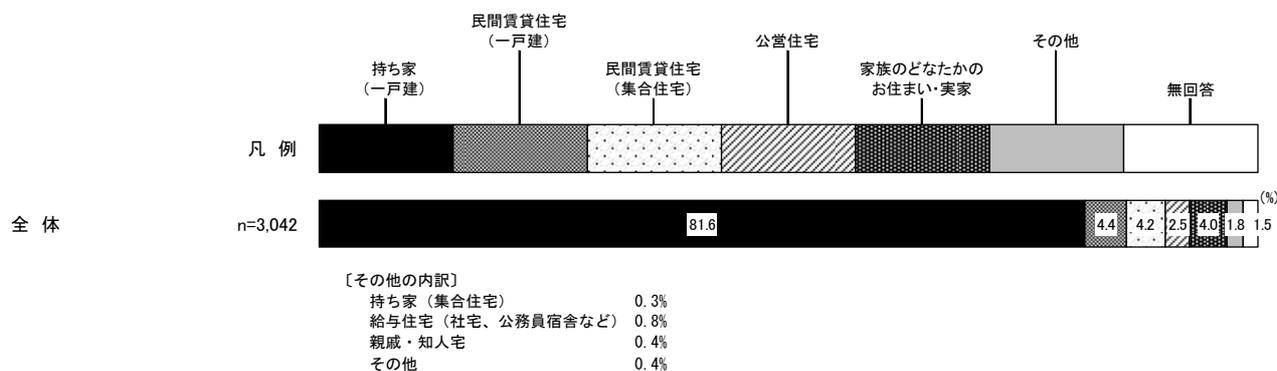
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

<図表 3-2-3 震災発生当時の住居形態>

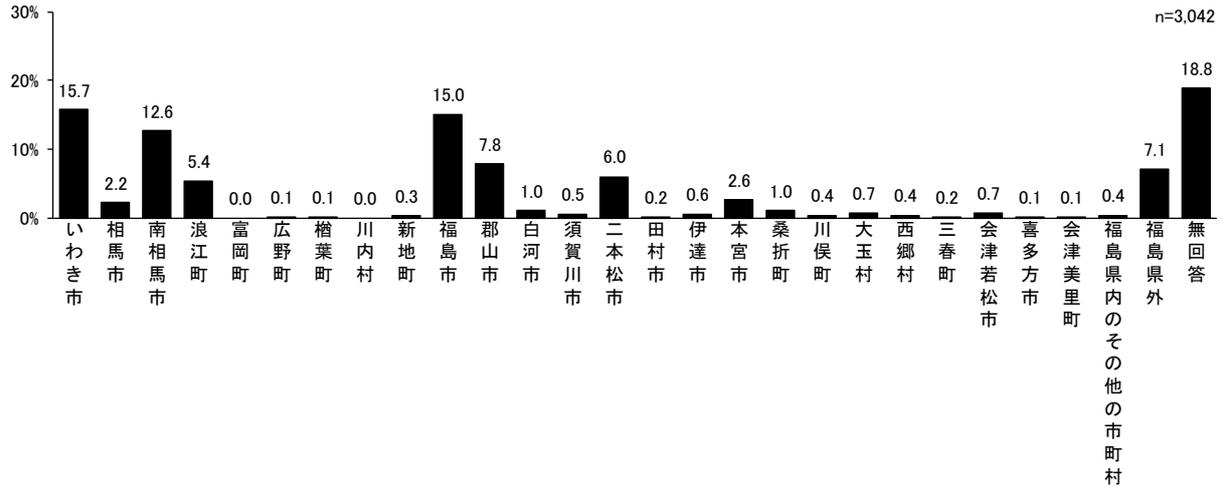


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住自治体

問6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(〇は1つ)

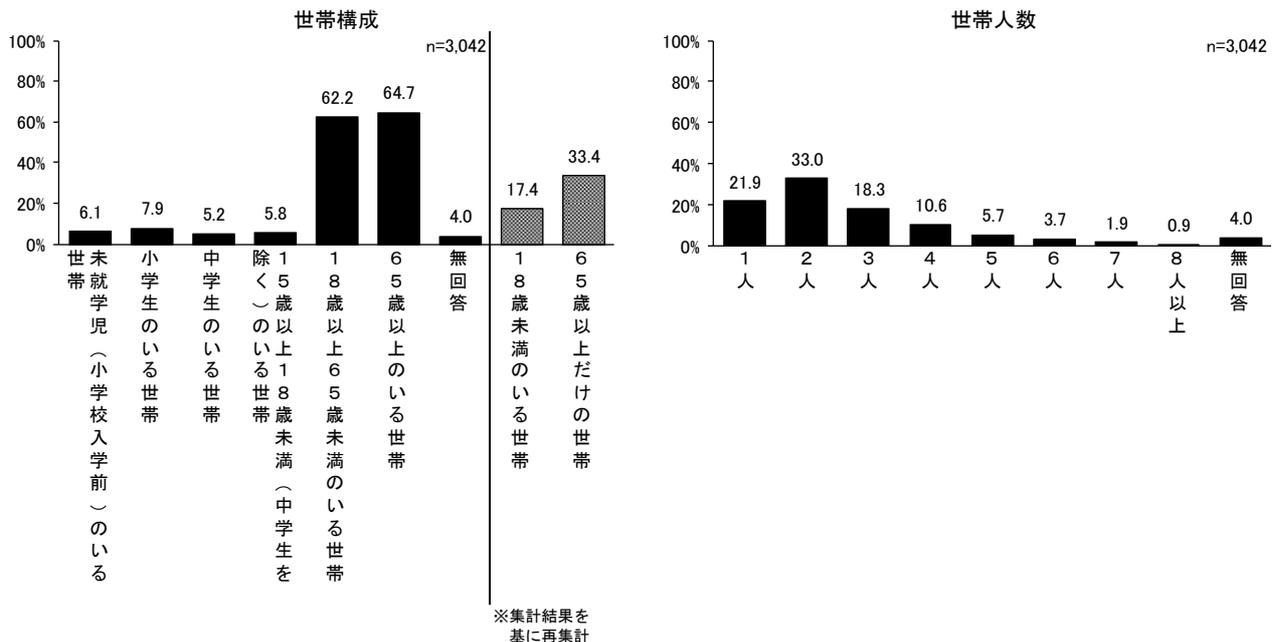
<図表3-3-1 現在の居住自治体>



3-3-2 現在の世帯構成・人数

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

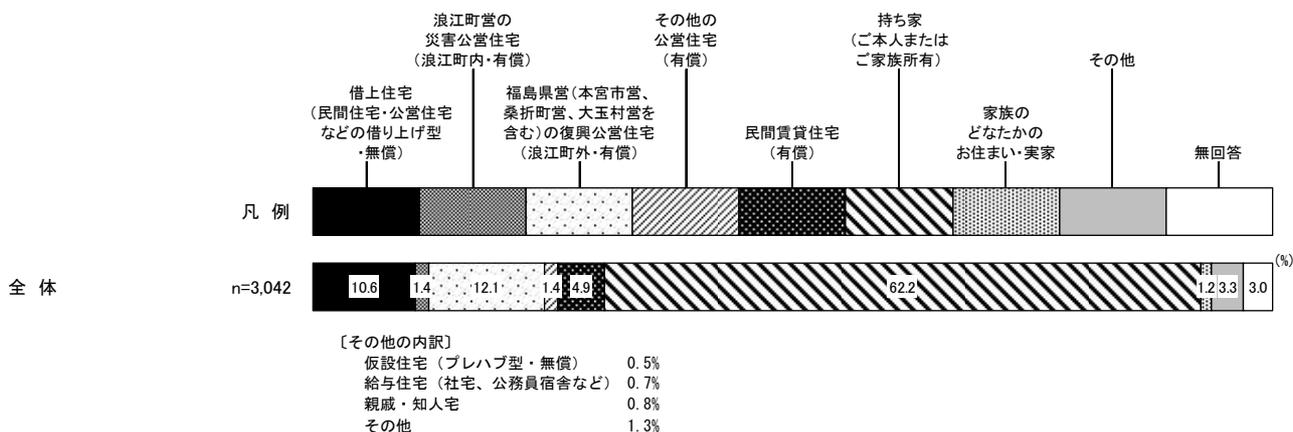
<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

<図表 3-3-3 現在の住居形態>



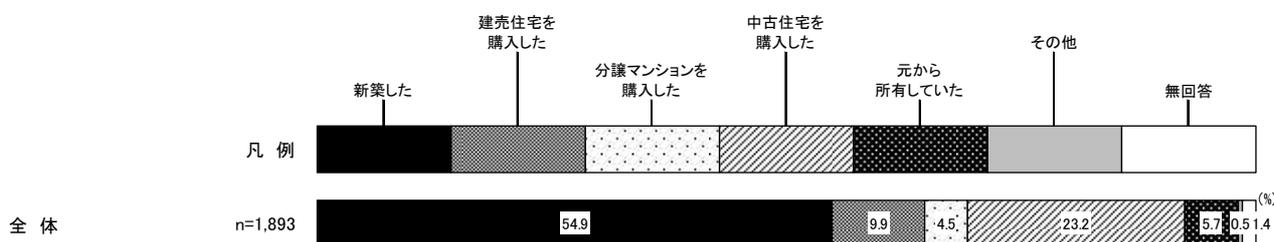
3-3-4 現在の持ち家の取得形態

【問8で「7. 持ち家 (ご本人またはご家族所有)」と回答した方にうかがいます。】

問8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

(1) 持ち家の取得形態 (〇は1つ)

<図表 3-3-4 現在の持ち家の取得形態>



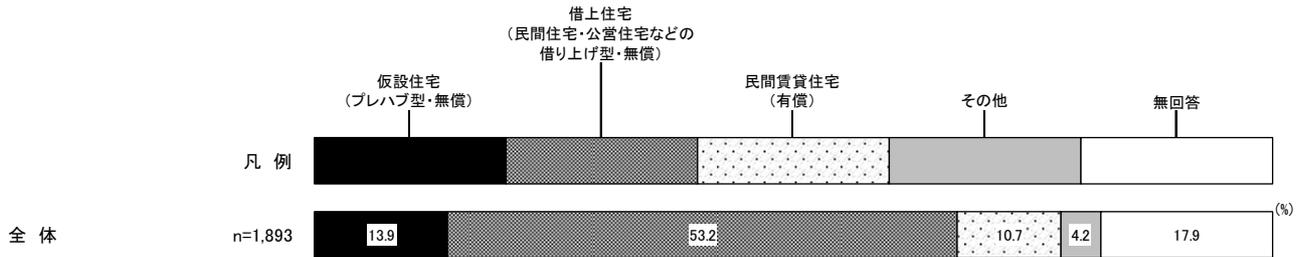
3-3-5 現在の持ち家取得前の住居形態

【問8で「7. 持ち家（ご本人またはご家族所有）」と回答した方にうかがいます。】

問8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

(2) 持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態（○は1つ）

<図表3-3-5 現在の持ち家取得前の住居形態>



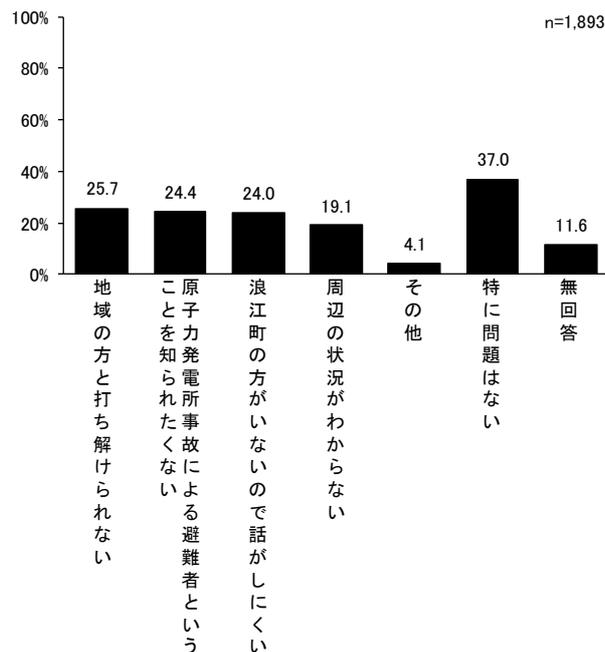
3-3-6 現在の持ち家に入居後の問題点

【問8で「7. 持ち家（ご本人またはご家族所有）」と回答した方にうかがいます。】

問8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

(3) 持ち家に入居後の問題など（○はいくつでも）

<図表3-3-6 現在の持ち家に入居後の問題点>

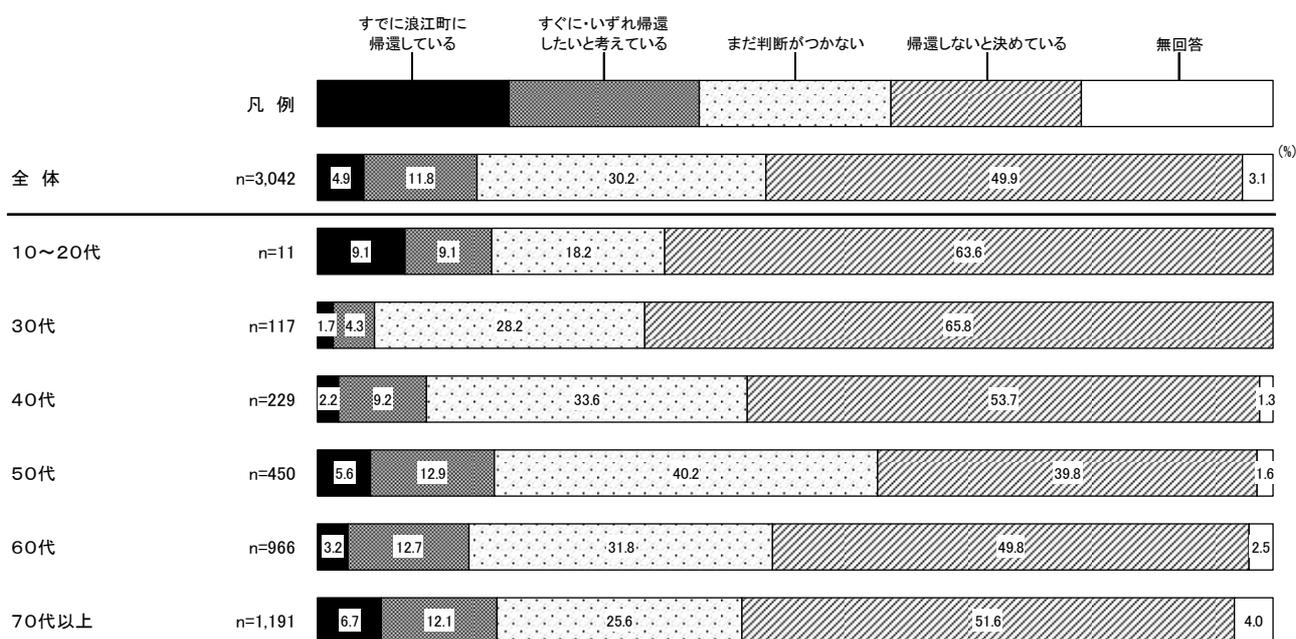


3-4 将来の意向

3-4-1 浪江町への帰還意向

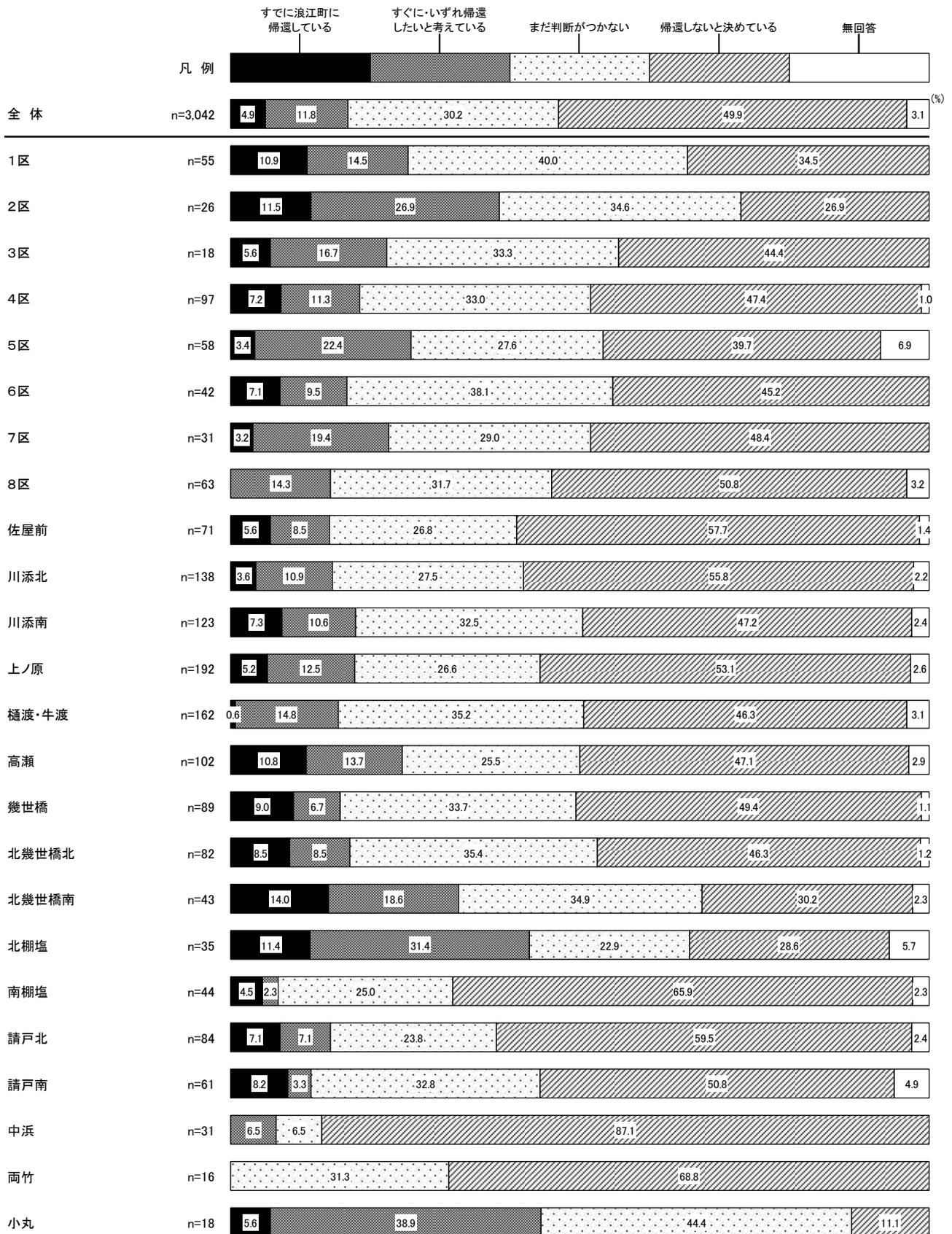
問9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。
1～4の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(〇は1つ)

<図表3-4-1-1 浪江町への帰還意向(年齢別)>

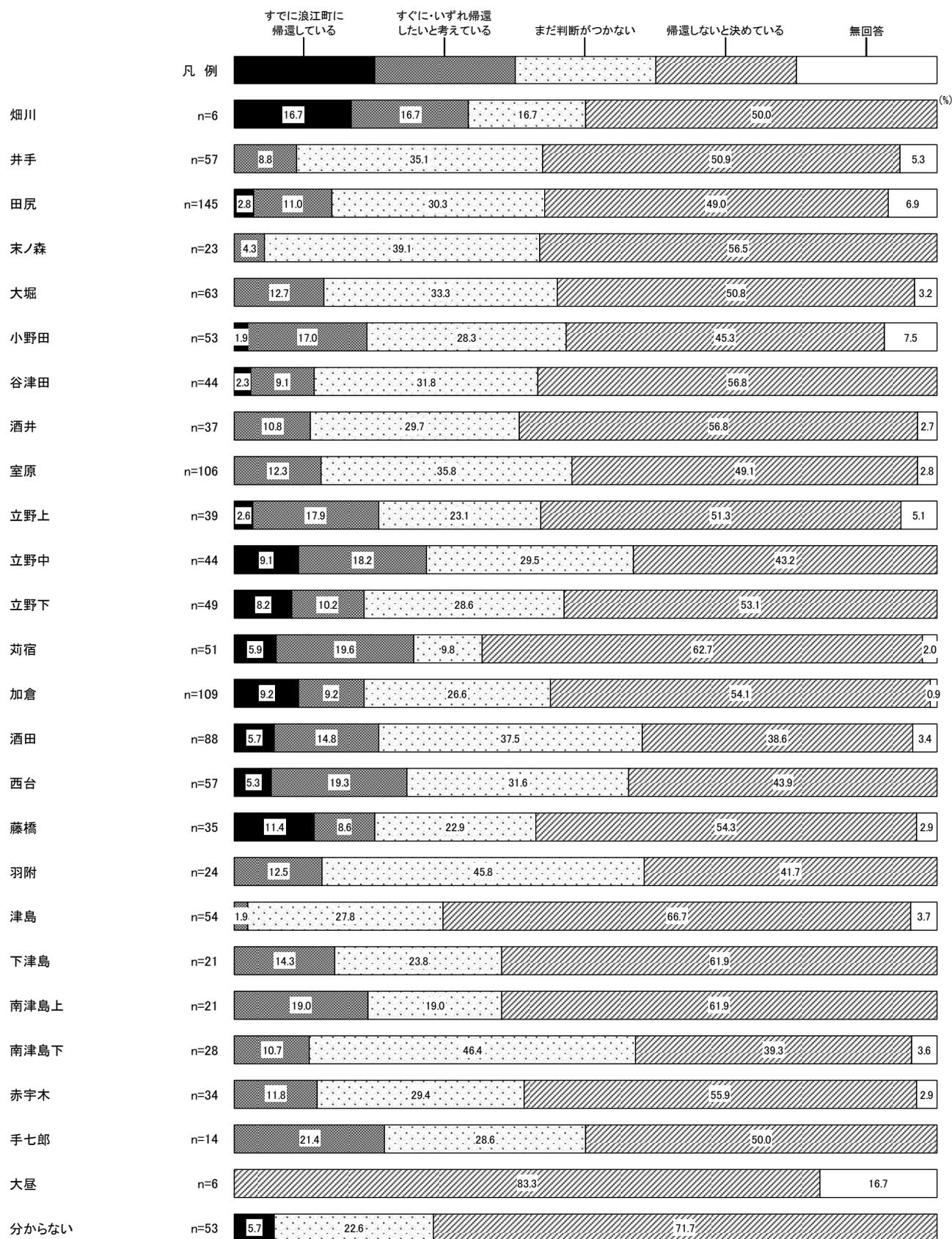


Ⅲ 調査結果

<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表 3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別） 続き>



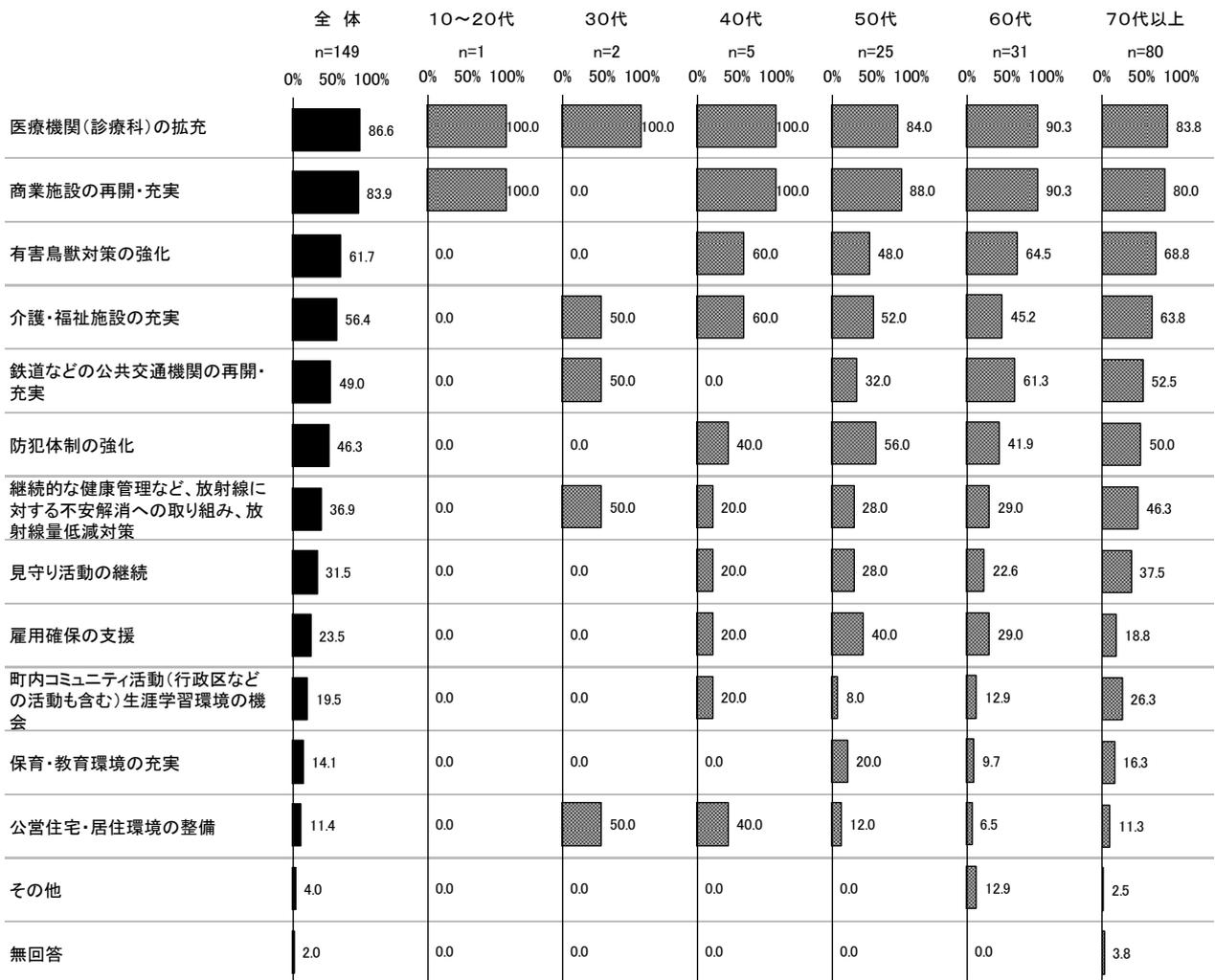
3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問9で「1.すでに浪江町に帰還している」と回答した方にうかがいます。】

問10 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。

(〇はいくつでも)

＜図表3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）＞



3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの内容

【問9で「1.すでに浪江町に帰還している」と回答した方にうかがいます。】

問11 問10で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。
そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

<浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの内容（上位項目の主な意見）>

【医療機関（診療科）の拡充】

- ・ 夜子供が体調悪くした時南相馬市まで行くのが大変。（30代）
- ・ 毎月医者通いしているので歯医者、眼科等もあれば良い。（50代）
- ・ 総合診療可能な病院があると助かる。（60代）
- ・ 休日の医療体制を確保して欲しい。（60代）
- ・ 専門の医療機関がないので遠くまで診療に行くので不便です（70代以上）

【商業施設の再開・充実】

- ・ 町内で生鮮食品の買い物ができるようにして欲しい。（20代）
- ・ スーパーや工場など浪江町が発展する方向に。（40代）
- ・ 仕事でおそい時でも買い物が出来る場所が欲しい。（40代）
- ・ 町に商業施設の設置が進んでいない！買い物がとても不便である！！（50代）
- ・ 町内で日常生活必需品の買い出しが出来る様にしてほしい。（70代以上）

【有害鳥獣対策の強化】

- ・ イノシシやハクビシンなど柿の実を食べに毎晩きている。夜はこわくて外には出られない。（60代）
- ・ 猪・猿の被害が出ているのに対策が何もない。誰でもワナなどが設置できるような特別な措置が必要では…。（60代）
- ・ とんりの家が（近いうちに）サラ地になり、サクもなくなるので動物の被害が心配です。（60代）
- ・ イノシシが増えて、畑や田の土手・道路脇など穴だらけ。散歩中に出会っても逃げないのもいるので危険。（70代以上）
- ・ イノシシ等有害鳥獣で農地荒され農業出来ない。（70代以上）

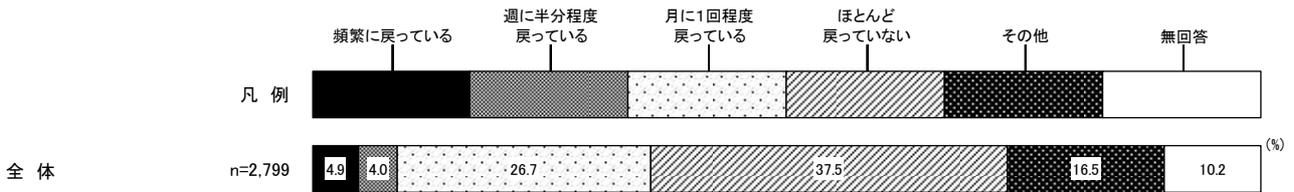
Ⅲ 調査結果

3-4-4 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で戻られていますか。(〇は1つ)

<図表3-4-4 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕>

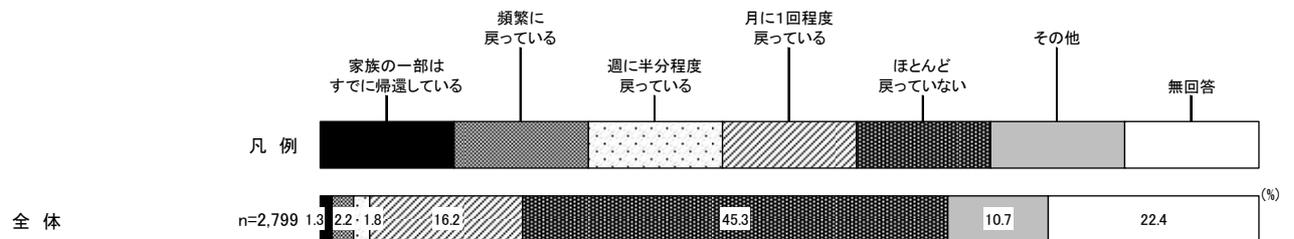


3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で戻られていますか。(〇は1つ)

<図表3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕>



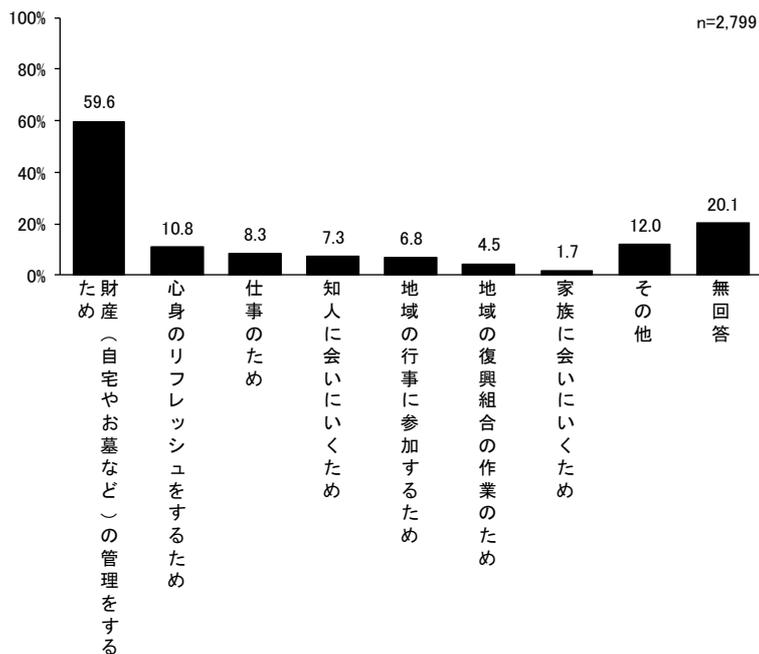
3-4-6 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻る理由は何ですか。

(○はいくつでも)

<図表3-4-6 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由>

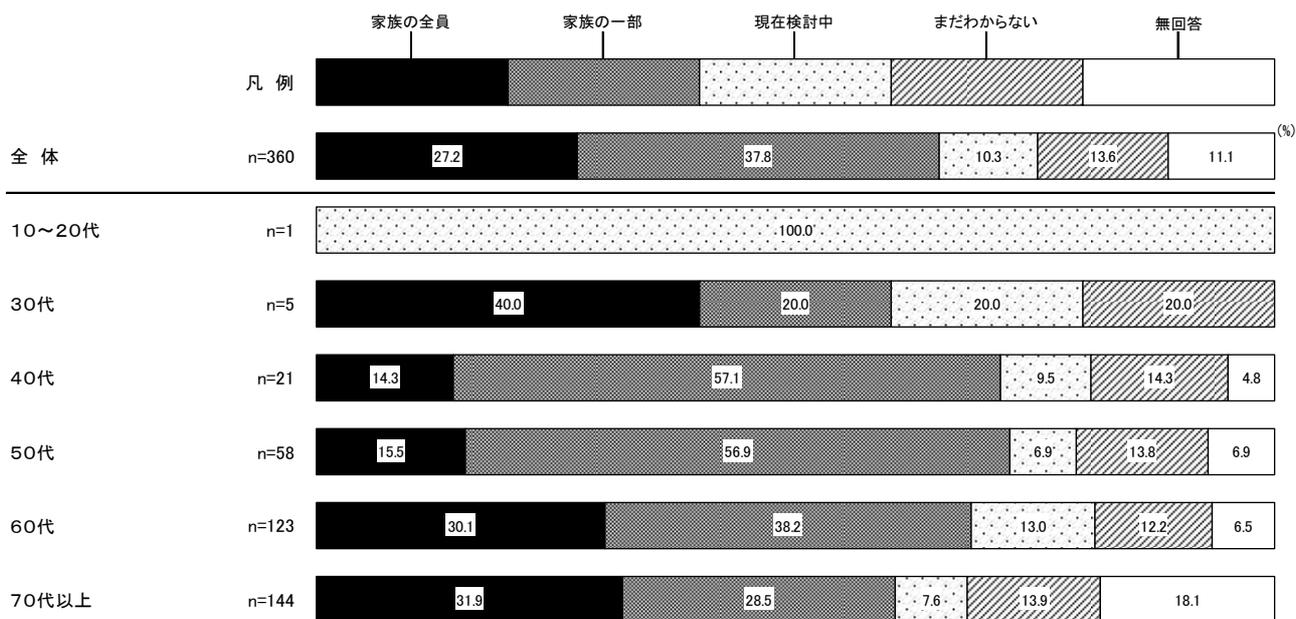


3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族

【問9で「2. すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

<図表3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族(年齢別)>

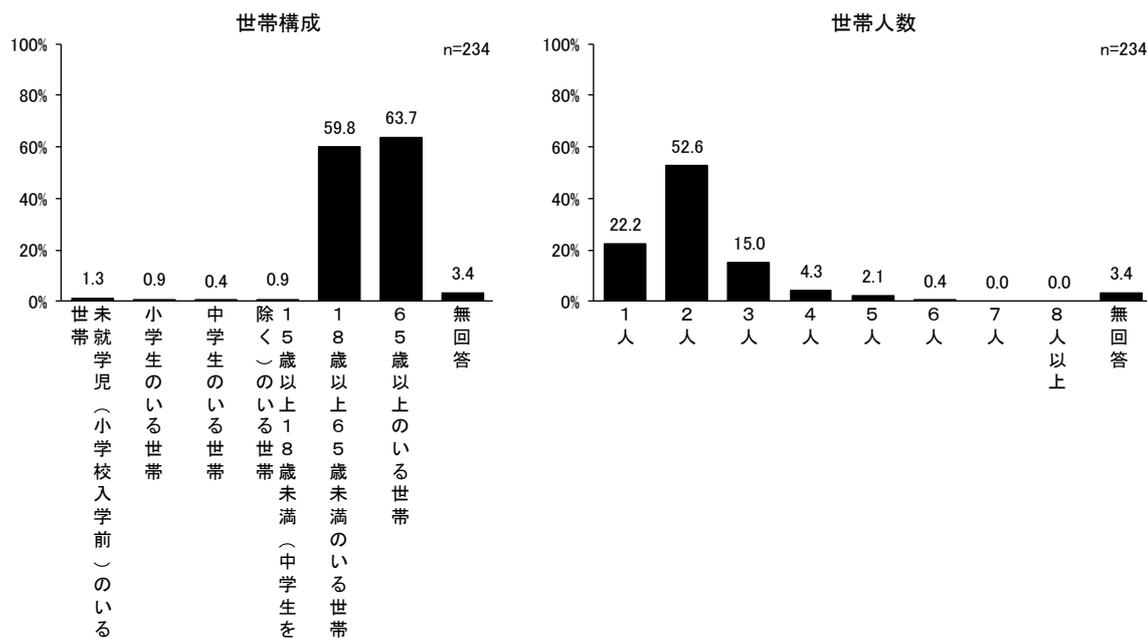


3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数

【問15で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数>

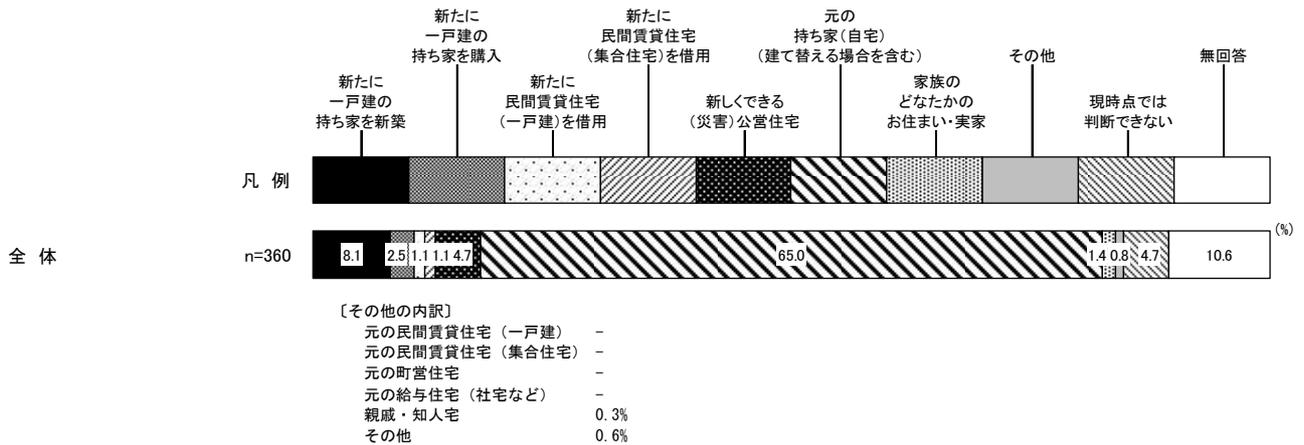


3-4-9 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問9で「2. すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

＜図表3-4-9 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態＞

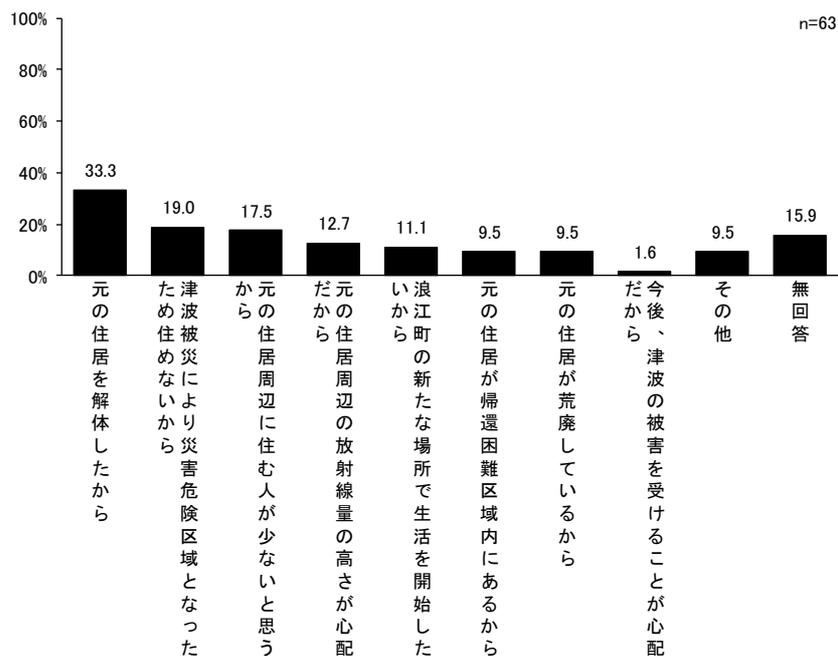


3-4-10 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由

【問16で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

＜図表3-4-10 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由＞

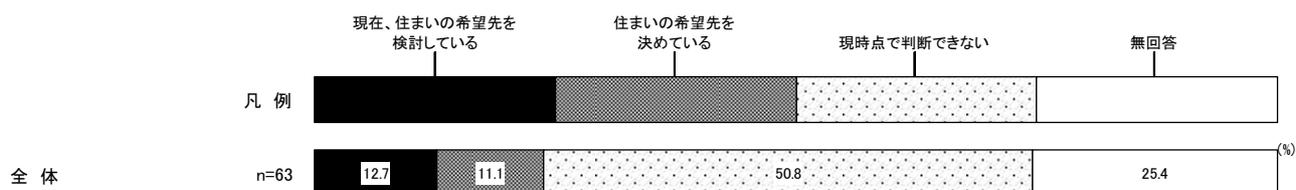


3-4-1-1 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区

【問16で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

<図表3-4-1-1 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区>

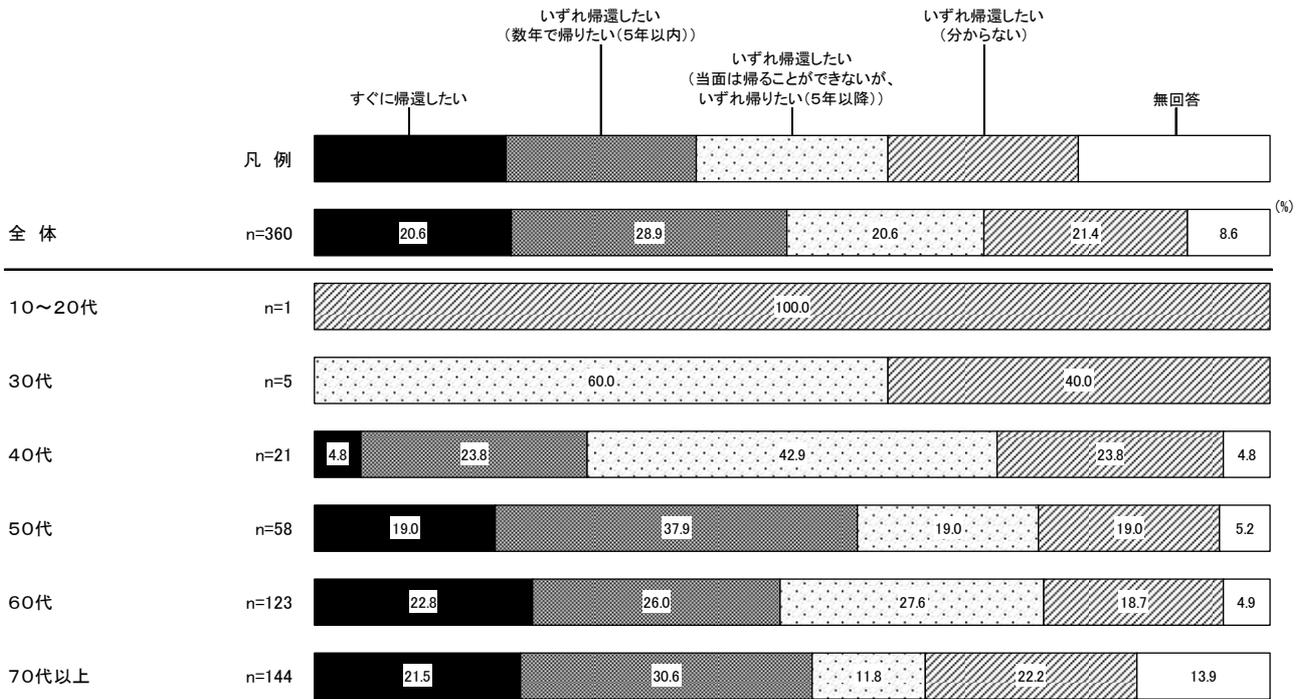


3-4-12 浪江町への帰還時期

【問9で「2. すぐに・いずれ帰還したいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-4-12 浪江町への帰還時期(年齢別)>



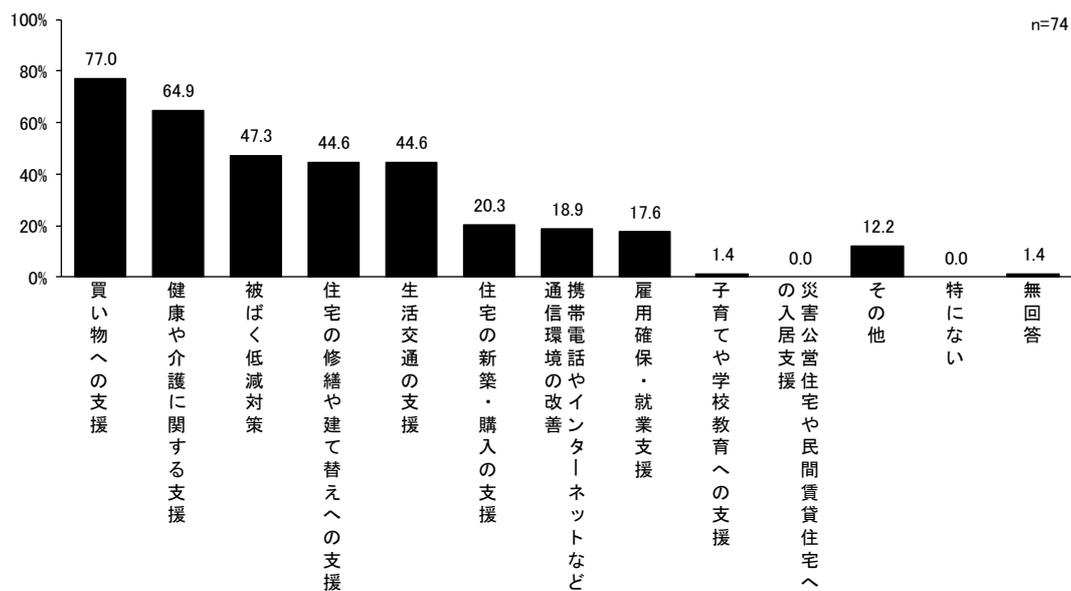
3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること

【問17で「1. すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。

(〇はいくつでも)

<図表3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>

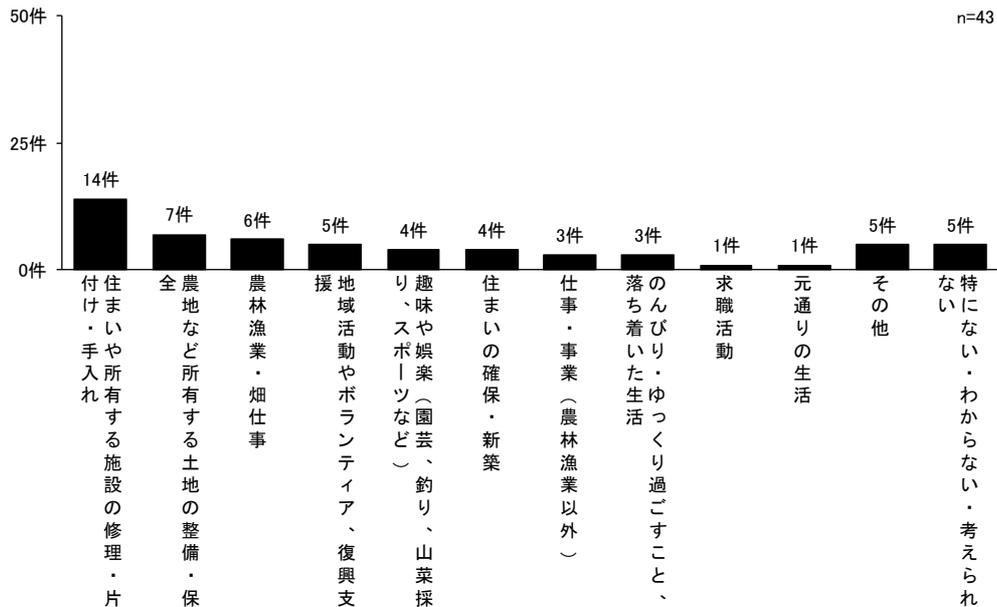


3-4-14 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと

【問17で「1. すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

＜図表3-4-14 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ】

- ・ 家の周りの片付け。とにかく、落ちついて、過ごす事が出来る場所(環境)の確保(50代)
- ・ 室内での不要物の破棄、庭の整備、手入れ。(60代)
- ・ 家のまわりの整備、草とり、花や野菜を作りたい、運動(健康のために)。(70代以上)

【農地など所有する土地の整備・保全】

- ・ 田畑の整備、山林の整備。元の一戸建の持ち家を取り壊す(解体する)建て替える。お墓の建替え。庭の整備。(60代)
- ・ 山森の手入れ、道路の整備。(60代)
- ・ 農地の保全管理等。(70代以上)

【農林漁業・畑仕事】

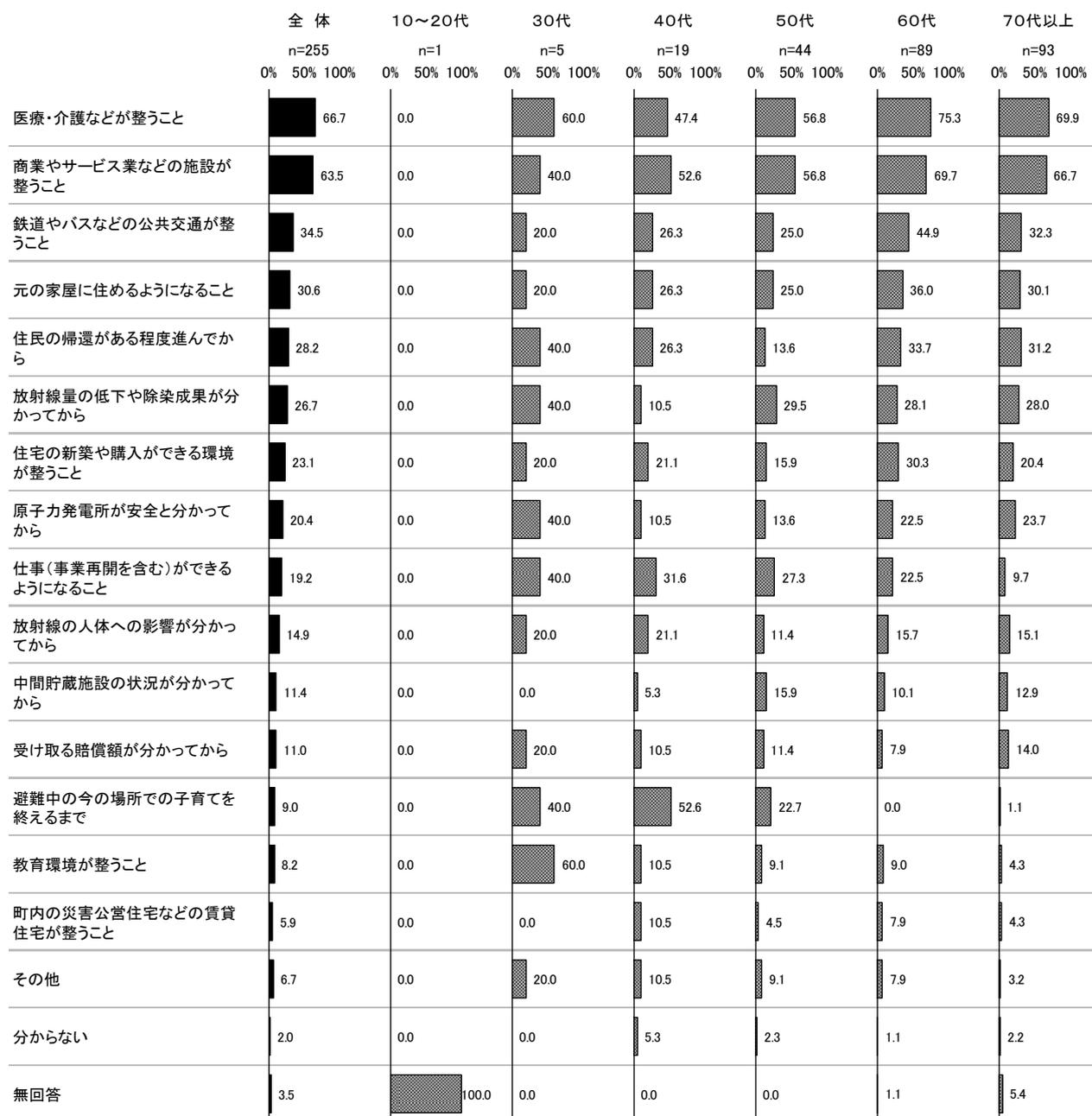
- ・ 自宅の修繕、建て替え、農業再開に向けた準備。(50代)
- ・ 農地の手入れ、農作業、花木の手入れ、ゆったり、ゆっくり生活したい。(70代以上)
- ・ 畜産。(70代以上)

3-4-15 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件

【問17で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-15 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件(年齢別)>

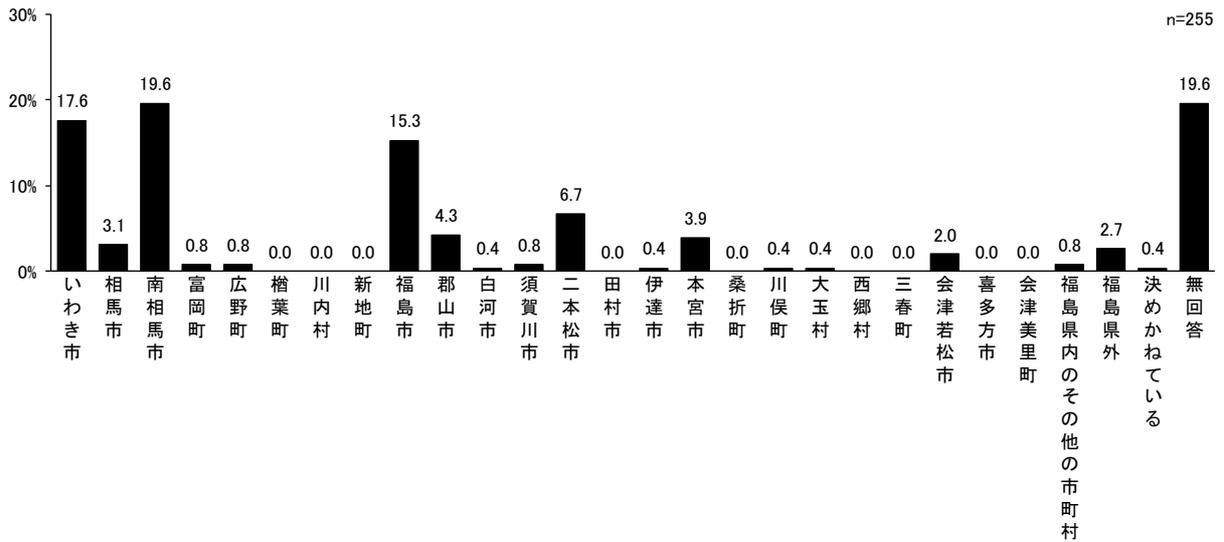


3-4-16 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体

【問17で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-16 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体>

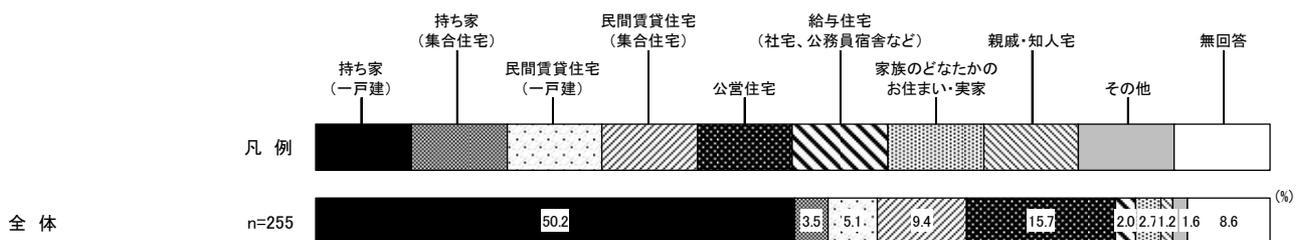


3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問17で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態>



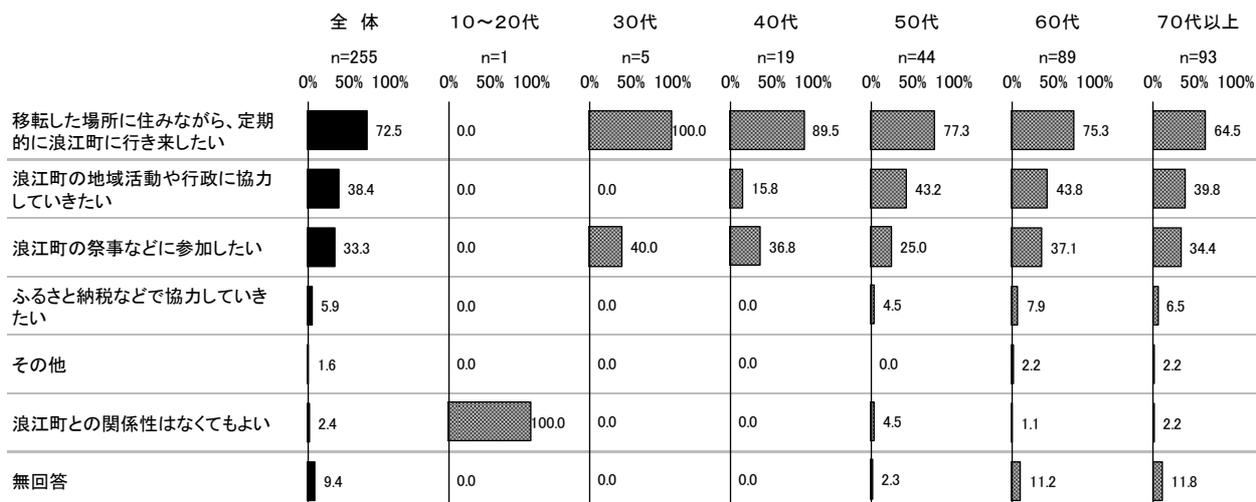
3-4-18 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係

【問17で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

<図表3-4-18 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係 (年齢別)>



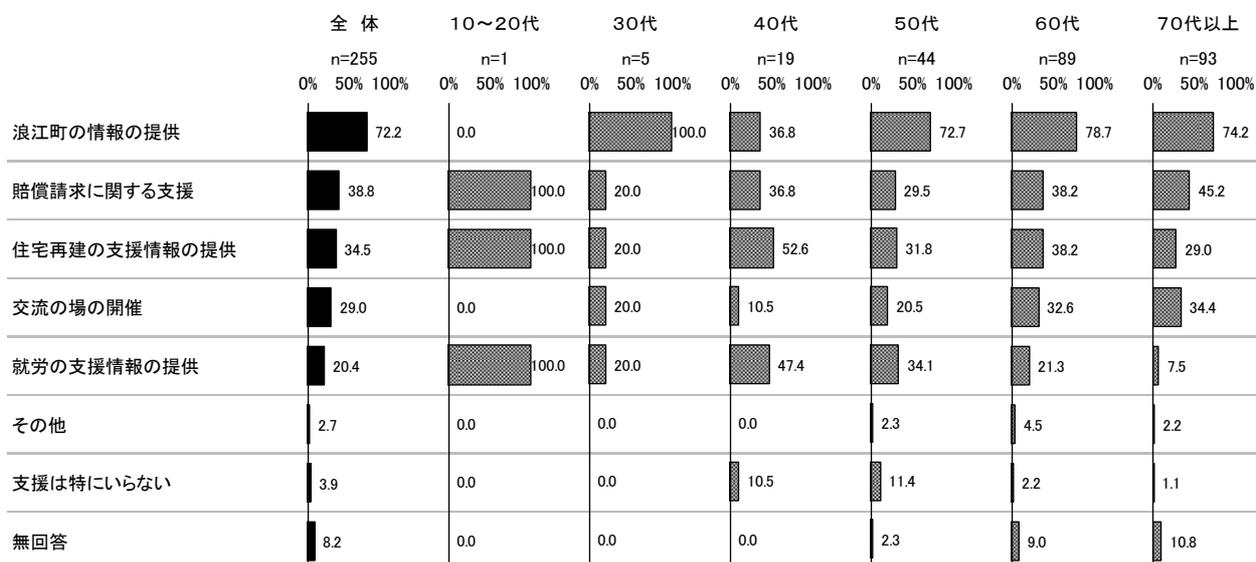
3-4-19 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援

【問17で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

<図表3-4-19 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援 (年齢別)>



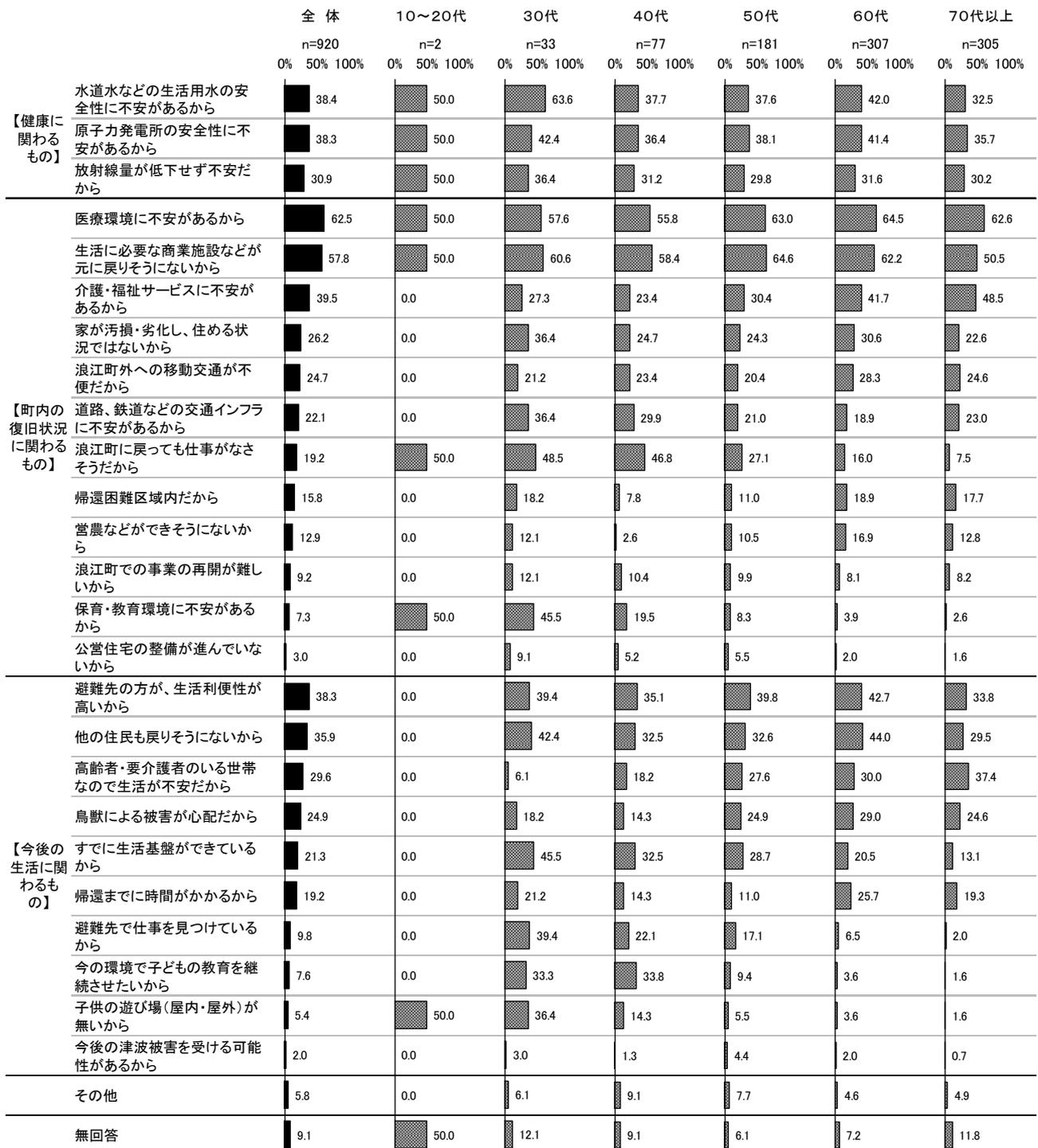
Ⅲ 調査結果

3-4-20 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-20 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由(年齢別)>

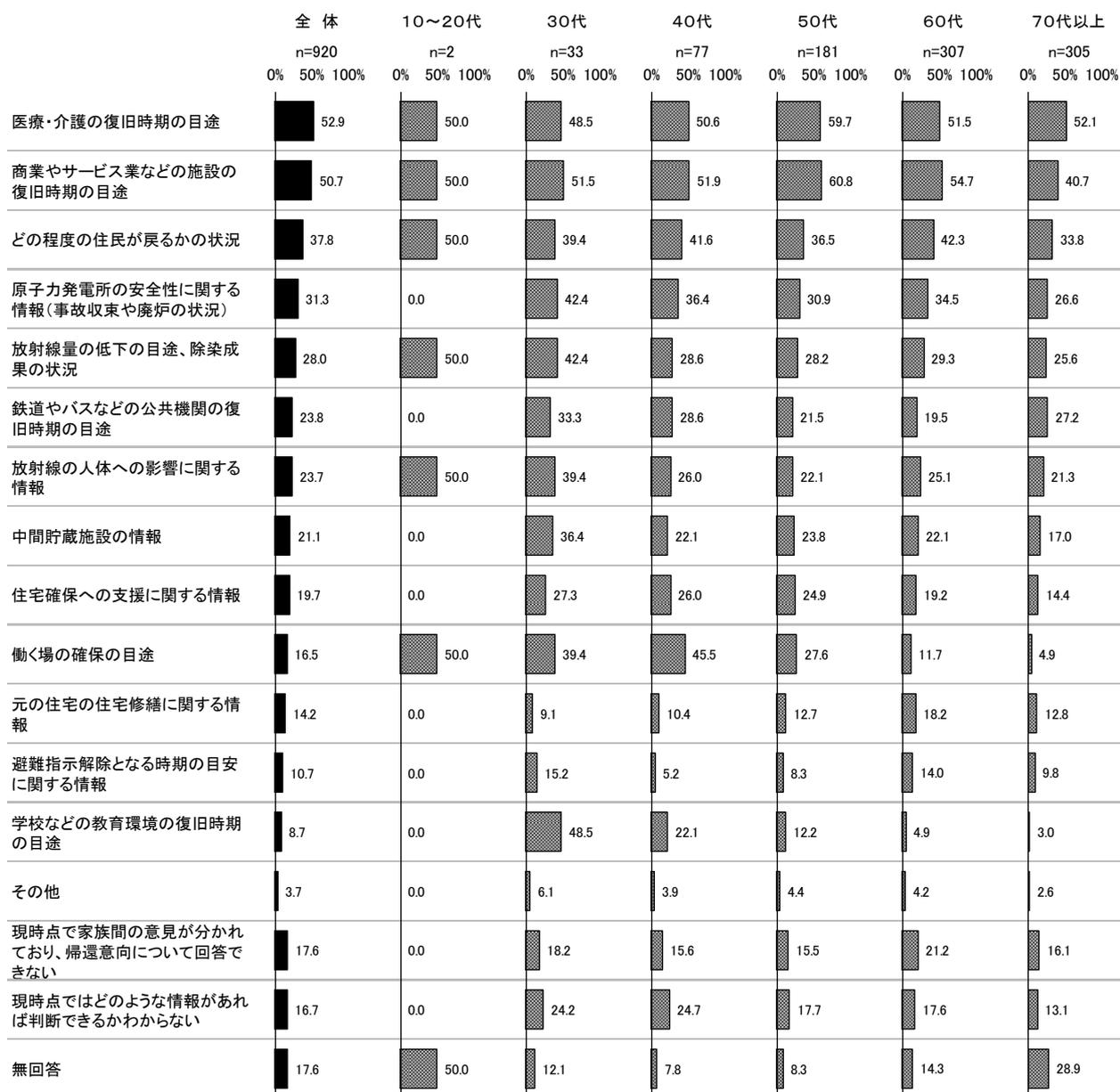


3-4-2-1 浪江町への帰還を判断するために必要なこと

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問19 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-2-1 浪江町への帰還を判断するために必要なこと(年齢別)>

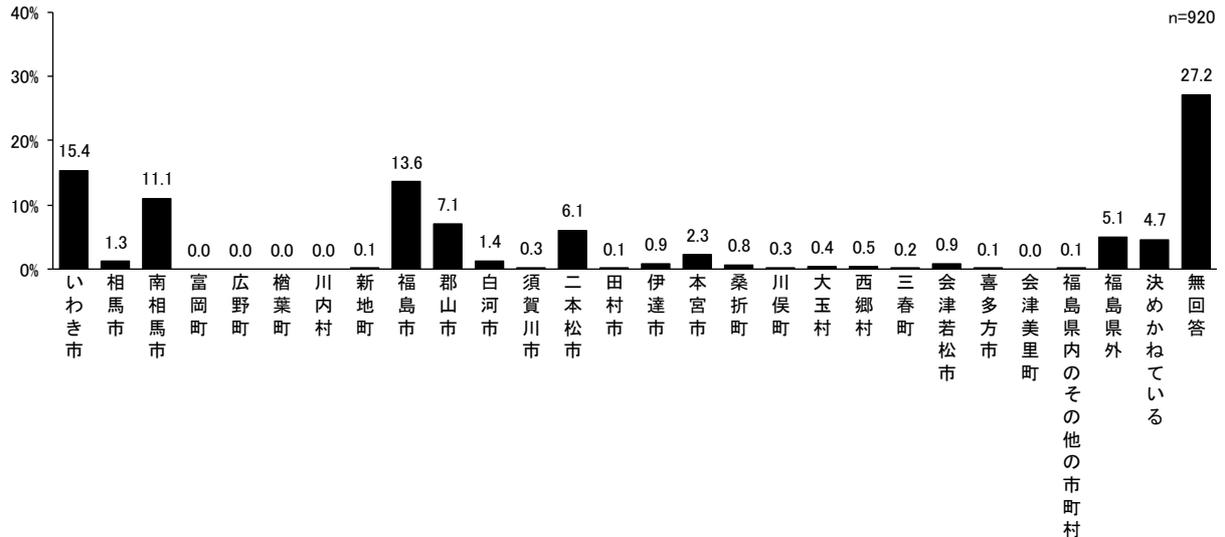


3-4-22 浪江町への帰還を判断するまでの間に居住を希望する自治体

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問20 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（○は1つ）

＜図表3-4-22 浪江町への帰還を判断するまでの間に居住を希望する自治体＞

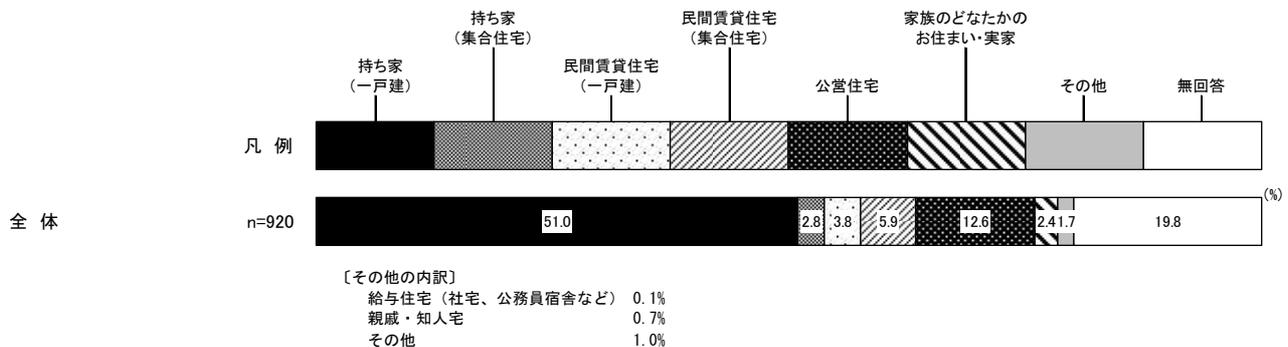


3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問21 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（○は1つ）

＜図表3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態＞



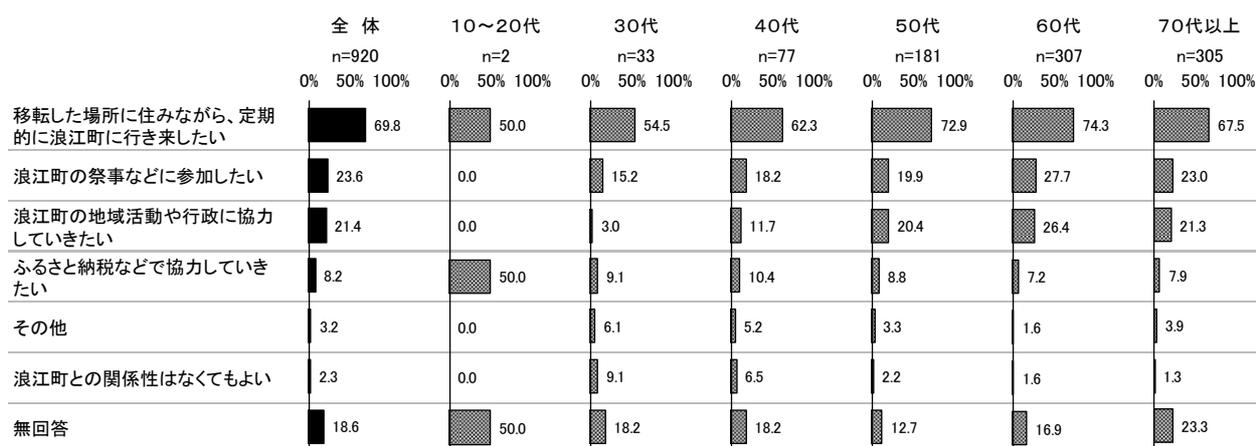
3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問22 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

＜図表3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係（年齢別）＞



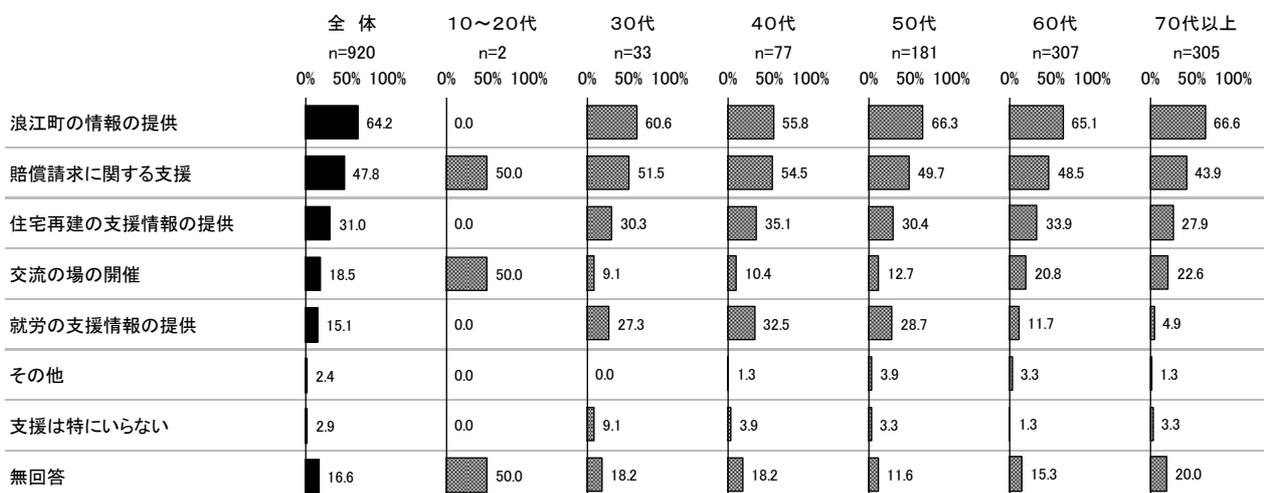
3-4-25 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問22 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

＜図表3-4-25 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援（年齢別）＞



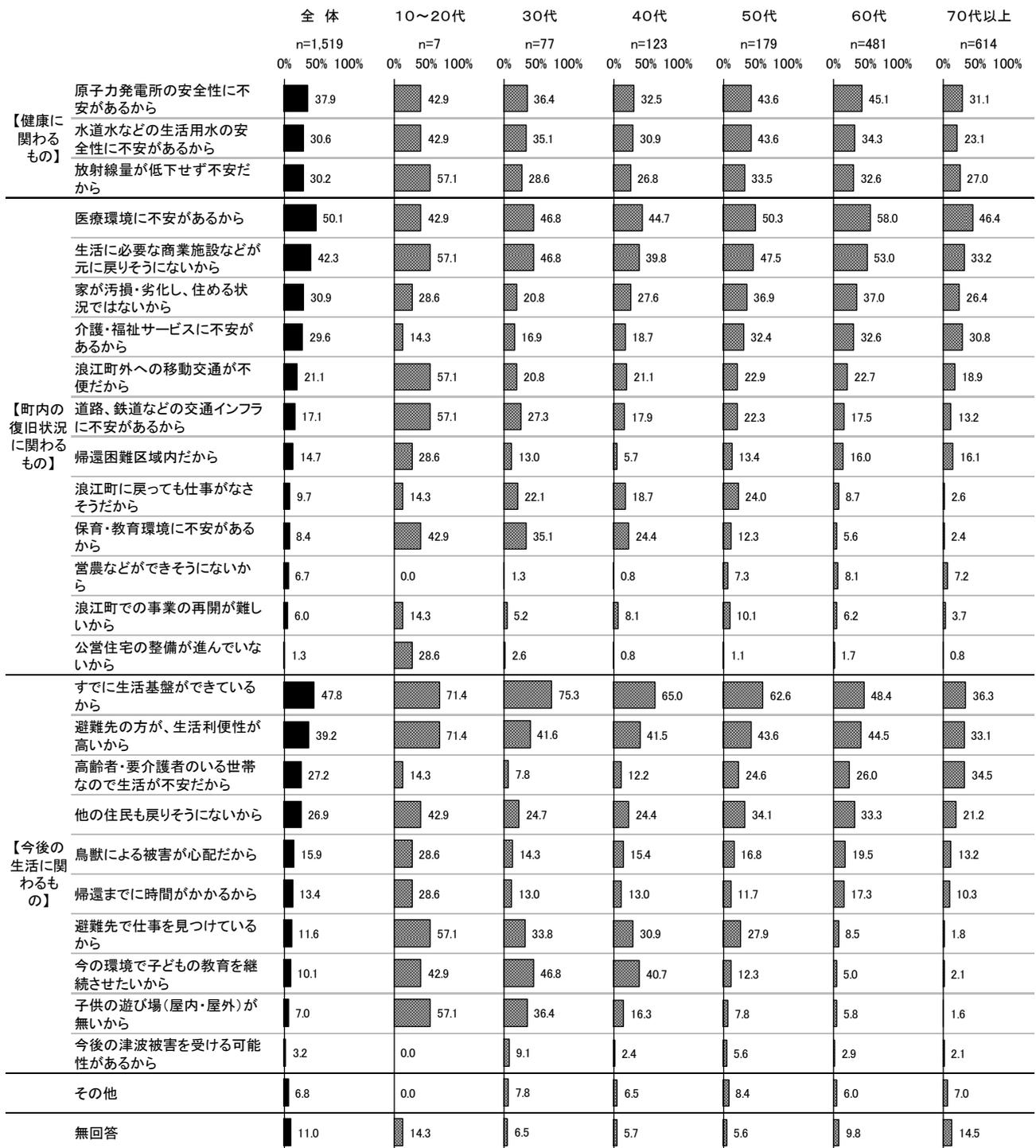
Ⅲ 調査結果

3-4-26 浪江町に帰還しない理由

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問23 現時点で帰還しないと決めている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-26 浪江町に帰還しない理由(年齢別)>



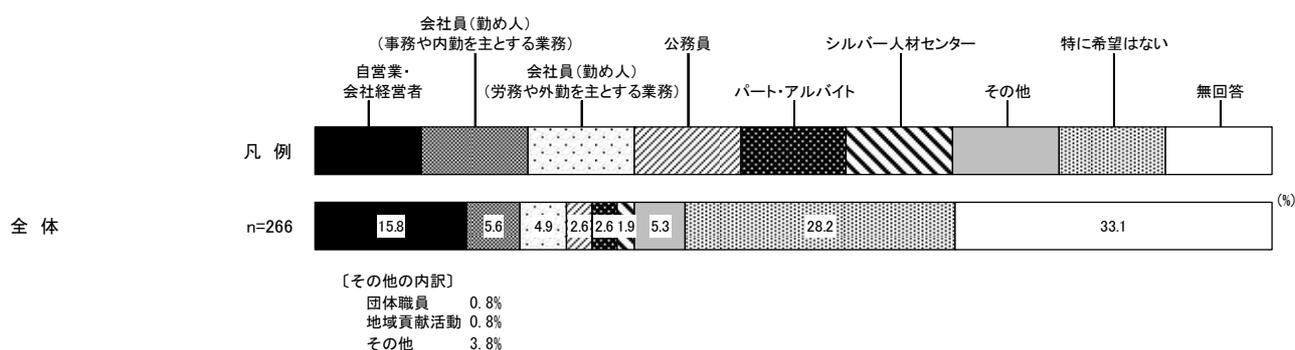
3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える就業形態

【問23で「13」「14」「15」と回答した方にうかがいます。】

問23-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思えますか。

(1) 就業形態 (○は1つ)

<図表3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える就業形態>



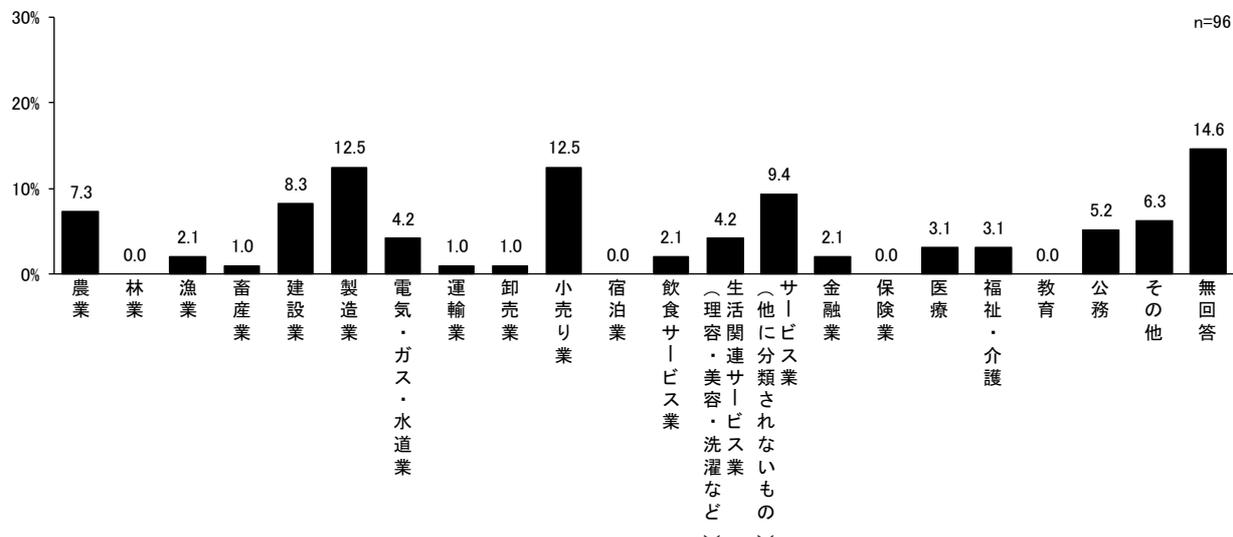
3-4-28 浪江町へ帰還したいと思える業種

【問23-1(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

問23-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思えますか。

(2) 業種 (○は1つ)

<図表3-4-28 浪江町へ帰還したいと思える業種>

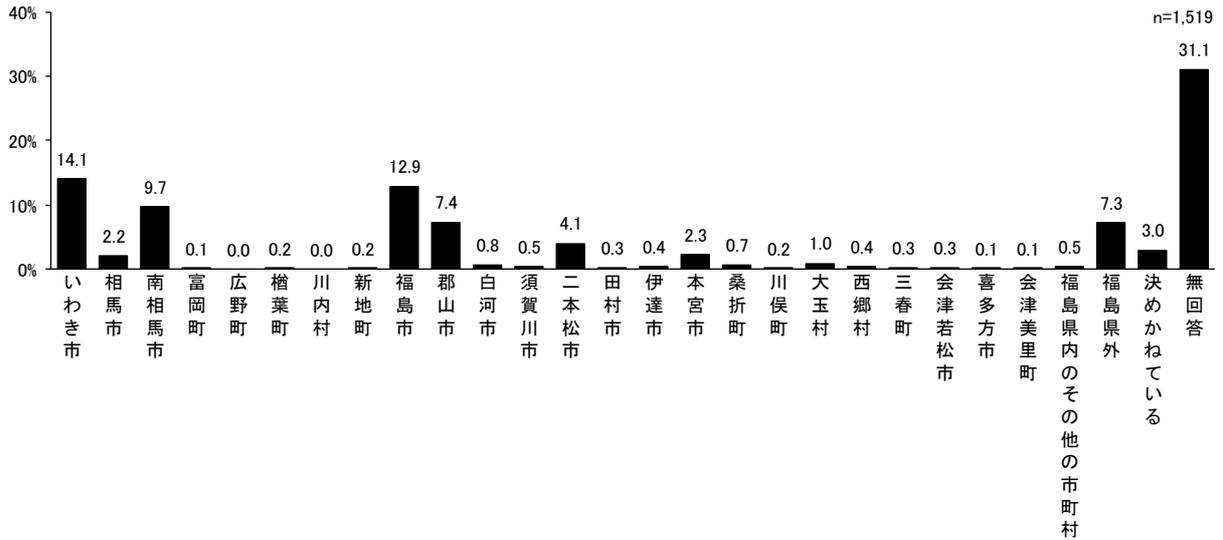


3-4-29 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にかがいます。】

問24 帰還しない場合、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（○は1つ）

＜図表3-4-29 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体＞

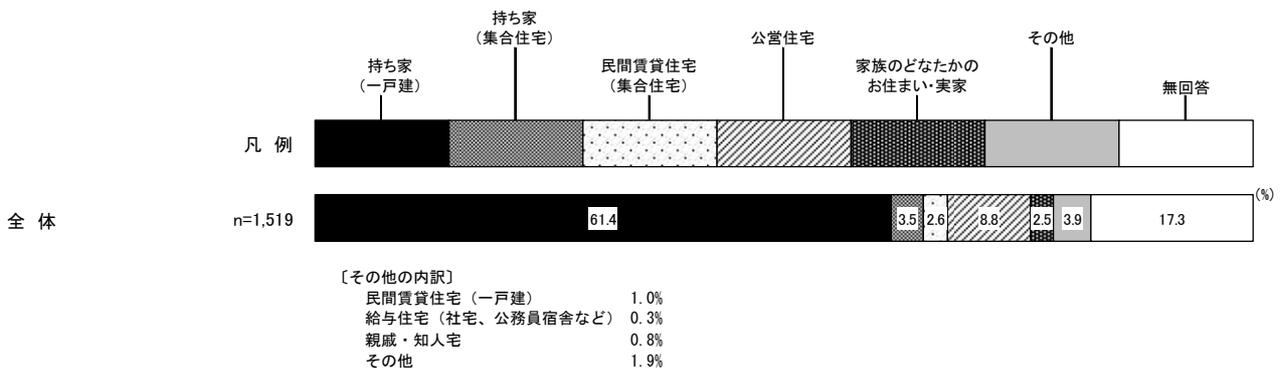


3-4-30 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にかがいます。】

問25 帰還しない場合、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（○は1つ）

＜図表3-4-30 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態＞



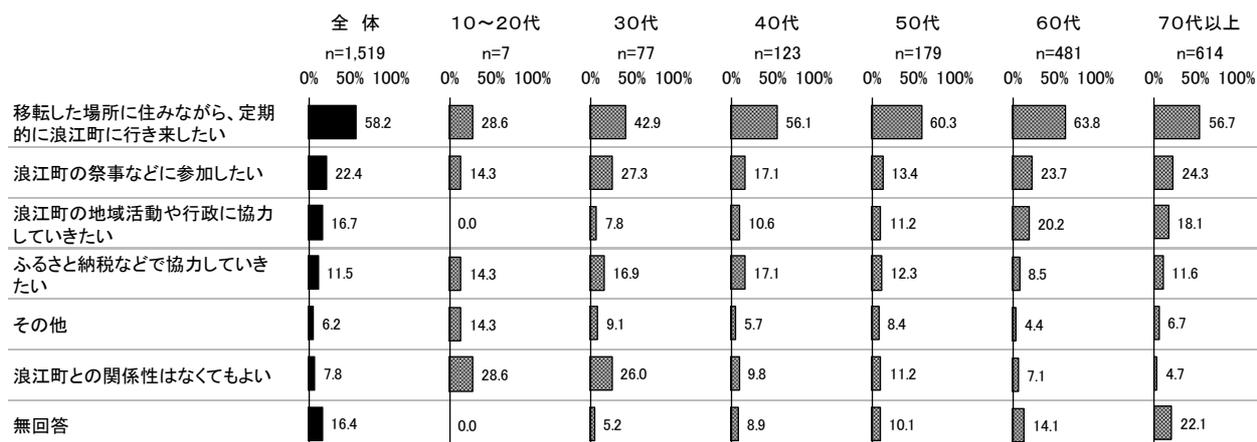
3-4-3-1 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にかがいます。】

問26 帰還しない場合、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

<図表3-4-3-1 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係(年齢別)>



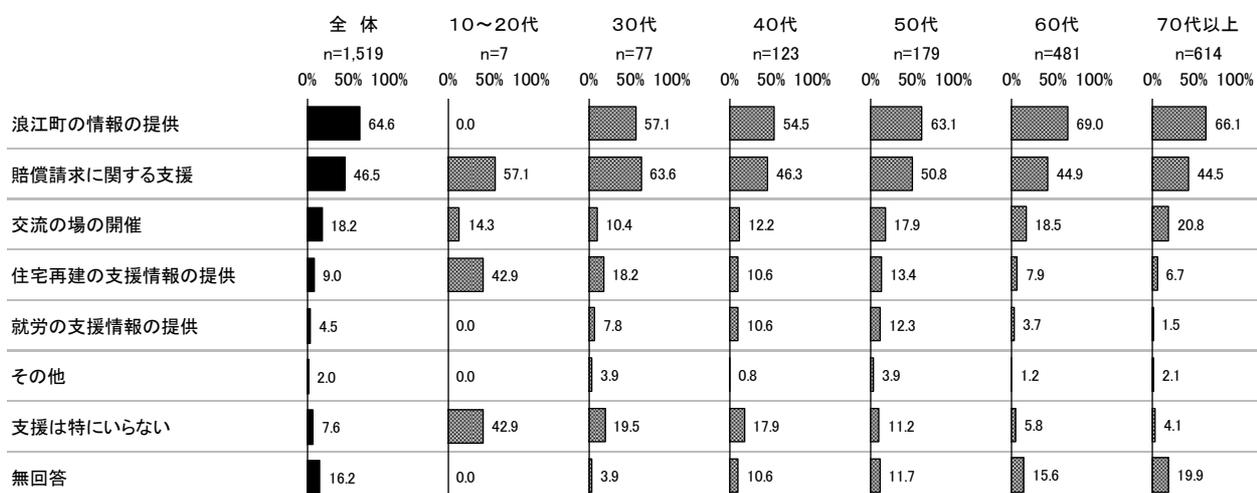
3-4-3-2 浪江町に帰還しない場合に必要な支援

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にかがいます。】

問26 帰還しない場合、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

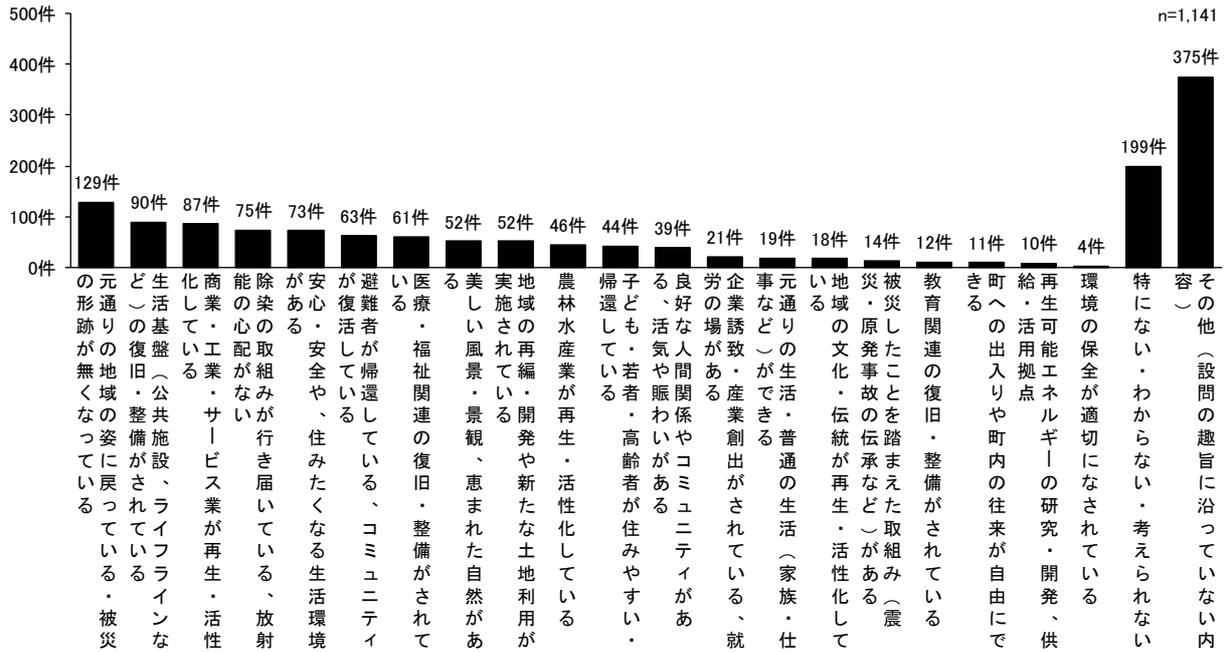
<図表3-4-3-2 浪江町に帰還しない場合に必要な支援(年齢別)>



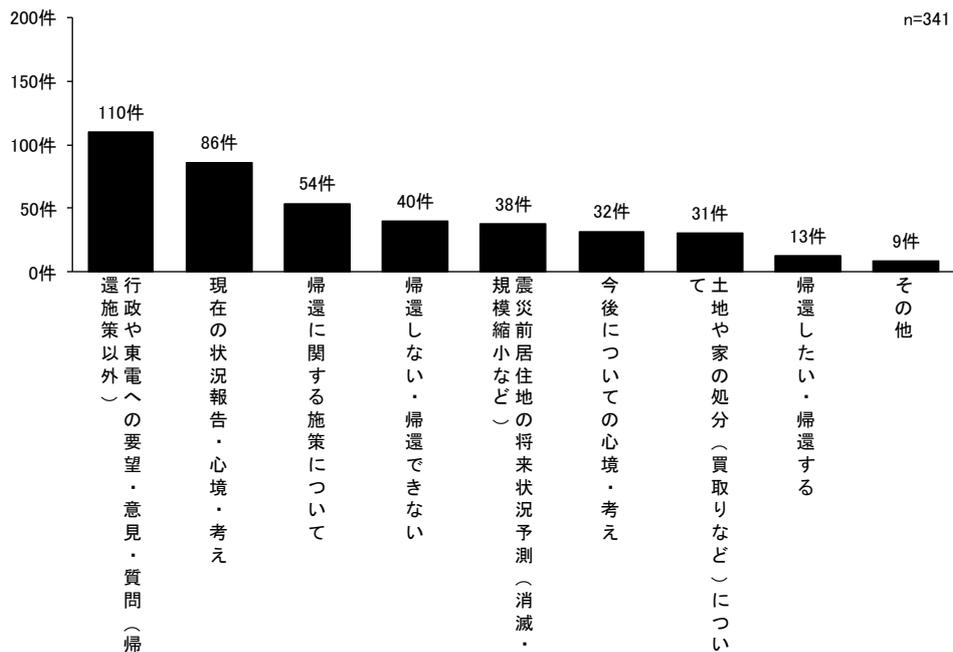
3-4-33 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿

問27 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿について教えてください。
ご自由にお書きください。

<図表3-4-33-1 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿（分類結果）>



<図表3-4-33-2 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿（その他の再分類）>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている】

- ・ 荒れはてた所は見たくないので、子ども達がもう少し大きくなったらここに住んでいたんだよと見せられるような姿であってほしい。(30代)
- ・ 特にこれといった望みはないが、朽ち果てた家が点在するような風景にならないようにしてほしい。(40代)
- ・ 安全で安心してのどかな生活をしていた頃の南上ノ原地区にもどればいいなと思います。(60代)

【生活基盤（公共施設、ライフラインなど）の復旧・整備がされている】

- ・ 多くの人が集まれる集合施設（モール等）や運動場、海水浴場等の設置や以前のような住みやすい住宅の整備がされた町。(30代)
- ・ 道の駅を中心に、スーパー、ホームセンター、医療機関の早い時期の再開、整備が絶対必要条件であるとする。(60代)
- ・ 交通の便が良くなれば浪江に帰り安くなると思う。(70代以上)

【商業・工業・サービス業が再生・活性化している】

- ・ 縮小されると思うが、子供の学校、スーパー、生活のための店など、無理せずつづけていてもらいたい。(40代)
- ・ もっと、近所の人々が帰って来てくれたり、他の人が、入って来て前のようににぎやかになって欲しい。会社や店が、側にあったら良い。(60代)
- ・ 元のサンブラザ（スーパー）があると良いと思います。早目に。毎日の買物が大変です。(70代以上)

【除染の取組みが行き届いている、放射能の心配がない】

- ・ 自宅の周辺環境整備をして欲しい。請戸川提防の除草、空地の除草などキレイにして欲しい。(50代)
- ・ 原子力施設がなく、海・山・川で放射能の心配のない自由な暮らし。(60代)
- ・ 現在困難区域だが、除染してほしい。畑、宅地等が森林化している。(60代)

【安心・安全や、住みたくなる生活環境がある】

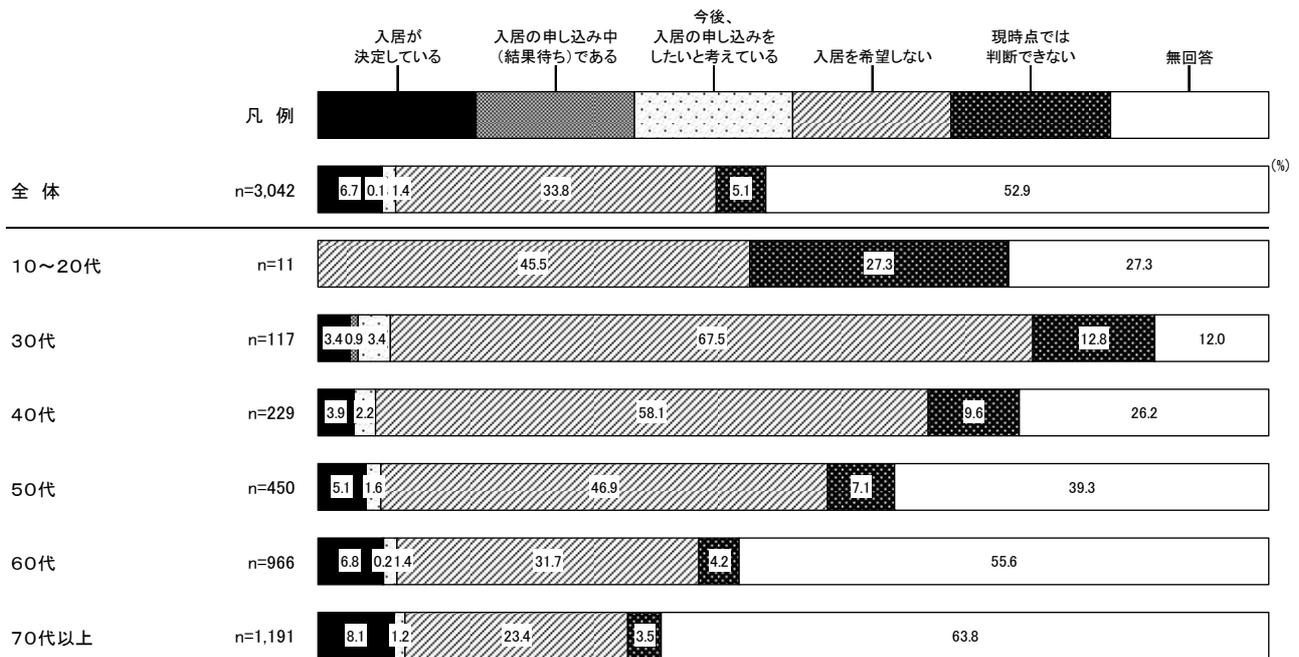
- ・ 屋間からイノシシが歩きまわっている。野生動物を駆除して安心して住めるようにしてほしい。(50代)
- ・ 区画整理事業で新たな街づくり（コンパクトシティ）を目指し、利便性、居住空間等の確保で住みやすい環境の整備。(人口増に結び付ける)(60代)
- ・ 地区の世帯の7～8割とまでは言いませんが、せめて半数（世帯）が戻って何一つ不自由無く暮らせる住、環境が整って居ればと…。(60代)

3-5 復興公営住宅

3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向

問28 福島県が整備した又は整備を予定している福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向について教えてください。（○は1つ）

<図表3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向（年齢別）>

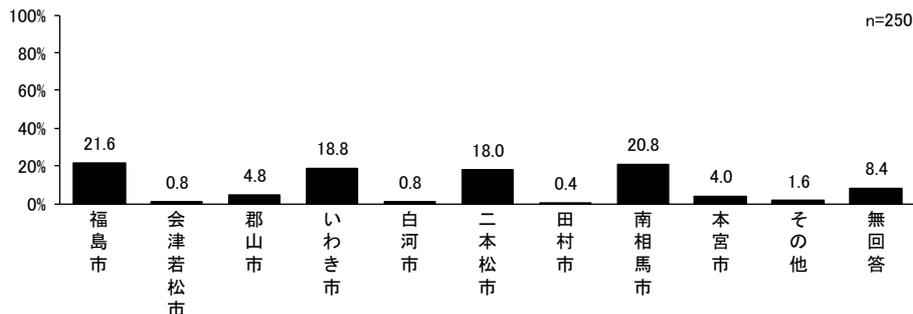


3-5-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村

【問28で「1」「2」「3」と回答した方にうかがいます。】

問28-1 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村について教えてください。（○は1つ）

<図表3-5-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村>

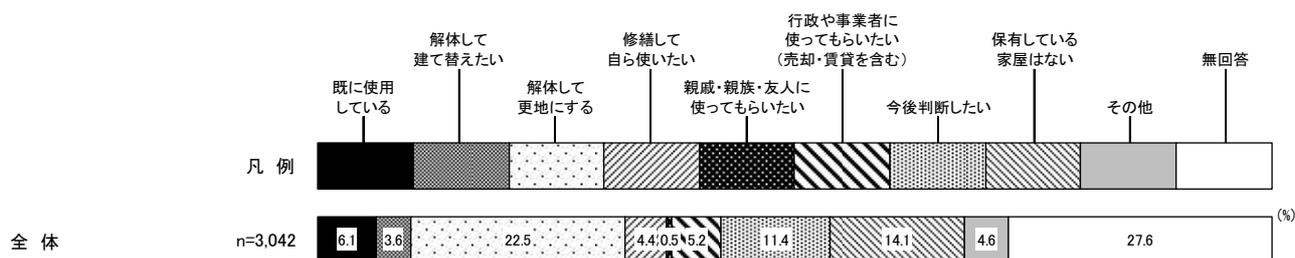


3-6 不動産の取り扱い意向

3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向

問29 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いのはどれですか。(〇は1つ)

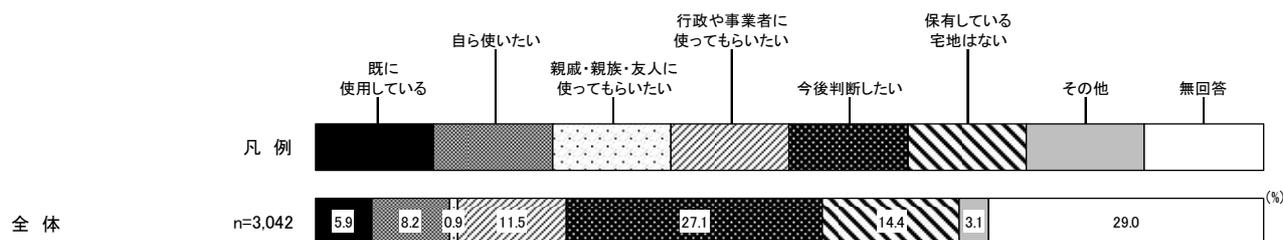
<図表3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向

問30 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

<図表3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>

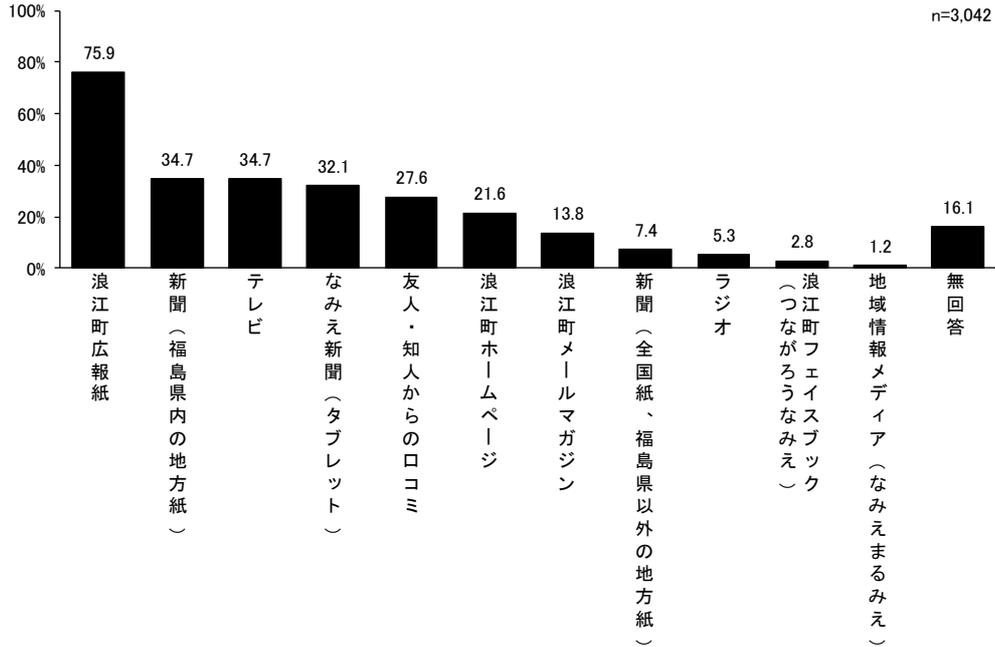


3-7 情報入手

3-7-1 浪江町からの情報の入手経路

問3-1 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(〇はいくつでも)

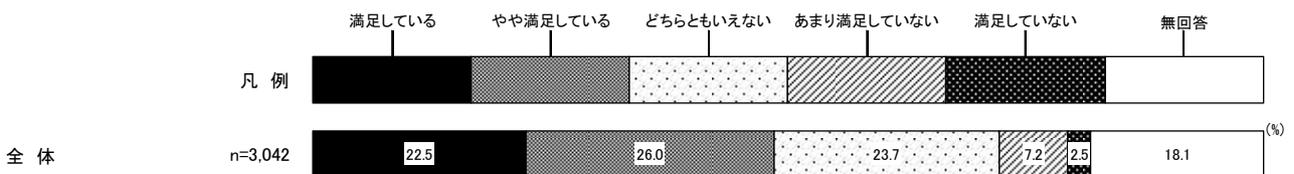
<図表3-7-1 浪江町からの情報の入手経路>



3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度

問3-2 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

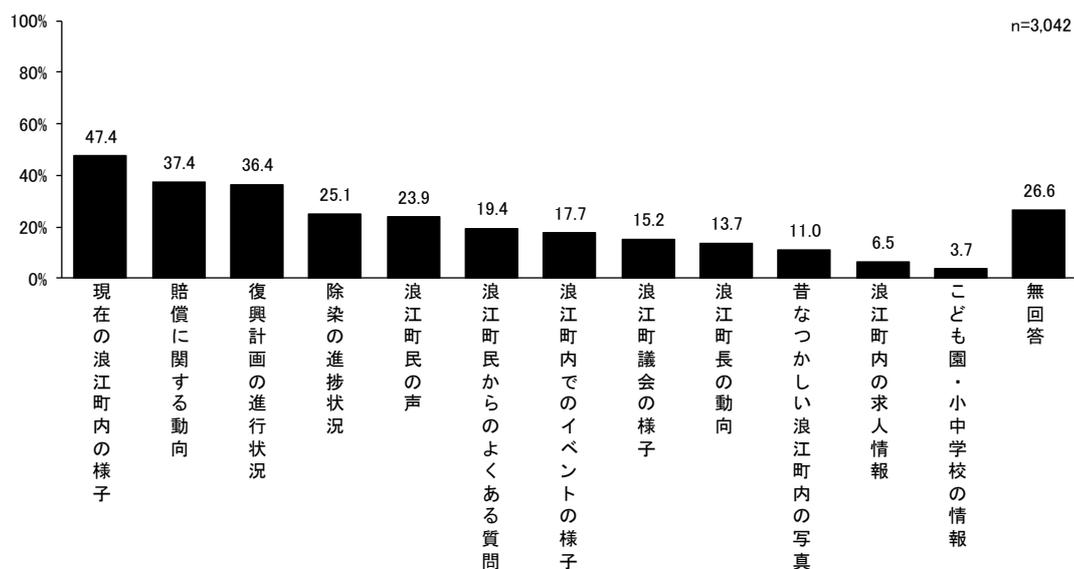
<図表3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度>



3-7-3 浪江町役場から欲しい情報

問33 ホームページ、広報誌、浪江新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。
 (〇はいくつでも)

<図表3-7-3 浪江町役場から欲しい情報>



3-8 意見・要望

問34 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、881世帯から回答があった。

ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

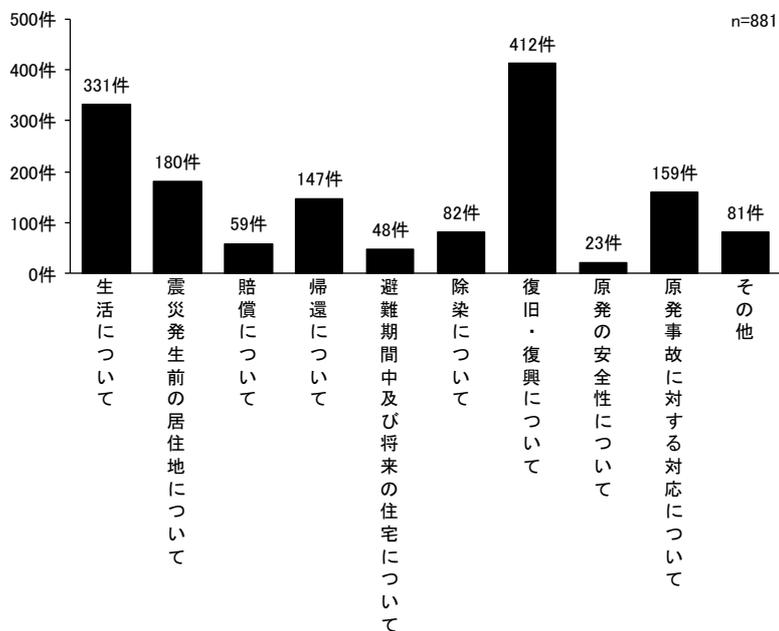
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果などについて ・除染作業の実施箇所などについて ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文書は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

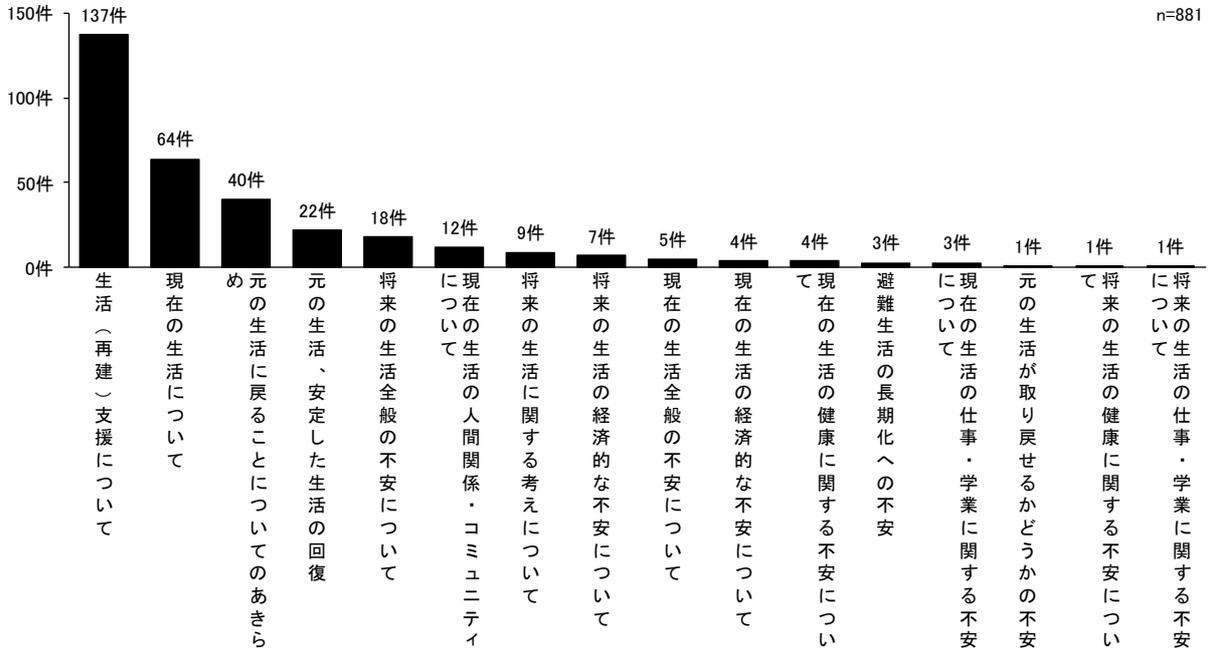
3-8-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表 3-8-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-8-2 生活について

<図表 3-8-2 生活についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【生活（再建）支援について】

- ・ 避難先での不自由な生活に大変ストレスを感じていますが相談する所が無く、一度頼った所にもひどい扱いを受けたので孤独や無力感が増すばかりです。親身になって聞いてくれる所が欲しいです。（40代）
- ・ 家の解体をすることになっている。（恐らく来年になっての解体）その間に納屋から草刈機を持っていけたりしている。そういうことをどこかに伝えたところでどうなのかと思い、家族だけで不満がつっている。解体後、宅地の草刈りは、その家の仕事となるのでしょうか？自治体等で草刈り等々してもらいたい。（いつも戻れるとは限らないため）（50代）
- ・ 早く除染して欲しい。家の中のゴミ問題（イノシシなどで家具等が破壊されている）物置や勝手口の扉がこわれているので修理してくれる業者の紹介。（50代）
- ・ 浪江町在住のときの住宅を取りこわし、現在更地になっている。この土地を利用する人を見つけて欲しい。将来、草木が茂るにまかせておけば、現在居住している近隣の人々に多大な迷惑がかかる。また、高齢のため草刈り作業も困難である。せめて、草刈り等を代行していただける業者等をあっせんして欲しい。（70代以上）

【現在の生活について】

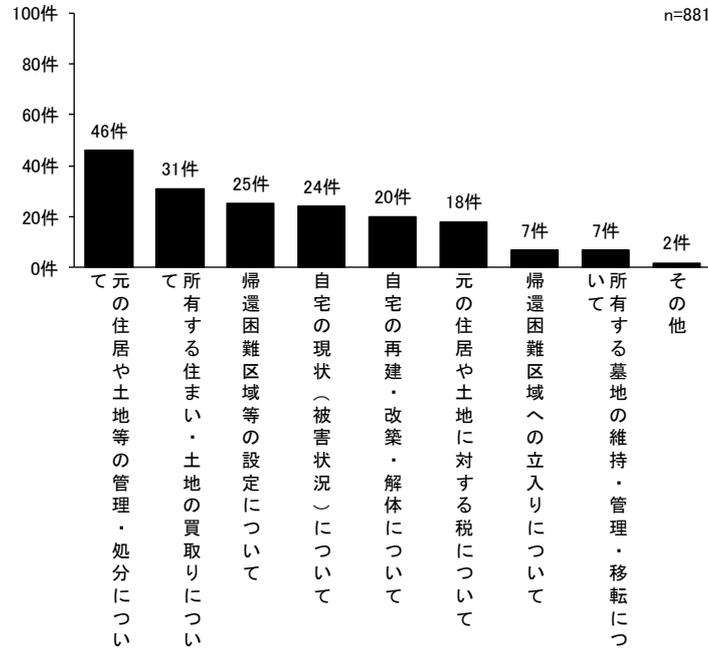
- ・ 私の住んでいた所は線量も高く除染もしない。下がる見込みも無い。国は戻れないならもう7～8年ものにはっきりさせるべきだ。拠点地に復興住宅など建てても無駄なこと。山から除染しないなら無理なこと。前の居住地に還えられるなら戻ることも考えるが畑も安心して作付けできない山菜きのこも食べれないそんな所に戻りたくても戻れない。行く度に荒れていく建物畑や田なんともくやしきむなしくなる、悶々とした日々を過ごしている（60代）
- ・ 避難している間に、後期高齢者になってしまいました。現在住んでいる所は、海もなく、川もなく、震災前とまったく違っています。生きる力は、小さな家庭菜園で野菜を作ることぐらいです。将来は、海の見える高台に老人ホームを造ってもらって知り合いとお話をしていきたいと考えています。（70代以上）
- ・ 8年に近い時がすぎ、年もとりました。移り住んだ土地で、死を迎える事を考え、身辺整理をして、残った者に迷惑をかけないようにしておきたいと考えたりしています。墓とか、土地、どうする事が良いのか、どのように整理できるのか悩んでいます。お世話になります。（70代以上）
- ・ 長年くらしした浪江町は本当になつかしいやら浪江町皆さんと、はなれて淋しい事です。どうにもならない事とは思いますが、やっぱり思いだして泣く事もあります。夢も見てます。私ばかりではありません皆おなじです。私は86才です。息子の仕事にあわせて行きます。新潟県柏崎市に住んで1年半に成りましたが浪江の皆様にも心より感謝しております。ありがとうございます。（70代以上）

【元の生活に戻ることにあきらめ】

- ・ 家の近くは困難区域です。子供を住ませる訳にはいきません。元通りになるのはむずかしいと思います。子供達も今の生活が楽しい様です。ニュースで見る適当な除染。私の知り合いの建設業の方も適当だと言っていました。だから戻れません。戻りません。（40代）
- ・ 原発事故によって一生の人生を変えられ何物にも変えられない思い出の詰まった物を廃棄しなくてはならなかった。気持ちの切り替えなんかでどうにもならない。元の生活にはどんな事したって戻らないのだから。せめて個人への形のある支援を継続していただきたい。健康保健税等。（50代）
- ・ 原発事故から7年が過ぎ、浪江町に帰るといつも悲しくなります。国の私達に対する賠償ってあったのでしょうか？なかったと想います。東電からの賠償はありました。あの事故で私達がうしなしたものの大きさ、喪失感、絶望感、そんな思いで過ごしました。浪江町にそんなに未来があるとはおもえません。原発事故に対して国の対応があまりにひどいです。（60代）
- ・ 希望が見えてから考えさせてください。今の浪江町に住んでいる住民の人口を考えたら、けして希望の持てる町とは言えないと思います。浪江町はもう90%は復興は無理だと思っております。（70代以上）

3-8-3 震災発生前の居住地について

＜図表 3-8-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・ こんな事になってしまい、岡山で生活している。私の代で土地など全て手離すことに抵抗がある。気持ちの整理が出来ないまま、家を壊す決断をし、亡くなった父に申し訳なく思っている。原子力には反対だ。原子力を推進したいのなら、東京でやってくれ。関東の電力は関東で作ればいい。安全にやっていたらコントロール出来るのなら東京でやってみせてくれ。（30代）
- ・ 資産、財産をすべてだめにした、国・東電はしっかりとなくのいく金額で賠償すべきである。しっかりと除染をして心配なくらせる状況になれば考えたい。農地、山林はどうしてくれるのかははっきりしてほしい。（50代）
- ・ 浪江町にある住宅はイノシシが入ってあらされています。また、ドロボーも入ってます。宅地は更地にして将来住宅を建てる計画です。家屋の解体、除染の申請していますが、宅地周辺が震災の後に、草・木が大きくなってきています。除去を希望しています。農地もいずれ除染すると思いますが、除染後の活用等議論されると思います。今後、農業従事者が少なくなり大変になると思います。農地管理等の復興組合等を作って、管理するにも費用が多くなると参加者が少なくなるので、予算等とって国、自治体で資金を面倒みてほしいです。（60代）
- ・ 農地復興組合の終了後の農地の手入れが心配です。1年毎に作業出来る状態でなくなり浪江の自宅も折角リフォームしたけど荒れていく事になる。若い人達は生活基盤が出来ていて又浪江での生活となるとむずかしいです。（70代以上）

【所有する住まい・土地の買取りについて】

- ・ 震災前の居住地は、住宅再建が出来ない区域となっている。周囲の田畑は、公園、防災林、復興事業等で、虫くいの的に売却させられており、残った田畑の管理は、現在の居住地からも遠く、管理は不可能である。一括の買取りをして欲しい。イベントではなく、人が常時いる町にして欲しい。まずは職場の誘地が大事かと思います。東電への賠償裁判は再度検討して欲しい。県の借上げ住宅の補助事業等、東電賠償が終わった今、急激な支援の打ち切りはせず、段階的に減らす方法で自立をうながして欲しい（４０代）
- ・ 国への要望。私は望んで、希望してここ仙台に来た訳ではないので、先祖が残してくれた土地は、買い取ってほしいです。私だけの希望ではないと思います。皆さんが要望していると思います。（６０代）
- ・ 避難生活が長く友達もできず、身体が悪くなって行きます。国や自治体では、どう見えていますか、教えてほしいです。帰りたいくても帰れない状況です。国に責任をとってもらいたい。そして、浪江町にある土地を国が買い取っていただきたい。（７０代以上）

【帰還困難区域等の設定について】

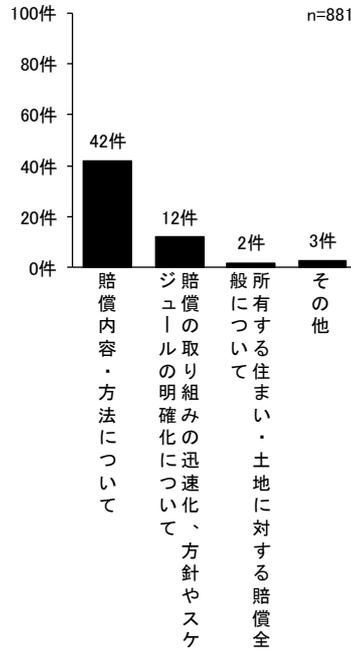
- ・ 今だに数値の高いエリアがあったり、二輪は通交不可な道路があるにもかかわらず、中途半端に帰還せよだの、言っても戻りたいと思うのは高齢者ばかりであろう。数十年、地域を封鎖し、完全に数値が下がるまでは、立ち入り禁止にすべき。７年も経過し、他の地域で生活をして来た者に今さら、戻れ、戻っていいよ、など無意味。よほど元住民から土地を買上げ、汚物処理場を作って利用すべき。お金の使い方がまちがっているのにまだ気がつかないんだな。（５０代）
- ・ 放射性物質による汚染状況から考えて、現在の避難指示解除は、あまりに時期早尚。町民の大多数が帰還しないのは、その不安が解消されていないから。解消されないなら、解消されるまで、別の“町のこし”を考えなければならない。例えば新町NPOの方々が提しようしていた、“リトルなみえ構想”を実現すべく力強く国と交渉すべき。それに力を貸すのにはないつもり。町民の大多数が、力を貸すと思う。町民全員で、国と闘う覚悟を、町主導で、町民に広めて欲しい。（６０代）
- ・ 帰還困難区域内なのにいつ帰れるかわからない。本当に農業が出来ますか？すぐには出来ないでしょう。意向調査なんかいしても、だめでしょう。（６０代）

【自宅の現状（被害状況）について】

- ・ 自宅庭、周辺は雑草、樹木が伸び放題になっている。除染は終了しているが帰還する、しないにかかわらず常に環境整備をしてほしい！自分でするのは大変だし、現在の自宅周囲の状況を見るにつれ帰還意欲が失なわれそうだ！（６０代）
- ・ 最近初めて天井の天漏りを発見し、すぐにでも修理したいと思いましたが、できないのが現実なのだなぁと思い、とても残念です。高速道路の無料継続してお願い致します。（６０代）
- ・ 田畑や家の周りがイノシシに荒らされ困っています。土手も無くなり、雨が降る度心配です。（７０代以上）

3-8-4 賠償について

<図表 3-8-4 賠償についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【賠償内容・方法について】

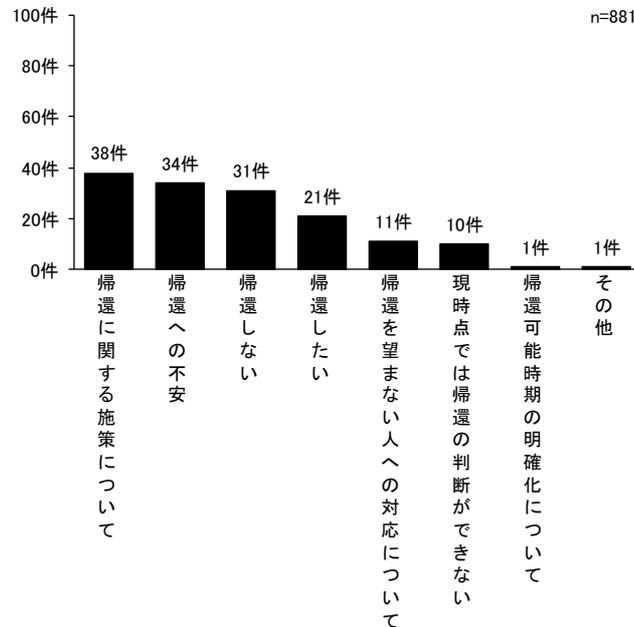
- ・ 未だ帰還できていないのに精神的苦痛に対する慰謝料やその他の保障もどんどん無くなっていくのはなぜですか？帰れた人なんてほんの一部なのに。不満。(30代)
- ・ 浪江町で仕事をしていた方々には、支援があったようですが、私のように、新規で、仕事を始めた人もいる事が、全く支援の対照でなかった事が、残念です。仕事をしていた方は、支援のお金で仕事をしていない人もいますし、がんばってやって不公平な感じがいつもしていました。しかたないんでしょうね。(50代)
- ・ 同じ町民として、解除区域と避難区域とがありますが、区域により補償問題や、医療、高速道路等の無料化等で差別を絶対に計るべきではないと考え要望します。町、県、国、東電は、避難町民の早目の生活の安定化を計る為、資産に応じて「住宅確保にかかる費用」を補償にて家を建ててしまった人が多数(私しも)おりますが、この件が町へ帰還を遅らせている一つの原因とも感じられます。(70代以上)
- ・ 自営業者賠償事故前の状態又はそれに近い状態になる迄賠償するのが本当の賠償であると思う。今の仕事も出来ず、いつれ納税の時期が来た時無収入のままでは、国保、町県民、介護等の税が納めるのが大変な事になるのではと思心配です。(70代以上)

【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】

- ・ 賠償の打ち切りが早い。各地へ避難している人が、仕事ができる環境作りをして欲しい。避難地域で避難している人々を集め、福祉・医療の仕事ができる様に、各地区に施設を造り、避難者の入所や仕事の提供をし、情報の共有と生活の保障をして欲しい。全体的に賠償や、生活の保障が曖昧だと感じる。
(40代)
- ・ 農業ができない。用水路整備が遅れている中で解除生活できない現状の中帰還。収入補償、賠償打ち切り。現在、工事関係者か商売人、行政の人しか安心した生活が送れない。(50代)
- ・ 避難解除イコール東京電力の損害賠償の打ち切りは、止めて頂きたい。住民説明会でもそのようなことは説明がなかった。後出しジャンケンのようなやり方でずるいやり方としか言えない。だから、東京電力と国はますます信頼できない。(50代)
- ・ 原発は国サクなのに福島から放射能がなくなるまでまだ原発の解体があと40～50年もかかるというのに。最低、ハイロになるまで保障すべきである。浪江町は、国や東電のいいなりである。(60代)

3-8-5 帰還について

<図表 3-8-5 帰還についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- ・ 震災前の状態には戻ることは不可能なため、新規転入者、戻る意思のある町民に目を向けて、他市町村にない事業等を展開出来るようだとよい。震災前と同じではダメ。高齢者の方が若干多く帰町していることから、高齢者が住みよい町づくりを検討してみてもは。(40代)
- ・ 家の裏に山があるので、そこを除染しないと雨がふると流れて来てホットスポットが出来ているので除染をしてほしい(現実に高い所がある)。水田の畦畔がいのししにより壊されているので、何とかしてほしい。除染した所にひいた土が、雨により流されて、一ヶ所にたまってしまうので、もとに戻すのも大変なので何とかしてほしい。町に戻るにもそれなりの支援が必要だと思う。(住宅を建てる為の費用) 食料品を買う事が出来るスーパーなど。(50代)
- ・ 浪江町に既に帰町しておりますが住んでいると、とても不便で買物(食料・農業資材)をするのに、無駄な時間がかかりすぎて。〈ガソリン代も同様〉〈買物は原町に行くことが多い〉不便です。スーパーとホームセンターが出来るといいですね。(60代)
- ・ 町に戻らない方々が多く出ることが多くなる様であり、この人々の農地宅地の管理が出来づ荒地となりここで生活する人々は野生動物などの有害動物又雑草雑木の近くで生活する様になるのではないかとこの対策は必要。鉄道は復旧すると思うが急行列車の運行は必要である。特に高令者は車の運転に不安であり高速道は利用出来ない。(70代以上)

【帰還への不安】

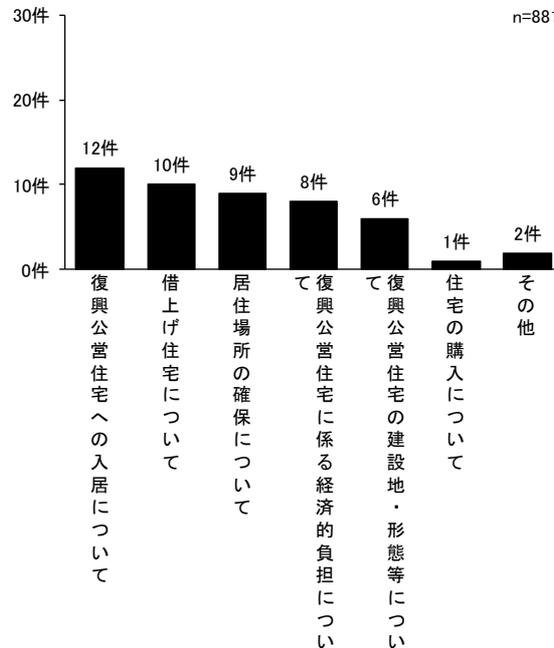
- ・ 将来、浪江に帰りたいという気持ちはあるが、住んでいた持ち家は壊れが酷く解体予定。たて替えるにも、お金がないので住居の見通しが見つからない。現在、郡山で飲食店を経営していて、浪江に移そうかと考えるが、人が少ないため、売上見込みが低いと予想するので移動もできない。現在、そんな感じだ。(40代)
- ・ 浪江町の自宅にもどったとしてもとなりや周囲の土地等が荒れはてているため、安心して自宅に泊れない。(植木等がのび方だいで、雑草も手におえない。道路にも大きくはみ出して危ない。自治体が確認して、持主に対処させてほしい。(60代)
- ・ 浪江町に帰還しても生活するには医療関連施設、商店等が無く、他市町に出向かなければ用が足されません。非常に不便で生活が困難でなりません。早急に対策を困じて欲しい。作業車輛が頻繁に往来して、道路がこわれ、又自宅から道路に出るさえ、事故の危険が発生するおそれがあるので住宅街をさけるルートを選んで欲しい。(70代以上)
- ・ 先日浪江に帰ったところ、囲いが田んぼだった所の草むらの中から急にイノシシの子供が4頭飛びだし急ブレーキかけた。まずその事が心配！何回も帰りたい所だがまず遠い。途中が心配。無事で帰れるか？50kmも往復する。高令なので大変。何かいつまでたっても落ちつかない。二重生活が重い。時間たつの早い気がする。だんだん病気が増えて、気が重い(70代以上)

【帰還しない】

- ・ 浪江に対するなつかしさなどの思いはありますが、現在の生活で継続していこうと決めている。今後、浪江の住宅についての対応について考えていかなければならないが、国や県、町などでその方法についてのアドバイスがいただけたらありがたい。(40代)
- ・ 避難先での生活が、安定している為、今現在、浪江に戻るつもりはありません。浪江町の復興ばかりの話で、県外へ避難している人達への支援や、考えは、何もないのですか？戻りたい気持ちは、みなさんあると思いますが、浪江に帰る人達ばかりに支援しているような気がします。戻らなく、県外へ避難している人達の事も考えて下さい。(40代)
- ・ 北幾世橋にパソコン教室や多目的ホールを建築予定ですが夜防犯が心配ですので防犯体制を支援してほしい。今となっては、意見を聞かれて、新築してからは帰りたくても帰らないのです。もっと早く、アンケートを取ってほしかった。(50代)
- ・ 浪江町に帰還いたしません、現在の居住地で今後の生活が良い方向へとなるよう努力しておりますので、ここでこれからの生活をしていきたいと思っております。(60代)

3-8-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表 3-8-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅への入居について】

- 浪江町へ帰れない方への配慮などがたりない。帰りたくても帰れなくなった方の気持ちを考えるべき。復興住宅など作るだけ作って住む人がいないなど。ではなぜわざわざ、抽選などをするかわからない。困っている人を、なぜ入れて（住まわせて）くれないのか。住宅の落選理由がわからない。（40代）
- 津波の被害で家も失い、東京電力からの賠償金も少ない私達が新しい住居を確保するのは金銭的に大変です。災害公営住宅に入居したくても、今は頑張って仕事があって収入も少しある私ですが家賃を考えるとどうしても入居する気持ちが薄れてしまいます。あと数年で仕事が出来なくなって収入がなくなった時に入居するしかないのですか？子供の事を考えると、今私達が住んでいる家に住んでもらいたいと思っています。何かいい方法はないのですか？あったら教えてください。（50代）
- 復興住宅に入居したいと思っていますが家電製品、引越し費用など、その他の自己負担が多すぎる事、一般家庭で使用していた物が使えないことなど色々と負担が多いため、被災者の事を考えた復興住宅とは思えません！※1人暮らしの人達などとなり同士のつき合いもない人達もいます。車もない高齢者の人達本当に心から話を聞いて下さる人は数人の人だけです。泣いて苦しんでいる人が居ること、精神的にダメージを受けて居る人、仕事をしたくても出来ない人、復興住宅に入居しても、音がうるさくて眠れない我慢するしかないのか、など色々な話を聞いています。やっぱり自宅がいいと言って泣いていたお年寄りの姿が私は、とても辛く感じました。もう少し住民1人1人に寄りそって皆が安心して暮せる環境をととのえてほしいと思います！（60代）

【借上げ住宅について】

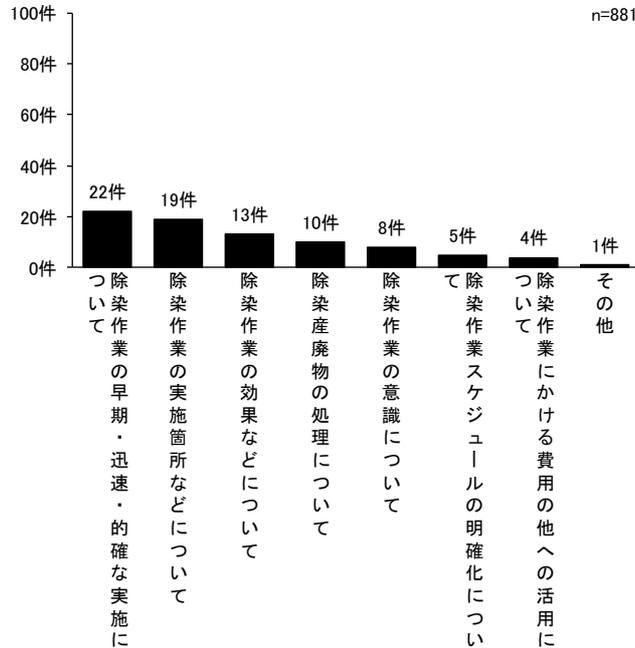
- ・ 帰れないのだから借り上げ住宅を打ち切るのは、やめてほしい。(30代)
- ・ 国や自治体の対応について、住民の声が、国や県に届いているのか。復興計画の中に、借上住宅に関することも要望する(無償)1人ぐらしの高齢者のことも考えてほしい。(60代)
- ・ 富岡町ばかりでなく浪江にも医療きかん(人口透析)が出来れば幸いです。透析は福島市で行っていますが、まっている間のやすむ場所必要となるので借上住宅の延長を望みます。(70代以上)
- ・ 現在、貸り上げ住宅に住んでいる。2年後は補助もなく、今さらローンを組む年令でもない為これからの住居に不安がある。横浜市では指定の市営住宅も数戸あるようですが、娘家族とは遠い所にある為、指定の市営住宅も入居できず、2年後の住まいに対しても不安である。(70代以上)

【居住場所の確保について】

- ・ 新しくできた子供たちのコミュニティーを再びこわしたくないので希望する期間は有償となってもかまわないので今の住宅に住み続けたい。(40代)
- ・ 生活再建の為に住宅確保について。現在、借上住宅入居中で、数年前より避難先で住宅を探していますが、震災前の浪江町内での賃貸家賃と比較して、避難先では倍額も差があり、厳しい状況にあります。現況では、再来年の借上終了まで借上住宅入居生活を継続せざるを得ない状況です。避難先のいわきは、震災以降厳しい住宅事情もあって、震災前賃貸生活のため、住宅探しに関する支援等もなく、難しい状況が続いています。仮に再来年春の借上終了の時点までに住宅確保できなかった場合、一体どうなってしまうのでしょうか。非常に心配な毎日です。(50代)
- ・ 私達家族は7人です。息子家族とはこの先はバラバラになると思います。住民意向調査は息子家族の意見は入っておりません。老夫婦の意見です。復興住宅には入居決まっておりますが家族の事情、夫婦での病院通い、息子家族の移転先も決定しておりません。その為まだ引越もしておりません。もう少し今の居住先にいたいと思います。浪江に帰って思うことは廻りの家が全部、とりこわしていますが空地が草がボウボウで本当にそんな所に住めるかどうか心配です。(70代以上)

3-8-7 除染について

<図表 3-8-7 除染についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・ 除染作業を優先して、安全確保も出来ない場所に住民を帰還させないで欲しい。本当に住民を帰還させたいなら、個々の現状をしっかりと把握して、しっかりとしたビジョンを示して欲しい。帰還困難区域は、今でも震災後と何も変わらず廃墟になって行くだけです。(50代)
- ・ より早い除染、そして原発の廃炉、この2点が一番大切な事だと思います。害が有る所に人を住まわせるな！！風評被害、人が造ったものでとり返しの出来ないもの。害が無くなれば、何とかなるさ！！仕事は、みんな大変。方向が同じあればみんな仲間。何とかしようぜ！！(60代)
- ・ 県道、田道の整備。一日も早く除染をしていただき農産物が作れるようにしてほしい。元に戻してほしいです。(60代)
- ・ 浪江町立野地区でも一部の方は戻って生活しておりますが、若い方は一人もおりません。若い方はいつまでも無職ではられないので、避難先で再就職している方が多いと思いますが、本格除染を実施したと言っても、まだまだ線量の高い所が有ります。立野地区も西側(沢山)に行くに従って、高くなっています。是非、若い方も安心して戻れる様に、高い所の再除染をお願いします。(70代以上)

【除染作業の実施箇所などについて】

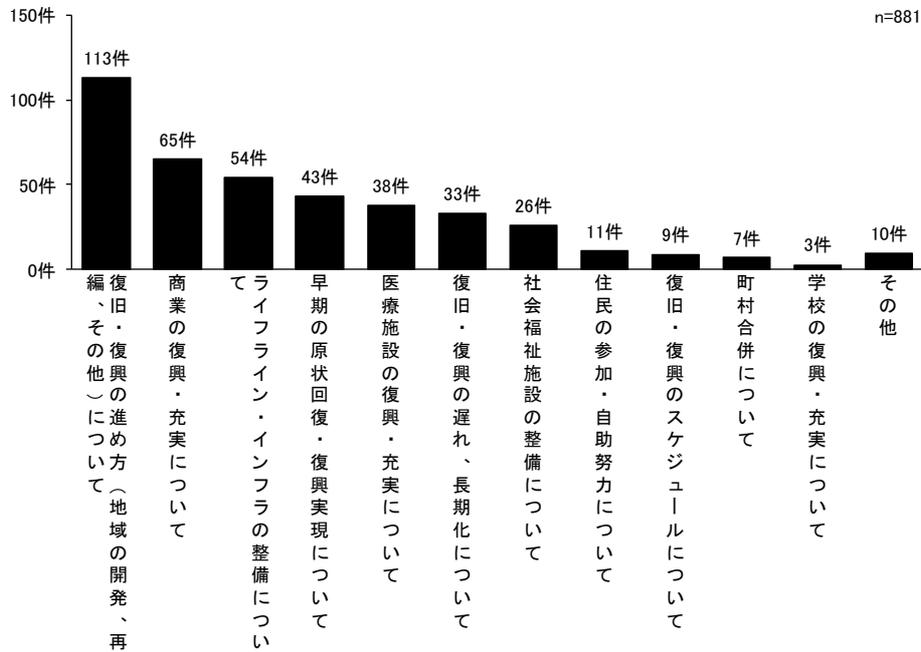
- ・ 準備区域、居住制限区域を優先に除染するのはわかるが、帰宅困難区域の除染が遅すぎる。そのため、帰還する町民がいなくなってしまったと思う。賠償も居住と帰宅困難とではあまりかわらない。尚かつ、帰宅困難区域の町民は、中々、自分の自宅へ帰ることができない。あまりにも差がありすぎる。最初は、帰還することもかんがえたが、余りにも遅すぎる対応であるため、現在の所に住宅をかまえた。今後は、自宅、お墓の管理で定期的に帰るつもりである。(50代)
- ・ 津島には復興住宅はいらない。私達の所も除染してほしい。114号線をもっと放射線量を下げて欲しい。私の地元住んでいた南津島大宮95へいくには途中ガケが崩れて家に車でいけなく歩いて行っています。自分の家にさえいけないのにどうして帰れましょうか。自分達は悪くないのに汚したらきれいにするのはあたりまえであると思っています。道がくずれて車で通れないのも水の流れを手入れできなかったため崩れかいです。なんとかして欲しい。(50代)
- ・ 問27でも書いたが、避難解除地域に、広く放射能度の高い場所があることがおかしい。解除地域にも生活に密着した山林等が存在するが、その除染を行わないなら、全く復興にならない。帰還が進まないのも当然である。(60代)
- ・ 帰還困難区域の復興ビジョンがまったく見えてこない。特に田畑の除染、これで5年後、避難解除に本当になるのでしょうか？室原のふるさとに帰りたいよ。(70代以上)

【除染作業の効果などについて】

- ・ 除染は終わったみたいだが屋根や、土の汚染はまだ有る!!! 貸家再建しようとしたが、不動産の補助金が無い!? (商業用補助は有る!) リフォームした屋根材や建材が汚染していて、処分できず家の敷地にフレコンパックが置いて有り困っている!(50代)
- ・ 線量汚染があるのに帰っても心配で生活出来ません。子供達を守る事が出来ません。山、谷、除染されずに戻る事は出来ず、生活スペースだけの除染だけでは安心して住めません。(60代)
- ・ いずれは帰りたいが1度除染してはいるが、まだ高く1Mの高さで0.5~0.9 $\mu\text{Sv/h}$ と高く再度除染して貰いたいのですが。(70代以上)
- ・ 浪江町の除染がてきとうで浪江に帰る気がしない。まだ1/10だと思う? 90%復興が先だと思う。浪江に帰るのにその時。今帰るのがまちがってると思う。(70代以上)

3-8-8 復旧・復興について

＜図表 3-8-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・ 無理に元にもどすのはやめませんか？子供が安心して住める場所ではありません。生活するのも大変だと思います。ムダな税金は使わず、自然に返しましょう（町を）。（20代）
- ・ 今後、地方交付税等で町を維持していくのは難しいと考えている。帰町を期待するより、人が移り住む町にしていくべき。そこには、国や県の協力を得、例えば大学キャンパス、刑務所、自衛隊基地などを作り、その関係者などが自然に浪江町に住み、新しい町を作り発展していくことがいいのではと個人的に思っている。（40代）
- ・ 人が集まらなければ、商店、医療も充実しないと思う。人が集まる様な政策を打ち出してほしい。例えば、浪江に住めば、いろいろな税金がかからないとか、大型のアミューズメント施設を誘地するとか、浪江に住むことのメリットをデメリットも含めて外へ発信すべきと思う。（40代）
- ・ 事故後8年がたとうとしています。ほとんどの人（特に若い人達）は避難先で生活ができてると思いますが、この先何年がたとうがこの状況のままだと思います。（広野町でさえ帰還する人は少ない）こんな事は先進国では考えられない事です。という事で、浪江に帰還をする事を考えず、逆の発想で、ほとんどの人が帰還しなくても、生活ができていく方法を考えて下さい。（50代）

【商業の復興・充実について】

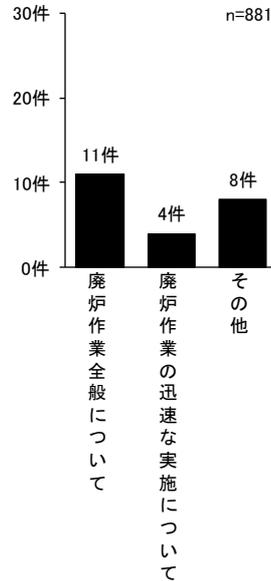
- ・ 親戚が浪江に戻ったので、泊まりに行く機会が何度かあったが、買い物するのにコンビニしかなくて困った。食事をしに店に行くも14時頃には終わっていて…。住民が帰るには、不便すぎて車の運転ができない人は帰れないのでは？今の状況では帰ってもストレスがたまりそうです。(50代)
- ・ 医療施設、スーパーなど生活する上で、最っとも必要不可欠な設備が充実しない町への帰還を促進する国の対応は如何なものか？実際町に住み、生活する事で、今のままで、これから先帰還する人が増えるとは思えず、まったくもって、前へ進む気持ちになれず不安が募ります。(50代)
- ・ 帰還率が低いために、商業施設ができない。商業施設ができないために、帰還率を上げることができないという悪循環があるように思います。衣食住は、生活する上での基礎です。ある程度のものは、浪江町でも買うことができる商業施設(魚、肉、野菜等)の一日も早い誘致をこれまでも、そしてこれからも切に希望しています。(60代)
- ・ 町内にスーパーがないと不便です。今は車の運転はできるが将来どうするか、他の町は補助金を使っているが浪江町はできないのか。戻っているのは高齢者ばかりで、自分で動けなくなった場合デイサービスや入浴サービスをお願いしたいが人員の確保がむづかしいのでは…。介護施設の要望。町議員、役場職員が町に戻っていないと戻っている人の声がきけない。(60代)

【ライフライン・インフラの整備について】

- ・ 浪江の自宅は今年の9月・10月に解体しました。戻る気持ちはあるのですが買物する所もなく、医療施設も少なく、猪がはいかいする等、今の状況ではとても浪江町に戻る気持ちになれません。まずはインフラ整備を進めてもらいたい。又、浪江町に戻ろうとしている人には補助等手助けをしてもらいたい。(戻る時、その後もある程度お願いしたい)(60代)
- ・ 除染による農地の被へいと雑な除染作業による石や岩の混入による農作業(耕耘)に農機具の破損。室原川流域の提防管理の充実(有害獣の駆除)。小学校、分館などの管理不全(防犯、防火)不安。山林近隣の住宅の放射能値の低減。(60代)
- ・ 道路が陥没している所が多く危検。雨のあと陥没して所がわからないので乗用車などが、40kで走行したら、タイヤかホイールが駄目になると思います。6号線から海岸線に行ダンプの数がすごいです。海に向う左側ばかりが陥没して、3ヶ月位前に補修したばかりです。区長の話によると、環境省に話したら、町道だからといわれたそうです。6号国道も4車線化してもらいたいです。6号国道脇の除草・木の伐採。車で6号国道に出る時見へにくい。(70代以上)
- ・ 鉄道特急の復活を切に希望しています。浪江の家を早く修理して確実に住めるようにすることが先決です。諸中車(レンタル)で帰るわけにはいかないなので、修理、水回りや電気関係ガス関係を確認するのが先決ですので、当分は別荘のように使って模様を見たいとも思っている。(70代以上)

3-8-9 原発の安全性について

＜図表 3-8-9 原発の安全性についての意見＞



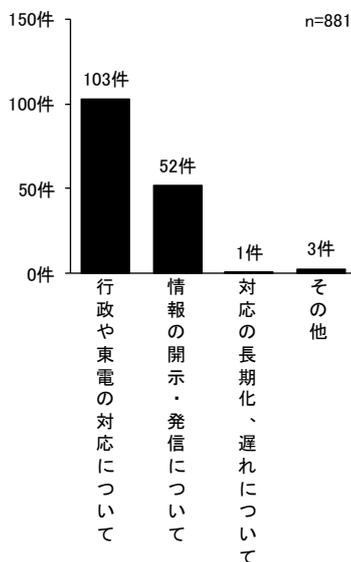
上位項目について主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

- ・ まだ炉内の状況もわからず、近づく事も出来ない状況で、デブリが再臨界でもおこしたら、また避難するのですか？こんどはカベも天井もないので全部外に出て来ます。せめてデブリの取出しが少しでも開始されて安全が確認されてから解除されてもよかったのではないかと。阪神の地震でも10年かかって復旧されたのに、早すぎると感じる。あと10～20年後の地下水がどうなるか心配。(50代)
- ・ 廃炉作業は安全に進捗するのか、心配しております。情報は速やかに、伝達してほしい。双葉郡の今後、浪江町の今後について、明確な方向性がない気がしています。若者が帰還する方針を示すべきではないかと思っております。(60代)
- ・ トリチウム、セシウム134、セシウム137汚染水をろ過してうすめて1Fの海に流すとの事。またふうしょうが広まるでしょうね。東京電力も国も害はないと言きっているので東京湾等に少しでも放水して見て東京都民に福島の水は大丈夫といってもらえれば福島県民も安心するのではないのでしょうか。1F-2Fの電力は関東で仕様していた事は都民も知っていると思います。協力してほしいですね。(70代以上)

3-8-10 原発事故に対する対応について

<図表 3-8-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- ・ まだまだ復興は時間と人手が必要です。ハードを整備したら国の役割が終わりではありません。浪江町が自立できるまで、国の責任はあります。(30代)
- ・ 国は早急な復興支援終了をすべきではない。双葉・大熊で分断される鉄道を、早く富岡までつなげるべき。双葉郡 or 他町村との合併の議論が上がらないのが、少々不思議である。(50代)
- ・ 国は原発事故というものについて特別な対応長期的(30年)に行うべき。もどった住民がなにもない不自由な生活なのに重い負担をしいられるのはおかしい。国はもっと考えるべき。(60代)
- ・ 復興支援として国から補助金が出ているが、10年間と言われていると思いますが、その後、継続されるかが不安です。また、情報によると町の商業施設を維持するために4500万の補助が必要であると放映されていた。今後、多くの町民の帰還をまた帰還の声でもスーパー(従来の)設置を早急に望む声がまたれる。町では、何が帰還者に一番必要なもの、望むものなのか。順位をしっかりと見極めて下さい。(60代)

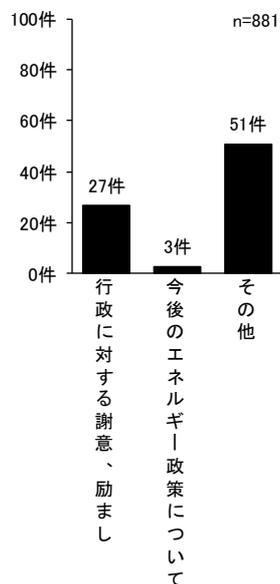
Ⅲ 調査結果

【情報の開示・発信について】

- ・ 県外にいるため賠償に関する情報がきちんと入ってこない。今だに子供達は福島出身とは言えない。大人の私も職場では、福島出身とは言えてないのが現状です。福島浪江町って言うと、変な目で見られます。双葉町と違い浪江は賠償は少ないのに、色々といわれているのは、ツライです。こういうのが早くなくなればいいと思います。(40代)
- ・ 帰宅困難地域の片付けが全く出来ていない状況です。ゴミも出せず、水もでない状態では、何も手付かずで、私達だけ、置きざり感を覚えます。家族間の意見も、だんだんすれ違ってきています。帰宅困難地域への情報発信は、無いに等しいと思っています。(50代)
- ・ 第一原発の様す、現実を情報として提供して下さい。廃炉までは何があるかわかりません。又、それまでは私は生きていません。が…。住民が不安になろうが大事故をおこした責任はとって欲しいと思います。本当の現実を素人にも理解できるように情報を提供して下さい。(70代以上)
- ・ 町民が元に居住する人が少なくなり、双葉郡の人口を全部入れても将来的に見れば2万5千人前後と思う。これを、各道長達がどの様な考えを持って居るか知りたいです。(70代以上)
- ・ 高齢で一人暮らしをしている方の対応はどのようにしているのですか。私の母も91歳なので広報紙とか見っていますが、書類面に関しては、何もわからない状態です。(70代以上)

3-8-11 その他

<図表 3-8-11 その他についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- ・ 十分に頑張ったと思います。つらかった時の記おくがだんだんうすれていっている。除せんで大へんな思いをされている方に感謝します。予定なお金は使わず、帰れない所はそっとしておいてほしい。町の職員の方も疲れがでてきていて、それでもがんばって働いているのにも感謝します。(40代)
- ・ いつも重ね重ね、気にかけて頂き(アンケート等)ありがとうございます。心配、不安も除々に薄らいだ生活になりつつありますが、どうぞまた浪江町、南相馬はじめ相双地区等、見放さないで下さいませ。孫たちが南相馬にも居ります。そちらの町、地域の方も気掛りです。どうぞヨロシクお願い致します。(ありがとうございます。お陰さまです)(深夜に付、眠いので失礼します…)(50代)
- ・ 問27で記入しましたが、この様に状況になった原発を廃止する方向から再稼動に転じています。またこの様な事態が起こらないとは限らないので住民の事を最優先に考えてほしい。浪江町は生まれ育った「ふるさと」なので一生住み続けたかったが残念です。帰還した住民のために頑張ってください。応援します。(東京電力に対しては許されない気持ち憤りで一杯)(60代)
- ・ 復興庁へ、いつも浪江町の復興に御苦勞様です。お願いがあります。大臣には自から先頭に立って気合を入れて月命日(11日)とは言わず毎日朝から晩まで頑張ってください。まだ見付からないので非しい家庭の事を考えると胸が熱くなります。[カッコ] つけなくて泥まみれでファイト!!(60代)

Ⅲ 調査結果

【その他】

- ・ 原発の解体等が進めばまた線量があがるし、先がないと思う。いくらやってもだめだと思う。あとお願いですが住民意向調査はおくらないでください。もう浪江町にかえられないし生活ができあがっているの
でさいごにしてください。(50代)
- ・ 今回同封されていた住民意向調査参考資料はお金の無駄です。カラーで印刷する意味がわかりません。
具体的な情報は広報ですることができますので。(50代)
- ・ 国へ県へいくら施策を立てても、ADRの状況、特定復興再生拠点区域の再生着手状況などをふまえて、あまりにもなまぬるく、残りの人生を考えると何も期待できない。帰還困難地域においては、アンケートに答えるだけでとても不愉快である。(60代)
- ・ 目の前の事を1つ1つ解決する事で精一杯でいるのに今後の事など考えられません。そんな余裕などありません。意向調査などがくるとそれがストレスになります。先の事は、まだ、まだ考えられません。これから先の事を考えると夜も寝られないので、あまり考えないようにしています。年月もたてば、気持ちも変わるので、町に帰還して、自分にとってこれからは、復興です。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

浪江町 住民意向調査

～「町内のまちづくり」「町外の支援の方向性」へのご意向をお聞かせください～

この調査について

●調査対象者：各世帯の代表者

※現在の世帯が何か所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

●提出期限：10月22日(月)まで

※記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です。)

●ご回答にあたっての注意事項

- ・ご氏名などを記入していただく「記名式」の手法でお願いしています。
- ・次のページに「氏名」、「住所」、「連絡先(電話番号)」の記入をお願いします。

以下の方法でご回答ください。

- ・選択肢のうち、当てはまる番号を選び、その番号に○を記入してください。
- ・「その他」に○をされた場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・内には、具体的な内容(地域、数など)を記入してください。

●この意向調査で得られた情報(個人情報を含む)の取り扱い

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、浪江町、福島県及び復興庁において適切に管理し、各種施策の検討・推進の目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行いますので、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

※この意向調査への回答は、あくまでも現在の考えを聞くものであり、町内に戻ることを求めるものではありません。

お問い合わせ先 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

調査の趣旨、記入方法について

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

0120-301-315

設置期間：10月9日(火)～10月22日(月) 平日10時～17時

その他のお問い合わせについて

福島県	〒960-8670	福島県福島市杉妻町2番16号 避難地域復興局 生活拠点課 Tel：024-521-8617
浪江町	〒979-1192	福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2 浪江町役場 企画財政課 Tel：0240-34-0240

F1 ~ F3

はじめに、ご記入いただく「あなた」ご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の町内のまちづくりや町外の支援の方向性などに関して、住民のみなさまのご意見やご要望をおうかがいすることを目的に実施するものです。

早期に安定的な生活環境を整えるため、ご回答をいただいた内容について、より詳しくお聞きする場合がありますので、ご回答者の氏名と現在のご住所、ご連絡先のご記入にご協力をよろしくお願いいたします。

F1 あなたの氏名を教えてください。

F2 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。
(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の住所			
震災前の住所	浪江町大字	<input type="text"/>	字 <input type="text"/>

※現在のご住所が、浪江町へお届けの住所と異なる場合は、改めて「避難住民届」を提出してください。
このアンケートをもって届出とすることはできません。

F3 あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(1)性別(○は1つ)

① 男性

② 女性

(2)年齢(○は1つ)

① ~19歳

⑧ 50~54歳

② 20~24歳

⑨ 55~59歳

③ 25~29歳

⑩ 60~64歳

④ 30~34歳

⑪ 65~69歳

⑤ 35~39歳

⑫ 70~74歳

⑥ 40~44歳

⑬ 75~79歳

⑦ 45~49歳

⑭ 80歳以上

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。

仕事に就いている方は、業種と今後の就業意向も教えてください。なお、2つ以上の就業形態を持っている場合は、主な収入源になっている就業形態を教えてください。

(1)就業形態(○は1つ)

① 自営業・会社経営者

⑧ 学生

② 自営業・会社経営者(休業中)

⑨ 無職(職を探していない)

③ 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)

⑩ 無職(職を探している)

④ 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)

⑤ 団体職員

⑪ その他

⑥ 公務員

〔具体的に〕

⑦ パート・アルバイト

1~7と11の方(2)へ

8~10の方
問2-1 へ

(2)業種(○は1つ)

① 農業

⑬ 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など)

② 林業

⑭ サービス業(他に分類されないもの)

③ 漁業

⑮ 金融業

④ 畜産業

⑯ 保険業

⑤ 建設業

⑰ 医療

⑥ 製造業

⑱ 福祉・介護

⑦ 電気・ガス・水道業

⑲ 教育

⑧ 運輸業

⑳ 公務

⑨ 卸売業

㉑ その他

⑩ 小売り業

〔具体的に〕

⑪ 宿泊業

⑫ 飲食サービス業

問2

問2-1 今後の就業意向(○は1つ)

- ① 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい
- ② 町外で働いており、今後も同じ職場で働き続けたい
- ③ 町内で働いており、今後も同じ職場で働き続けたい
- ④ 今後、浪江町外の職場で働きたい
- ⑤ 今後、働き続ける予定はない
- ⑥ 分からない

1の方 [問2-2](#) へ

2~6の方
[問3](#) へ

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の就業形態・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 自営業・会社経営者 ② 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) ③ 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) ④ 団体職員 ⑤ 公務員 ⑥ パート・アルバイト | <ul style="list-style-type: none"> ⑦ シルバー人材センター ⑧ 地域貢献活動 ⑨ 特に希望はない ⑩ その他
 [具体的に] |
|---|---|

7~9の方
[問3](#) へ

1~6と10の方(2)へ

(2) 業種(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 農業 ② 林業 ③ 漁業 ④ 畜産業 ⑤ 建設業 ⑥ 製造業 ⑦ 電気・ガス・水道業 ⑧ 運輸業 ⑨ 卸売業 ⑩ 小売り業 ⑪ 宿泊業 ⑫ 飲食サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> ⑬ 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) ⑭ サービス業(他に分類されないもの) ⑮ 金融業 ⑯ 保険業 ⑰ 医療 ⑱ 福祉・介護 ⑲ 教育 ⑳ 公務 ㉑ その他
 [具体的に] |
|--|---|

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| ① 1区 | ⑭ 高瀬 | ⑳ 田尻 | ㉔ 西台 |
| ② 2区 | ⑮ 幾世橋 | ㉑ 末ノ森 | ㉕ 藤橋 |
| ③ 3区 | ⑯ 北幾世橋北 | ㉒ 大堀 | ㉖ 羽附 |
| ④ 4区 | ⑰ 北幾世橋南 | ㉓ 小野田 | ㉗ 津島 |
| ⑤ 5区 | ⑱ 北棚塩 | ㉔ 谷津田 | ㉘ 下津島 |
| ⑥ 6区 | ⑲ 南棚塩 | ㉕ 酒井 | ㉙ 南津島上 |
| ⑦ 7区 | ㉀ 請戸北 | ㉖ 室原 | ㉚ 南津島下 |
| ⑧ 8区 | ㉁ 請戸南 | ㉗ 立野上 | ㉛ 赤宇木 |
| ⑨ 佐屋前 | ㉂ 中浜 | ㉘ 立野中 | ㉜ 手七郎 |
| ⑩ 川添北 | ㉃ 両竹 | ㉙ 立野下 | ㉝ 大屋 |
| ⑪ 川添南 | ㉄ 小丸 | ㉚ 苅宿 | ㉞ 分からない |
| ⑫ 上ノ原 | ㉅ 畑川 | ㉛ 加倉 | |
| ⑬ 樋渡・牛渡 | ㉆ 井手 | ㉜ 酒田 | |

問4 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input type="text"/> 人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	<input type="text"/> 人
イ) 小学生	<input type="text"/> 人	オ) 18歳以上65歳未満	<input type="text"/> 人
ウ) 中学生	<input type="text"/> 人	カ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 持ち家(一戸建) | ⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| ② 持ち家(集合住宅) | ⑧ 親戚・知人宅 |
| ③ 民間賃貸住宅(一戸建) | ⑨ その他 |
| ④ 民間賃貸住宅(集合住宅) | 具体的に |
| ⑤ 公営住宅 | } |
| ⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舍など) | |

問6 ~ 問7

現在のあなたの状況について教えてください。

問6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(○は1つ)

<p>【浜通り】</p> <p>① いわき市 ② 相馬市 ③ 南相馬市 ④ 浪江町 ⑤ 富岡町 ⑥ 広野町 ⑦ 楡葉町 ⑧ 川内村 ⑨ 新地町</p>	<p>【中通り】</p> <p>⑩ 福島市 ⑪ 郡山市 ⑫ 白河市 ⑬ 須賀川市 ⑭ 二本松市 ⑮ 田村市 ⑯ 伊達市 ⑰ 本宮市 ⑱ 桑折町 ⑲ 川俣町 ⑳ 大玉村 ㉑ 西郷村 ㉒ 三春町</p>	<p>【会津】</p> <p>㉓ 会津若松市 ㉔ 喜多方市 ㉕ 会津美里町</p> <p>【福島県内のその他の市町村(1~25以外)】</p> <p>㉖ 福島県内のその他の市町村 → 具体的にご記入ください。 <input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【福島県外】</p> <p>㉗ 福島県外 → 具体的にご記入ください。 <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・区・町・村)</p>
--	--	--

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input type="text"/> 人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	<input type="text"/> 人
イ) 小学生	<input type="text"/> 人	オ) 18歳以上65歳未満	<input type="text"/> 人
ウ) 中学生	<input type="text"/> 人	カ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人

問8

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

- | | |
|---|--------------------|
| ① 仮設住宅(プレハブ型・無償) | ⑦ 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| ② 借上住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型・無償) | ⑧ 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| ③ 浪江町営の災害公営住宅(浪江町内・有償) | ⑨ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |
| ④ 福島県営(本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む)の復興公営住宅(浪江町外・有償) | ⑩ 親戚・知人宅 |
| ⑤ その他の公営住宅(3、4は除く・有償) | ⑪ その他
【具体的に】 |
| ⑥ 民間賃貸住宅(有償) | |

7の方 [問8-1](#) へ

1~6と8~11の方
[問9](#) へ

問8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

持ち家の取得形態 (〇は1つ)	① 新築した ② 建売住宅を購入した ③ 分譲マンションを購入した ④ 中古住宅を購入した	⑤ 元から所有していた ⑥ その他 【具体的に】
持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態 (〇は1つ)	① 仮設住宅(プレハブ型・無償) ② 借上住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型・無償)	③ 民間賃貸住宅(有償) ④ その他 【具体的に】
持ち家に入居後の問題など (〇はいくつでも)	① 周辺の状況がわからない ② 地域の方と打ち解けられない ③ 浪江町の方がいないので話がしにくい ④ 原子力発電所事故による避難者ということを知られたくない	⑤ 特に問題はない ⑥ その他 【具体的に】

[問9](#) へ

問9 ~ 問11

将来に関するご意向についてお聞かせください。

問9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。
1～4の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

① すでに浪江町に帰還している	1の方 問10～問11へ
② すぐに・いずれ帰還したいと考えている	2の方 問12～問17へ
③ まだ判断がつかない	3の方 問12～問14、問18～問22へ
④ 帰還しないと決めている	4の方 問12～問14、問23～問26へ

問10 ~ 問11 は 問9 で1と回答した方にかがいます。

問10 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。
(○はいくつでも)

① 医療機関(診療科)の拡充	⑨ 鉄道などの公共交通機関の再開・充実
② 介護・福祉施設の充実	⑩ 町内コミュニティ活動(行政区などの活動も含む)生涯学習環境の機会
③ 保育・教育環境の充実	⑪ 公営住宅・居住環境の整備
④ 見守り活動の継続	⑫ 継続的な健康管理など、放射線に対する不安解消への取り組み、放射線量低減対策
⑤ 雇用確保の支援	⑬ その他
⑥ 防犯体制の強化	具体的に
⑦ 有害鳥獣対策の強化	
⑧ 商業施設の再開・充実	

問11 問10で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

問10の 選択肢番号	お考え
(例) 5	町内で就職する際のサポートをして欲しい。

問27へ

問12 ~ 問14 は 問9 で2~4と回答した方にうかがいます。

問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で戻られていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 頻繁に戻っている | ④ ほとんど戻っていない |
| ② 週に半分程度戻っている | ⑤ その他 |
| ③ 月に1回程度戻っている | ┌ 具体的に |
| | └ |

問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で戻られていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 家族の一部はすでに帰還している | ⑤ ほとんど戻っていない |
| ② 頻繁に戻っている | ⑥ その他 |
| ③ 週に半分程度戻っている | ┌ 具体的に |
| ④ 月に1回程度戻っている | └ |

問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻られる理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|--------------|-------------------|
| ① 財産(自宅やお墓など)の管理をするため | ⑥ 知人に会いに行くため | 問9 で2と答えた方は 問15 へ |
| ② 地域の行事に参加するため | ⑦ 仕事のため | |
| ③ 心身のリフレッシュをするため | ⑧ その他 | 問9 で3と答えた方は 問18 へ |
| ④ 地域の復興組合の作業のため | ┌ 具体的に | |
| ⑤ 家族に会いに行くため | └ | 問9 で4と答えた方は 問23 へ |

問15 ~ 問16

問15 ~ 問17 は 問9 で2と回答した方につながります。

問15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

<ul style="list-style-type: none"> ① 家族の全員 ② 家族の一部 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 現在検討中 ④ まだわからない 	3、4の方 問16 へ
--	--	-----------------------

1、2の方
問15-1 へ

問15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input type="text"/> 人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	<input type="text"/> 人
イ) 小学生	<input type="text"/> 人	オ) 18歳以上65歳未満	<input type="text"/> 人
ウ) 中学生	<input type="text"/> 人	カ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人

問16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

<p>【元の住居と違う場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新たに一戸建の持ち家を新築 ② 新たに一戸建の持ち家を購入 ③ 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用 ④ 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用 ⑤ 新しくできる(災害)公営住宅 	<p>【元の住居と同じ場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 元の持ち家(自宅) (建て替える場合を含む) ⑦ 元の民間賃貸住宅(一戸建) ⑧ 元の民間賃貸住宅(集合住宅) ⑨ 元の町営住宅 ⑩ 元の給与住宅(社宅など) ⑪ 家族のどなたかのお住まい・実家 ⑫ 親戚・知人宅 ⑬ 現時点では判断できない ⑭ その他 { 具体的に 	6~14の方 問17 へ
--	--	------------------------

1~5の方
問16-1 へ

問16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- ① 元の住居が帰還困難区域内にあるから
- ② 元の住居周辺の放射線量の高さが心配だから
- ③ 元の住居周辺に住む人が少ないと思うから
- ④ 浪江町内の新たな場所で生活を開始したいから
- ⑤ 今後、津波の被害を受けることが心配だから
- ⑥ 津波被災により災害危険区域となったため住めないから
- ⑦ 元の住居が荒廃しているから
- ⑧ 元の住居を解体したから
- ⑨ その他
[具体的に]

問16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

- ① 現在、住まいの希望先を検討している
- ② 現時点で判断できない
- ③ 住まいの希望先を決めている
[具体的に]

問17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(○は1つ)

- ① すぐに帰還したい
- ② いずれ帰還したい(数年で帰りたい(5年以内))
- ③ いずれ帰還したい(当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい(5年以降))
- ④ いずれ帰還したい(わからない)

1の方 **問17-1** へ

2~4の方
問17-3 へ

問17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(○はいくつでも)

- ① 被ばく低減対策
- ② 住宅の修繕や建て替えへの支援
- ③ 住宅の新築・購入の支援
- ④ 災害公営住宅や民間賃貸住宅への入居支援
- ⑤ 買い物への支援
- ⑥ 健康や介護に関する支援
- ⑦ 子育てや学校教育への支援
- ⑧ 生活交通の支援
- ⑨ 雇用確保・就業支援
- ⑩ 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善
- ⑪ 特にない
- ⑫ その他
[具体的に]

問17

問17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

問27へ

問17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 仕事(事業再開を含む)ができるようになること | ⑪ 放射線量の低下や除染成果がわかってから |
| ② 元の家屋に住めるようになること | ⑫ 放射線の人体への影響がわかってから |
| ③ 住宅の新築や購入ができる環境が整うこと | ⑬ 中間貯蔵施設の状況がわかってから |
| ④ 町内の災害公営住宅などの賃貸住宅が整うこと | ⑭ 原子力発電所が安全とわかってから |
| ⑤ 鉄道やバスなどの公共交通が整うこと | ⑮ 受け取る賠償額がわかってから |
| ⑥ 医療・介護などが整うこと | ⑯ わからない |
| ⑦ 商業やサービス業などの施設が整うこと | ⑰ その他 |
| ⑧ 教育環境が整うこと | 具体的 |
| ⑨ 避難中の今の場所での子育てを終えるまで | |
| ⑩ 住民の帰還がある程度進んでから | |

問17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(〇は1つ)

【浜通り】

- ① いわき市
- ② 相馬市
- ③ 南相馬市
- ④ 富岡町
- ⑤ 広野町
- ⑥ 楡葉町
- ⑦ 川内村
- ⑧ 新地町

【中通り】

- ⑨ 福島市
- ⑩ 郡山市
- ⑪ 白河市
- ⑫ 須賀川市
- ⑬ 二本松市
- ⑭ 田村市
- ⑮ 伊達市
- ⑯ 本宮市
- ⑰ 桑折町
- ⑱ 川俣町
- ⑲ 大玉村
- ⑳ 西郷村
- ㉑ 三春町

【会津】

- ㉒ 会津若松市
- ㉓ 喜多方市
- ㉔ 会津美里町

【福島県内のその他の市町村(1~24以外)】

- ㉕ 福島県内のその他の市町村
→ 具体的にご記入ください。

(市・町・村)

【福島県外】

- ㉖ 福島県外 → 具体的にご記入ください。

(都・道・府・県)

(市・区・町・村)

【その他】

- ㉗ 決めかねている

問17

問17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 持ち家(一戸建) | ⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| ② 持ち家(集合住宅) | ⑧ 親戚・知人宅 |
| ③ 民間賃貸住宅(一戸建) | ⑨ その他 |
| ④ 民間賃貸住宅(集合住宅) | ┌ 具体的に |
| ⑤ 公営住宅 | └ |
| ⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

問17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1)浪江町との関係(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| ① 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい | ④ ふるさと納税などで協力していきたい |
| ② 浪江町の祭事などに参加したい | ⑤ 浪江町との関係性はなくてもよい |
| ③ 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい | ⑥ その他 |
| | ┌ 具体的に |
| | └ |

(2)必要な支援(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------|
| ① 浪江町の情報の提供 | ⑥ 支援は特にいない |
| ② 賠償請求に関する支援 | ⑦ その他 |
| ③ 住宅再建の支援情報の提供 | ┌ 具体的に |
| ④ 就労の支援情報の提供 | └ |
| ⑤ 交流の場の開催 | |

問27 へ

問18

問18 ～ 問22 は 問9 で3と回答した方にかがいます。

問18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

- ① 放射線量が低下せず不安だから
- ② 原子力発電所の安全性に不安があるから
- ③ 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

- ④ 帰還困難区域内だから
- ⑤ 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
- ⑥ 浪江町での事業の再開が難しいから
- ⑦ 営農などができそうにないから
- ⑧ 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
- ⑨ 公営住宅の整備が進んでいないから
- ⑩ 浪江町外への移動交通が不便だから
- ⑪ 道路、鉄道などの交通インフラに不安があるから
- ⑫ 医療環境に不安があるから
- ⑬ 介護・福祉サービスに不安があるから
- ⑭ 保育・教育環境に不安があるから
- ⑮ 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

- ⑯ 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
- ⑰ 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
- ⑱ 他の住民も戻りそうにないから
- ⑲ 今後の津波被害を受ける可能性があるから
- ⑳ 鳥獣による被害が心配だから
- ㉑ 帰還までに時間がかかるから
- ㉒ 避難先で仕事を見つけているから
- ㉓ 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
- ㉔ 避難先の方が、生活利便性が高いから
- ㉕ すでに生活基盤ができているから
- ㉖ その他

具体的に

問19 浪江町への帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 避難指示解除となる時期の目安に関する情報 | ⑪ 放射線の人体への影響に関する情報 |
| ② 働く場の確保の目的 | ⑫ 中間貯蔵施設の情報 |
| ③ 元の住宅の住宅修繕に関する情報 | ⑬ 原子力発電所の安全性に関する情報
(事故収束や廃炉の状況) |
| ④ 住宅確保への支援に関する情報 | ⑭ 現時点で家族間の意見が分かれており、
帰還意向について回答できない |
| ⑤ 鉄道やバスなどの公共機関の復旧時期の目的 | ⑮ 現時点ではどのような情報があれば
判断できるかわからない |
| ⑥ 医療・介護の復旧時期の目的 | ⑯ その他 |
| ⑦ 商業やサービス業などの施設の復旧時期の目的 | 具体的に |
| ⑧ 学校などの教育環境の復旧時期の目的 | |
| ⑨ どの程度の住民が戻るかの状況 | |
| ⑩ 放射線量の低下の目的、除染成果の状況 | |

問20 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------------------------|
| 【浜通り】 | 【中通り】 | 【会津】 |
| ① いわき市 | ⑨ 福島市 | ⑫ 会津若松市 |
| ② 相馬市 | ⑩ 郡山市 | ⑬ 喜多方市 |
| ③ 南相馬市 | ⑪ 白河市 | ⑭ 会津美里町 |
| ④ 富岡町 | ⑫ 須賀川市 | 【福島県内のその他の市町村(1~24以外)】 |
| ⑤ 広野町 | ⑬ 二本松市 | ⑮ 福島県内のその他の市町村 → 具体的にご記入ください。 |
| ⑥ 楡葉町 | ⑭ 田村市 | <input type="text"/> (市・町・村) |
| ⑦ 川内村 | ⑮ 伊達市 | 【福島県外】 |
| ⑧ 新地町 | ⑯ 本宮市 | ⑯ 福島県外 → 具体的にご記入ください。 |
| | ⑰ 桑折町 | <input type="text"/> (都・道・府・県) |
| | ⑱ 川俣町 | <input type="text"/> (市・区・町・村) |
| | ⑲ 大玉村 | |
| | ⑳ 西郷村 | |
| | ㉑ 三春町 | 【その他】 |
| | | ㉒ 決めかねている |

問21 ~ 問22

問21 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(〇は1つ)

① 持ち家(一戸建)	⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家
② 持ち家(集合住宅)	⑧ 親戚・知人宅
③ 民間賃貸住宅(一戸建)	⑨ その他
④ 民間賃貸住宅(集合住宅)	具体的に
⑤ 公営住宅	
⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	

問22 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(〇はいくつでも)

① 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい	⑤ 浪江町との関係性はなくてもよい
② 浪江町の祭事などに参加したい	⑥ その他
③ 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい	具体的に
④ ふるさと納税などで協力していきたい	

(2) 必要な支援(〇はいくつでも)

① 浪江町の情報の提供	⑥ 支援は特にいない
② 賠償請求に関する支援	⑦ その他
③ 住宅再建の支援情報の提供	具体的に
④ 就労の支援情報の提供	
⑤ 交流の場の開催	

問27 へ

問23

問23 ～ 問26 は 問9 で4と回答した方につながります。

問23 現時点で帰還しないと決めている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【健康に関わるもの】

- ① 放射線量が低下せず不安だから
- ② 原子力発電所の安全性に不安があるから
- ③ 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

- ④ 帰還困難区域内だから
- ⑤ 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
- ⑥ 公営住宅の整備が進んでいないから
- ⑦ 浪江町外への移動交通が不便だから
- ⑧ 道路、鉄道などの交通インフラに不安があるから
- ⑨ 医療環境に不安があるから
- ⑩ 介護・福祉サービスに不安があるから
- ⑪ 保育・教育環境に不安があるから
- ⑫ 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

- ⑬ 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
- ⑭ 浪江町での事業の再開が難しいから
- ⑮ 営農などができそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

- ⑯ 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
- ⑰ 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
- ⑱ 他の住民も戻りそうにないから
- ⑲ 今後の津波被害を受ける可能性があるから
- ⑳ 鳥獣による被害が心配だから
- ㉑ 帰還までに時間がかかるから
- ㉒ 避難先で仕事を見つけているから
- ㉓ 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
- ㉔ 避難先の方が、生活利便性が高いから
- ㉕ すでに生活基盤ができているから
- ㉖ その他

具体的に

13～15以外の方
問24 へ

13～15の方 問23-1 へ

問23 ~ 問24

問23-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ① 自営業・会社経営者 | ⑦ シルバー人材センター |
| ② 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | ⑧ 地域貢献活動 |
| ③ 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | ⑨ 特に希望はない |
| ④ 団体職員 | |
| ⑤ 公務員 | ⑩ その他 |
| ⑥ パート・アルバイト | 具体的に |

7~9以外の方
問24へ

1~6と10の方(2)へ

(2) 業種 (○は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------------------------|---------|
| ① 農業 | ⑩ 小売り業 | ⑰ 医療 |
| ② 林業 | ⑪ 宿泊業 | ⑱ 福祉・介護 |
| ③ 漁業 | ⑫ 飲食サービス業 | ⑲ 教育 |
| ④ 畜産業 | ⑬ 生活関連サービス業
(理容・美容・洗濯など) | ⑳ 公務 |
| ⑤ 建設業 | ⑭ サービス業
(他に分類されないもの) | ㉑ その他 |
| ⑥ 製造業 | ⑮ 金融業 | 具体的に |
| ⑦ 電気・ガス・水道業 | ⑯ 保険業 | |
| ⑧ 運輸業 | | |
| ⑨ 卸売業 | | |

問24 帰還しない場合、今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

【浜通り】	【中通り】	【会津】
① いわき市	⑨ 福島市	⑳ 会津若松市
② 相馬市	⑩ 郡山市	㉑ 喜多方市
③ 南相馬市	⑪ 白河市	㉒ 会津美里町
④ 富岡町	⑫ 須賀川市	【福島県内のその他の市町村(1~24以外)】
⑤ 広野町	⑬ 二本松市	㉓ 福島県内のその他の市町村 → 具体的にご記入ください。
⑥ 楢葉町	⑭ 田村市	<input type="text"/> (市・町・村)
⑦ 川内村	⑮ 伊達市	【福島県外】
⑧ 新地町	⑯ 本宮市	㉔ 福島県外 → 具体的にご記入ください。
	⑰ 桑折町	<input type="text"/> (都・道・府・県)
	⑱ 川俣町	<input type="text"/> (市・区・町・村)
	⑲ 大玉村	
	㉑ 西郷村	
	㉒ 三春町	
		【その他】
		㉓ 決めかねている

問25 ~ 問27

問25 帰還しない場合、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

① 持ち家(一戸建)	⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家
② 持ち家(集合住宅)	⑧ 親戚・知人宅
③ 民間賃貸住宅(一戸建)	⑨ その他
④ 民間賃貸住宅(集合住宅)	具体的に
⑤ 公営住宅	
⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	

問26 帰還しない場合、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(○はいくつでも)

① 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい	⑤ 浪江町との関係性はなくてもよい
② 浪江町の祭事などに参加したい	⑥ その他
③ 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい	具体的に
④ ふるさと納税などで協力していきたい	

(2) 必要な支援(○はいくつでも)

① 浪江町の情報の提供	⑥ 支援は特にいない
② 賠償請求に関する支援	⑦ その他
③ 住宅再建の支援情報の提供	具体的に
④ 就労の支援情報の提供	
⑤ 交流の場の開催	

問27 へ

問27 はすべての方にうかがいます。

問27 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿を教えてください。ご自由にお書きください。

問28

復興公営住宅についておうかがいします。

◆復興公営住宅とは

将来の帰還に向け、仮設住宅などから安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するために、福島県が主体となり整備している公営住宅

※浪江町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

問28 福島県が整備した又は整備を予定している福島県営の復興公営住宅(浪江町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

<p>① 入居が決定している</p> <p>② 入居の申し込み中(結果待ち)である</p> <p>③ 今後、入居の申し込みをしたいと考えている</p>	<p>④ 入居を希望しない</p> <p>⑤ 現時点では判断できない 判断できない理由</p>	<p>4、5の方 問29へ</p>
<p>1～3の方 問28-1へ</p>		

問28-1 入居(整備)を希望する(決まっている)復興公営住宅の立地市町村について教えてください。(○は1つ)

<p>① 福島市</p> <p>② 会津若松市</p> <p>③ 郡山市</p>	<p>④ いわき市</p> <p>⑤ 白河市</p> <p>⑥ 二本松市</p>	<p>⑦ 田村市</p> <p>⑧ 南相馬市</p> <p>⑨ 本宮市</p>	<p>⑩ その他※</p> <p>※10を選択した場合は、[]内に具体的にご希望の市町村名を記入してください。 ※こちらの調査への回答により、入居申し込みなどに影響があるものではありません。</p>
--	--	---	--

問29へ

※福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ
福島県 生活拠点課 TEL:024-521-8617

問31 ~ 問33

浪江町からの情報入手についてお聞かせください。

問31 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 浪江町広報紙 | ⑦ 新聞(福島県内の地方紙) |
| ② 浪江町メールマガジン | ⑧ 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙) |
| ③ なみえ新聞(タブレット) | ⑨ テレビ |
| ④ 浪江町ホームページ | ⑩ ラジオ |
| ⑤ 浪江町フェイスブック(つながろうなみえ) | ⑪ 友人・知人からの口コミ |
| ⑥ 地域情報メディア(なみえまるみえ) | |

問32 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 満足している | ④ あまり満足していない |
| ② やや満足している | ⑤ 満足していない |
| ③ どちらともいえない | |

問33 ホームページ、広報誌、浪江新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 現在の浪江町内の様子 | ⑦ こども園・小中学校の情報 |
| ② 復興計画の進行状況 | ⑧ 浪江町民の声 |
| ③ 浪江町内の求人情報 | ⑨ 除染の進捗状況 |
| ④ 浪江町民からのよくある質問 | ⑩ 浪江町長の動向 |
| ⑤ 昔なつかしい浪江町内の写真 | ⑪ 浪江町議会の様子 |
| ⑥ 浪江町内でのイベントの様子 | ⑫ 賠償に関する動向 |

問34

国や福島県、浪江町へのご意見などについてお聞かせください。

問34 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
10月22日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

浪江町 住民意向調査 報告書

平成31年3月

復興庁 福島県 浪江町

調査機関：トッパン・フォームズ株式会社